SHARP

液晶プロジェクター

形名 XG-P25X

取扱説明書

はじめに
設置と接続のしかた
基本操作
便利な機能を使う
付録

Conference Series

液晶データビジョン

このたびはシャープ液晶プロジェクターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
ご使用の前に、「安全に正しくお使いいただくために」を必ずお読みください。‥‥‥5ページ

- 保証書は、必ず購入店名・購入日などの記入を確かめてお受け取りください。
- 製造番号は品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と保証書に記載されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。
- なお、この取扱説明書は、保証書とともに必ず保存してください。万一、使用中にわからないことや具合の悪いことがおきたとき、きっとお役に立ちます。

特長

1. 幅広い入力対応

UXGA（1600 × 1200）まで入力可能。

XGA（1024 × 768）リアル表示、UXGA、SXGA（1280 × 768）は高品位圧縮表示になります。

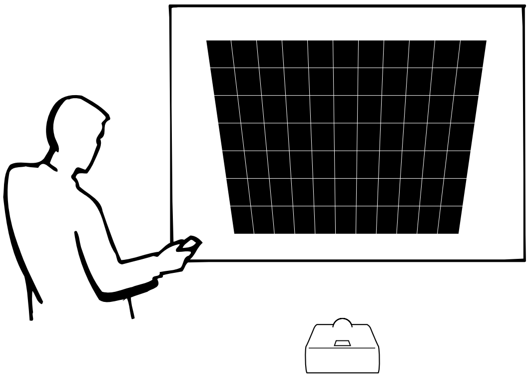
またワークステーション、ＢＳデジタル放送（1125I ／ 750P ／ 525P ／ 525I）にも対応しています。

2. 高輝度設計

- 高開口率液晶パネルと270Wランプの組み合わせにより、明るい部屋でも使用可能な高輝度映像を実現。

3. 先進の高画質設計

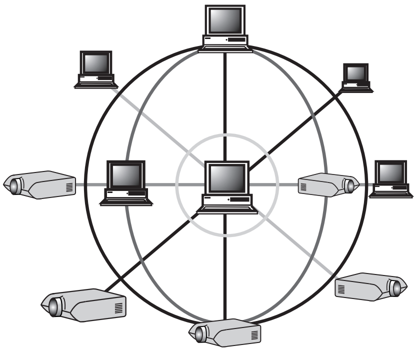
- 独自の高画質ICの採用により、鮮やかな映像を実現。
  - 新プログレッシブ変換機能
    より滑らかな映像を実現します。
  - 2ー3 プルダウン機能
    映画ソフトを記録通りに再現します。
  - ダイナミックガンマ補正
    シーンに合わせ最適な階調で表現します。
  - インテリジェントデジタルキーストーン補正
    ジャギー（ギザギザ感）を抑え、スムーズな台形補正をします。



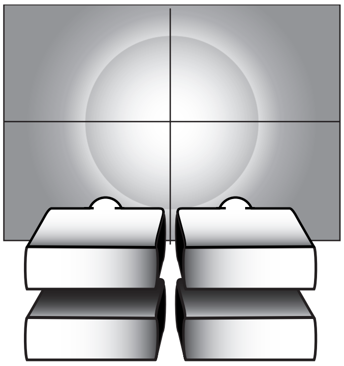
- 3次元デジタルユニフォミティ回路により、画面の明るさの均一性を高め、見やすい画面を実現。

4. 多彩なネットワーク機能を搭載

- 自己診断機能
  ランプの使用時間やプロジェクターの異常をEメールで自動発信します。（管理するパソコンが別途必要です。）
- 最大250台のプロジェクターを1台のパソコンで管理可能。



- ビデオウオール機能
  - 1つの入力ソースを簡単に分割、大画面表示（マルチ画面）できます。

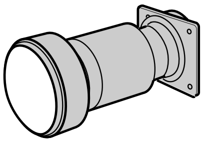


5. 多彩な光学システム

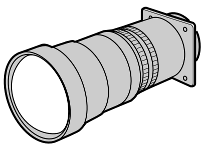
- **レンズシフト機能（手動）搭載。**
- **２種類のオプションレンズを用意。**

簡単レンズ交換システムを採用しています。
レンズについて詳しくは、19ページおよび21～23ページをご覧ください。

短焦点
固定レンズ
AN-P9MX



長焦点電動
ズームレンズ
AN-P48EZ



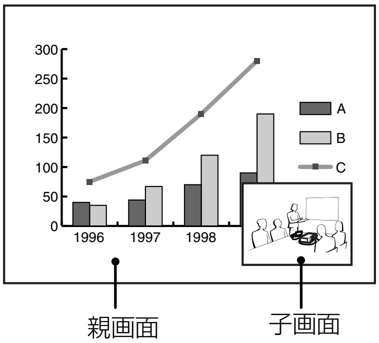
6. プレゼンテーション機能

- **ピクチャー イン ピクチャー機能、部分拡大機能、静止画機能等を搭載。**

プレゼンテーションをより効果的に演出できます。

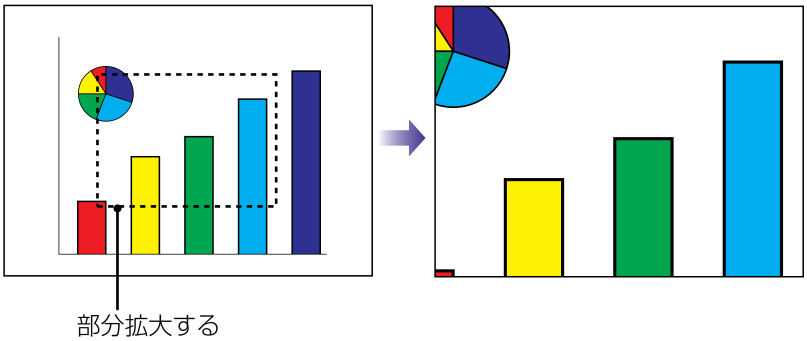
ピクチャーインピクチャー機能

- 1つの画面に2つの入力ソースを表示し、プレゼンテーション



部分拡大機能

- 投映している映像を部分拡大し、プレゼンテーション



もくじ

はじめに

ページ

特 長 2
もくじ 4
安全に正しくお使いいただくために 5
使用上のご注意 9
　海外でご使用になるときは 10
　ランプ交換に関しての注意 10
　ランプ交換ユニットに関しての注意 10
各部のなまえ 11
　本 体 11
　リモコン 13
　リモコンの使いかた 14
付属品を確認する 16

設置と接続のしかた

設置のしかた 18
　アジャスターの使いかた 18
　スクリーンを設置する 19
接続のしかた 25
　接続例 25
　電源コードの接続 25
　コンピュータを接続する 26
　シリアル(RS-232C)端子へ接続する 29
　デイジーチェーン接続する 29
　ビデオ機器を接続する 30
　モニターへ接続する 32
　プロジェクターとアンプやその他のオーディオ機器を接続する 32

基本操作

投映のしかた 34
　電源を入れてから切るまで 34
　レンズ調整 36
　レンズシフトダイヤルの使いかた 38
メニューの使いかた 39
　メニュー表示内容一覧 39
　メニュー項目別の設定調整内容一覧 41
　メニューの基本操作 42
映像を調整する 44
　コンピュータの映像を調整する 44
　ビデオ、DVD プレーヤーなどの映像を調整する 45
RGB またはコンポーネント(色差)信号の種類を選ぶ 46
映像に合ったプログレッシブモードを選択する 47
音声を調整する 48
2つの画像を表示する(P in P) 50
ノイズを軽減する(DNR) 52
コンピュータの画面を調整する 53
　自動同期調整が OFF のとき(良好な画面が得られないとき) 53
　画面調整の内容をメモリー登録する／呼び出す 55
　特殊モード調整 58
　自動同期調整 60
　自動同期調整時の画面表示機能 62
再生する機器に合わせた映像信号方式を設定する 64
入力信号を確認する 66

便利な機能を使う

ページ

映像をデジタル拡大する 68
ガンマ補正 69
画像表示モードを選ぶ 70
静止画機能 72
ブラックスクリーン機能 73
省電力モードを選ぶ 74
　無信号時電源オフ機能 75
画面表示設定機能 76
無信号時に表示する画面を設定する 78
オープニング画面を選ぶ 80
パスワードを設定する 82
パスワードを変更する 84
プロジェクターの操作ボタンをロックする 86
　キーロックの解除のしかた 87
使用しない入力モードを非選択の状態にする 88
RS-232C の通信速度を設定する 90
画面表示言語を選ぶ 92
休憩時間の表示と設定 94
調整内容を一覧表示する 95
映像の左右反転／上下反転のしかた 96
ネットワーク機能 97
　ID ナンバーを使って、複数のプロジェクターを管理する 97
　スタック設定を使用する 98
ランプ使用時間を確認する 100
ネットワーク機能を使う 101
　スタック投映 103
　ビデオウォール投映 105
PDF 取扱説明書の見かた 108

付録

お手入れのしかた 110
エアーフィルターのお手入れ 111
お知らせ表示について 112
ランプについて 113
ランプ交換ユニットの取り外しと取り付け 114
本体のコネクタのピン配置 116
RS-232C ポート仕様 118
　コンピュータによるプロジェクターの制御について 118
ワイヤードリモコン端子仕様 121
RGB 入力信号(推奨信号)について 122
故障かな？と思ったら 123
　パスワードを忘れてしまったら 124
アフターサービスについて 125
お客様ご相談窓口のご案内 126
仕 様 127
　寸法図 128
用語集 130
索 引 131

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠警告 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

⚠注意 人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

⚠ 記号は、気をつける必要があることを表しています。

🚫 記号は、してはいけないことを表しています。

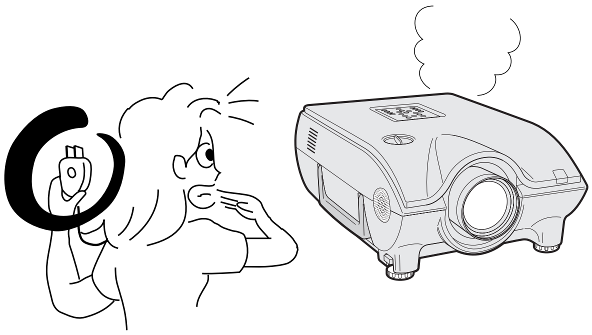
❗ 記号は、しなければならないことを表しています。

⚠警告

煙が出ている、変なにおいや音がするなど異常状態のときは電源プラグを抜く

● 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

● 画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて修理を販売店にご依頼ください。



キャビネットは絶対にあけない

● この機器のキャビネットは外さないでください。内部には電圧の高い部分がありますので感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

高圧注意

● サービスマン以外のかたはキャビネットをあけないでください。
内部には高電圧部分が数多くあります。
万一、さわると危険です。

● この機器を改造しないでください。
火災・感電の原因となります。

指定された電源電圧で使用する

● 表示された電源電圧（交流100～240ボルト）以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

つづく

安全に正しくお使いいただくために（つづき）

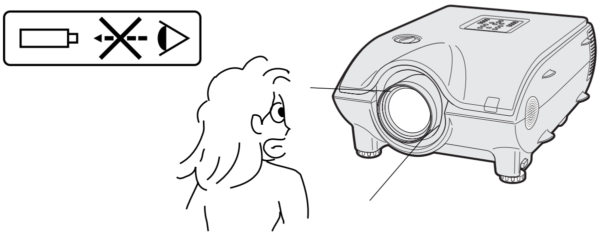
⚠警告

液晶プロジェクターを落としたときは

- この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

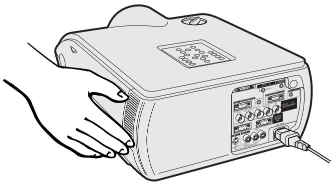
レンズをのぞかない

- 投映中にレンズをのぞかないでください。眼を傷める原因となります。
特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。



高温部には触れない

- 投映中は、排気孔、光源ランプ交換カバーやその周辺は高温になります。表面が十分冷えるまで触れないでください。



不安定な場所に置かない

- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてケガの原因となります。

天井へ取り付けるときは

- この機器を天井へ設置する場合は、必ず販売店へご依頼ください。
取り付けが不確実ですと、落下などにより感電・ケガの原因となります。

風呂、シャワー室では使用しない

- 風呂、シャワー室では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

内部にものや水などを入れない

- この機器の開口部(通風孔など)から金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 異物がこの機器の内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- この機器の内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

上には水の入ったものや小さな金属物を絶対に置かない

- この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。
- この機器に水が入ったり、ぬらしたりしないでください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

雷が鳴り出したら電源プラグには触れない

- 雷が鳴りはじめたら電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

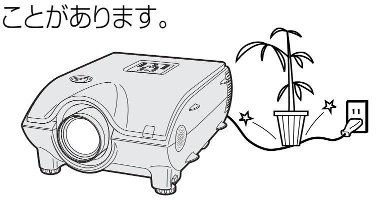
電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着した状態では使用しない

- ほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのままご使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠警告

電源コードを破損するようなことはしない

- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本体の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードを敷物などで覆ってしまうと、気付かずに、重いものをのせてしまうことがあります。

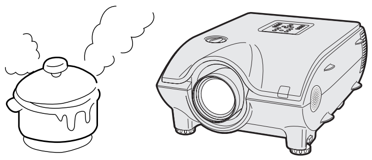


- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。
- 電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠注意

湿気やほこりの少ない場所に置く

- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。
  火災・感電の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。
  火災・感電の原因となることがあります。

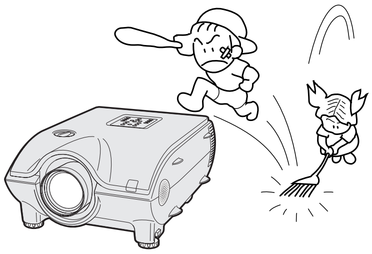


通風孔をふさがない

- この機器の通風孔をふさがないでください。
  内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。
  冷却ファン部〔排気側〕は、壁などから30cm以上はなして設置してください。
  次のような使い方はしないでください。
  この機器を横倒しや、レンズを下にむけて逆さまにする。押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。じゅうたんや布団の上に置く。テーブルクロスなどを掛ける。

重いものを置かない

- この機器の上に重いものを置かないでください。
  バランスがくずれて倒れたり、落下してケガの原因となることがあります。
- この機器に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
  倒れたり、こわれたりしてケガの原因となることがあります。



置台に据えつけるときは

- キャスター付き置台にこの機器を設置する場合にはキャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりして、ケガの原因となることがあります。

つづく

安全に正しくお使いいただくために(つづき)

⚠注意

移動させるときは必ず接続線をはずす

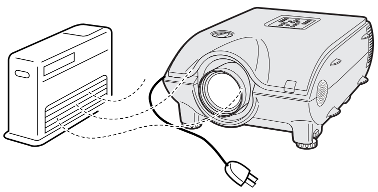
●移動させる場合は、機器本体の電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続線等外部の接続線を外したことを確認の上、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

指定以外の電池は使わない

●機器で指定されていない電池は使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破れつ、液もれにより、火災・ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近づけない

●電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



電池を入れるときは極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意する

●電池を機器内に挿入する場合、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、機器の表示どおり正しく入れてください。間違えますと電池の破れつ、液もれにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

●電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

長時間ご使用にならないときは電源プラグを抜く

●旅行などで長時間、本機をご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

お手入れのときは電源プラグを抜く

●お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

●差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して、火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

●電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

3年に一度は機器内部の清掃を販売店に依頼する

●3年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。本機器の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用については販売店などにご相談ください。

使用上のご注意

設置するときはつぎの点にご注意ください。

直射日光や、照明の光はさけてください

■ スクリーンに直接光があたると画面が白っぽくなり見にくくなります。明るい光が入る部屋ではカーテンを引くようにしてください。(できるだけ、暗い環境でお使いいただくことをおすすめします。)

ホコリ、湿気の少ないところへ

■ 湿気やほこりの多い場所、油煙やタバコの煙の当たるような場所に置くと、レンズ・ミラー等の光学部品に汚れが付着し、映像がぼやけたり、暗く見にくくなります。

高温、低温の場所はさけてください

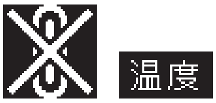
■ 使用温度範囲　　5℃～40℃
■ 保存温度範囲　－20℃～60℃

排気孔や吸気孔をふさがないように

■ 排気孔側に壁やモノがある場合は、30cm以上スキ間をあけて設置してください。
■ 吸気孔をふさがないよう設置してください。
■ 冷却ファンがふさがれると、保護機構が働き自動的にランプの電源が切れます。これは故障ではありません。電源プラグをコンセントから抜き、少なくとも10分間はそのままにしてください。その後もう一度電源コードをつなぎ電源を入れます。プロジェクターは正常な状態に戻ります。

温度モニター機能について

■ 設置状況やエアーフィルターの目づまり等によりプロジェクター内部の温度が高温になると、"温度"マークが画面の左下で点滅します。さらに温度が上昇し続けると、光源(ランプ)が消灯し、プロジェクターの温度表示(ランプ)が点滅し、90秒間の冷却期間の後、電源が切れます。詳細については112ページの「お知らせ表示について」をご参照ください。



お知らせ

■ 冷却ファンは内部温度を一定にしますが、その機能は自動制御されています。冷却ファンの音がプロジェクターの動作中に変化することがありますが、ファンの速さを変えているためで、故障ではありません。
■ 投映中および冷却ファンの動作中に電源プラグを抜かないでください。冷却ファンも同時に止まるため、温度上昇により故障の原因となります。

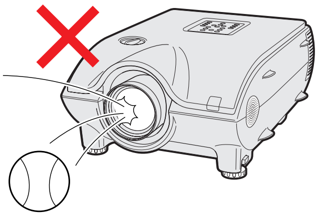
ランプ交換お知らせ機能について

■ ランプの総使用時間が1,400時間を越えると、画面に黄色で"ランプ"マークが表示され、1,500時間になると"ランプ"表示が赤になり、自動的にランプ(光源)が消灯し、電源が切れます。このとき、ランプ交換お知らせ表示が赤色点灯します。

■ ランプを交換せずに電源を入れ直すと、4回目からは電源が入らなくなりますのでご注意ください。

衝撃を与えないでください

■ 本機のレンズには、特にご注意いただき、表面を打ったり傷をつけたりしないようご注意ください。



持ち運びのご注意

■ 持ち運ぶときは、衝撃を与えないようにしてください。故障の原因となります。レンズには特にご注意ください。また、移動させる場合は、かならず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続線をはずしたことを確認の上行ってください。

目をときどき休めてください

■ 連続して長い時間画面を見ていると、目を疲れさせます。ときどき目を休めてください。

接続機器について

■ プロジェクターにコンピュータやAV機器を接続するときは、プロジェクターおよび接続する各機器の電源を必ず切ってから接続してください。
■ 接続のしかたは、プロジェクターおよび接続する各機器の取扱説明書をご覧ください。

・この製品はクラスA情報技術装置です。住宅環境で使用する場合は、電波障害を発生させる恐れがあります。その際、この製品の利用者は、適切な手段を講ずることが必要とされることがあります。

つづく

使用上のご注意(つづき)

海外でご使用になるときは

■お使いになる国や地域によって、電源電圧やプラグの形状が異なります。海外でご使用になるときは、もよりのお客様相談窓口の「一般ご相談窓口」(126ページ)にお問い合わせください。

ランプ交換に関しての注意

■“ランプについて”(113ページ)もご覧ください。
■廃棄の方法について
このプロジェクターに使用している高輝度放電ランプ(HIDランプ)は、微量な水銀を含有しています。これらの含有物は、環境考慮の観点から法的に規制されている場合があります。廃棄やリサイクルについては、関連法規およびお住まいの地域の条例などに従って処理してください。

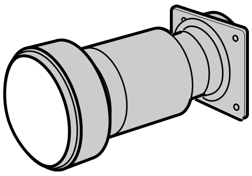
ランプ交換ユニットに関しての注意

■ランプが破裂するとガラス破片でけがをするおそれがあります。ランプが破裂した場合には、お近くの販売店にご連絡ください。

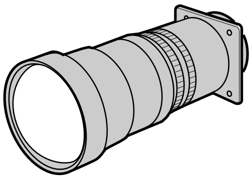
別売レンズの取り付けについて

■別売レンズの取り付けは販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口にご相談ください。

短焦点
固定レンズ
AN-P9MX



長焦点電動
ズームレンズ
AN-P48EZ



著作権、その他商標について

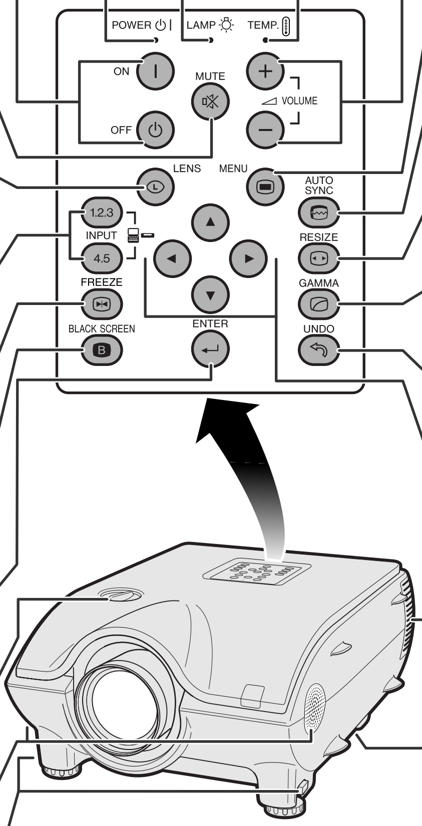
Micorsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国々における登録商標です。
PC/ATは米国IBM社の登録商標です。
Adobe Acrobatはアドビシステムズ社の商標です。
その他製品名等の固有名詞は各社の商標または登録商標です。

各部のなまえ

本体

内の数字は主な参照ページを示しています。

前面



ランプ交換 お知らせ表示 34, 112
通常は緑色で点灯。赤色で点滅したときはランプ交換が必要です

電源表示 34
待機状態では赤、電源を入れると緑に変わります

ON（電源入）/OFF（電源切）ボタン 34, 35
電源を入／切します

MUTE（消音）ボタン 35
スピーカーからの音を一時的に消します

LENS（レンズ）ボタン 36
フォーカス・ズーム・キーストーン補正・垂直サイズ・デジタルシフトの各調整を行います

INPUT（入力切換）1, 2, 3, 4, 5 ボタン 35
入力モード（1、2、3 / 4、5）を切り換えます

FREEZE（静止画）ボタン 72
映像を静止画の状態にします

BLACK SCREEN（ブラックスクリーン）ボタン 73
画面表示をブラックにします

ENTER（決定）ボタン 43
メニューで選択調整した項目の決定を行います

レンズシフトダイヤル 38
投映位置を上下に移動します

スピーカー 48
音を出力します

アジャスター / アジャスターリリースボタン 18
プロジェクターの傾きを調整します

112 **温度モニターお知らせ表示**
通常は消灯。内部温度が高温になると赤色で点灯します

35 **VOLUME（音量）ボタン**
スピーカーからの音量を調整します

42 **MENU（メニュー）ボタン**
各種設定・調整用の画面（OSD 画面）を表示します

60 **AUTO SYNC（自動同期調整）ボタン**
コンピュータ接続時の同期を自動で調整します

70 **RESIZE（画面サイズ）ボタン**
画面表示モード（ワイドやノーマルなど）を切り換えます

69 **GAMMA（ガンマ補正）ボタン**
映像の種類や部屋の明るさに合わせて映像を見やすく補正します

43 **UNDO（戻す）ボタン**
１つ前の操作の状態に戻します

43 **▲▼◀▶ ボタン**
メニューの選択や各調整画面で調整を行うのに使用します

9 **冷却ファン（排気孔）**

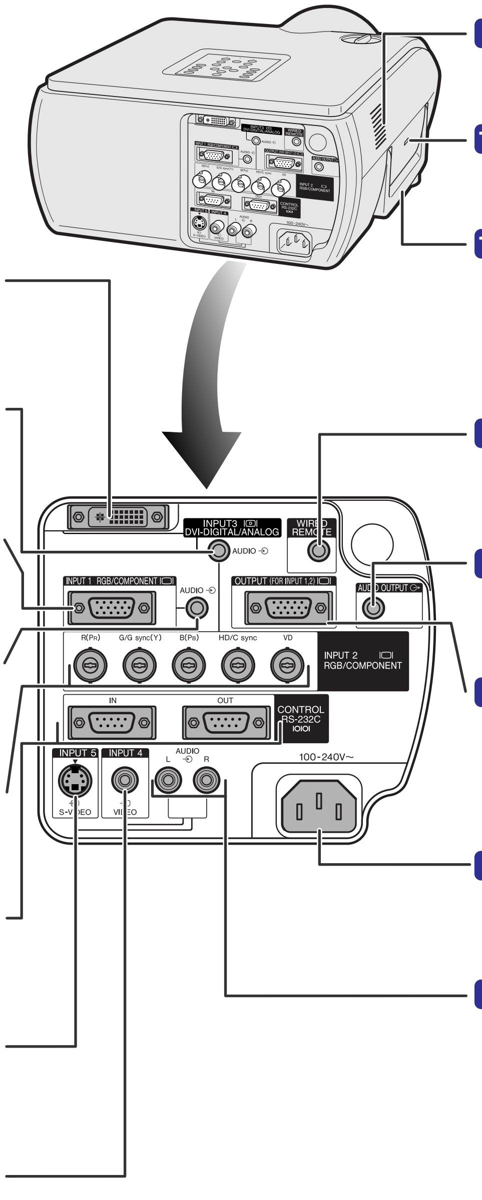
111 **エアーフィルター / 冷却ファン（吸気孔）**

つづく

各部のなまえ（つづき）

内の数字は主な参照ページを示しています。

後面



9 吸気孔

110 盗難防止用コネクター（Kensington Security Standard Connector）

110 キャリングハンドル

INPUT（入力）3端子（DVI） 28
DVIデジタル/アナログRGBのDVI入力端子です

AUDIO（音声）入力端子（入力2、3用） 27
入力2、3に接続した機器の音声入力端子です

INPUT（入力）1端子（アナログRGB/コンポーネント） 26
アナログRGB/コンポーネント信号入力端子です

AUDIO（音声）入力端子（入力1用） 26
入力1に接続した機器の音声入力端子です

INPUT（入力）2端子（アナログRGB/コンポーネント） 29
BNC端子（3連、5連）を使って機器を接続する場合に使用します

RS-232C入出力端子 29
RS-232Cケーブル（クロスタイプ・市販品）を使ってコンピュータなどと接続します

INPUT（入力）5端子（S-ビデオ） 31
S端子付ビデオ機器などを接続するときに使用します

INPUT（入力）4端子（ビデオ） 31
ビデオ機器などを接続するときに使用します

15 **ワイヤードリモコン端子**
リモコン信号が届かない場所で使用する場合に、リモコンのワイヤードリモコン端子と接続します

32 **AUDIO OUTPUT（音声出力）端子**
入力1～5に接続した機器の音声出力端子です

32 **OUTPUT（出力）端子（入力1、2用）**
入力1、2に接続した機器のアナログRGB/コンポーネント信号出力端子です

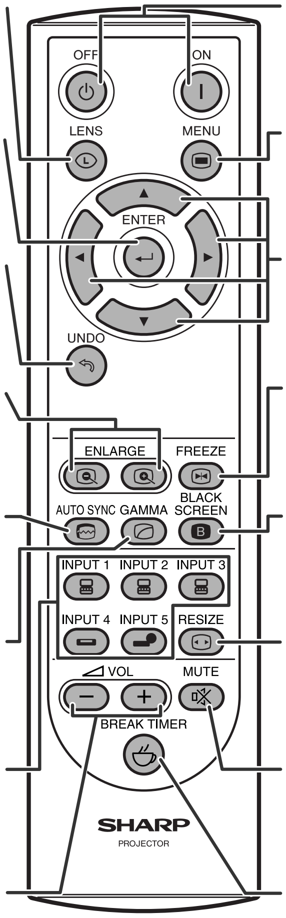
25 **AC電源ソケット**
付属の電源コードを接続します

31 **AUDIO（音声）入力端子（入力4、5用）**
入力4、5に接続した機器の音声入力端子です

リモコン

■ 内の数字は主な参照ページを示しています。

前面



LENS(レンズ)ボタン 36, 37
フォーカス・ズーム・キーストーン補正・垂直サイズ・デジタルシフトの各調整を行います

ENTER(決定)ボタン 47
メニューで選択調整した項目の決定を行います

UNDO(戻す)ボタン 68
1つ前の操作状態に戻したり、初期設定に戻します

ENLARGE(拡大/縮小)ボタン 68
投映された映像の一部を拡大・縮小します

AUTO SYNC(自動同期調整)ボタン 60, 61
コンピュータ接続時の同期を自動で調整します

GAMMA(ガンマ補正)ボタン 69
映像の種類や部屋の明るさに合わせて映像を見やすく補正します

INPUT(入力切換)1, 2, 3, 4, 5ボタン 35
入力(1、2、3、4、5)を切り換えます

VOL(音量)ボタン 35
スピーカーからの音量を調整します

ON(電源入)/OFF(電源切)ボタン 34, 35
電源を入/切します

MENU(メニュー)ボタン 47
各種設定・調整用の画面(OSD画面)を表示します

▲▼◀▶ボタン 43
メニューの選択や各調整画面で調整を行うのに使用します

FREEZE(静止画)ボタン 72
映像を静止画の状態にします

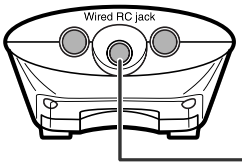
BLACK SCREEN(ブラックスクリーン)ボタン 73
画面表示をブラックにします

RESIZE(画面サイズ)ボタン 70
画面表示モード(ワイドやノーマルなど)を切り換えます

MUTE(消音)ボタン 35
スピーカーからの音を一時的に消します

BREAK TIMER(休憩時間)ボタン 94
休憩時間を設定します

上面



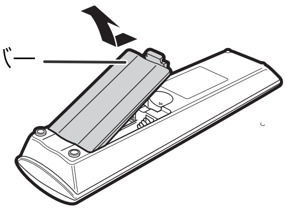
ワイヤードリモコン端子 15
リモコン信号が届かない場所で使用する場合に、本体のワイヤードリモコン端子と接続し使用します

リモコンの使いかた

乾電池の入れかた

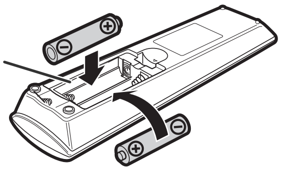
■乾電池はリモコンといっしょに入っています ［単３形（R06）２本］

① カバーのつめを押して矢印の方向に開ける

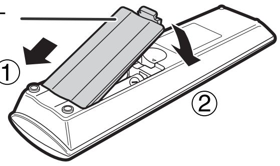


② 付属の乾電池を入れる

■ プラスとマイナスを、表示のとおり正しく入れてください。



③ カバーの突起をリモコンの穴に差し込み、矢印の方向に閉める



■リモコンの使用上のご注意
・衝撃を与えたり、水にぬらしたり、温度の高いところには置かないで下さい。
・蛍光灯の光がリモコンの機能を妨げる場合があります。そのようなときはプロジェクター本体を蛍光灯の光が直接当たらない位置に動かしてご使用ください。

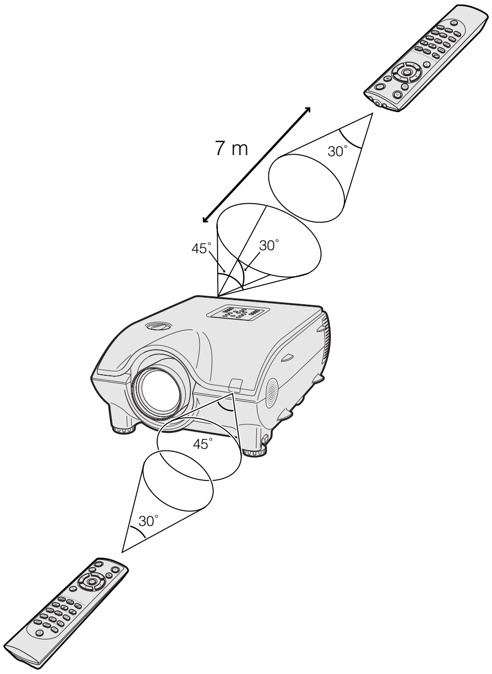
乾電池は誤った使いかたをしますと液もれや破裂することがありますので、次の点について特にご注意ください。

⚠注意
- 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖を、表示のとおり正しく入れてください。
- 乾電池は種類によって特性が異なりますので、種類の違う乾電池は混ぜて使用しないでください。
- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
新しい乾電池の寿命を短くしたり、また、古い乾電池から液がもれる恐れがあります。
- 乾電池が使えなくなったら、液がもれて故障の原因となる恐れもありますのですぐ取り出してください。
また、もれた液に触れると肌が荒れることがありますので、布でふき取るなど十分注意してください。

- 付属の乾電池は、保管状態により短期間で消耗することがありますので、早めに新しい乾電池と交換してください。
- 長時間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出して整理しておいてください。

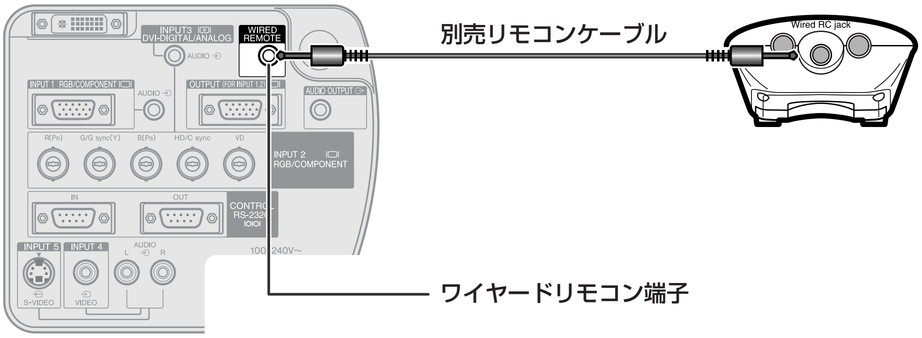
リモコンの使用範囲

■リモコンの使用範囲は下図のとおりです。
■リモコンをスクリーンに反射させて、リモコン信号を受信することもできますが、信号が届く距離はスクリーンの材質によって異なります。

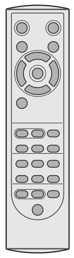


ワイヤードリモコン端子について

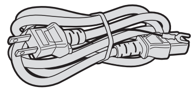
■プロジェクターの設置方法により、リモコン信号が届かない場合は、別売のリモコンケーブル(AN-RC30W)を使って、リモコンの上面にあるワイヤードリモコン端子と、プロジェクターの後面にあるワイヤードリモコン端子を接続してご使用ください。

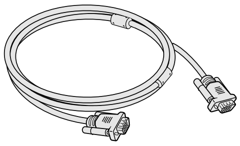


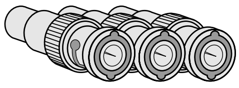
付属品を確認する

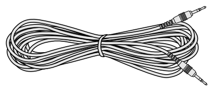

リモコン

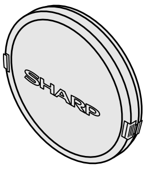
単3形乾電池（2本）


電源コード（1.8 m）

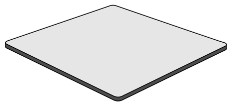

コンピュータRGBケーブル
（3.0 m）


BNC/RCA変換プラグ（3個）


コンピュータ音声ケーブル
（3.0 m）



レンズキャップ
（装着出荷）


エアーフィルター（交換用）

CD-ROM
• Sharp Advanced
Presentation Software

取扱説明書（本書）

ID No.シール

使用許諾契約書

保証書

Sharp Advanced
Presentation Software
インストールガイド

別売品のご案内

レンズ

		100型画面投映時の距離
短焦点固定レンズ	AN-P9MX	1.8m
長焦点電動ズームレンズ	AN-P48EZ	9.4m～12.3m

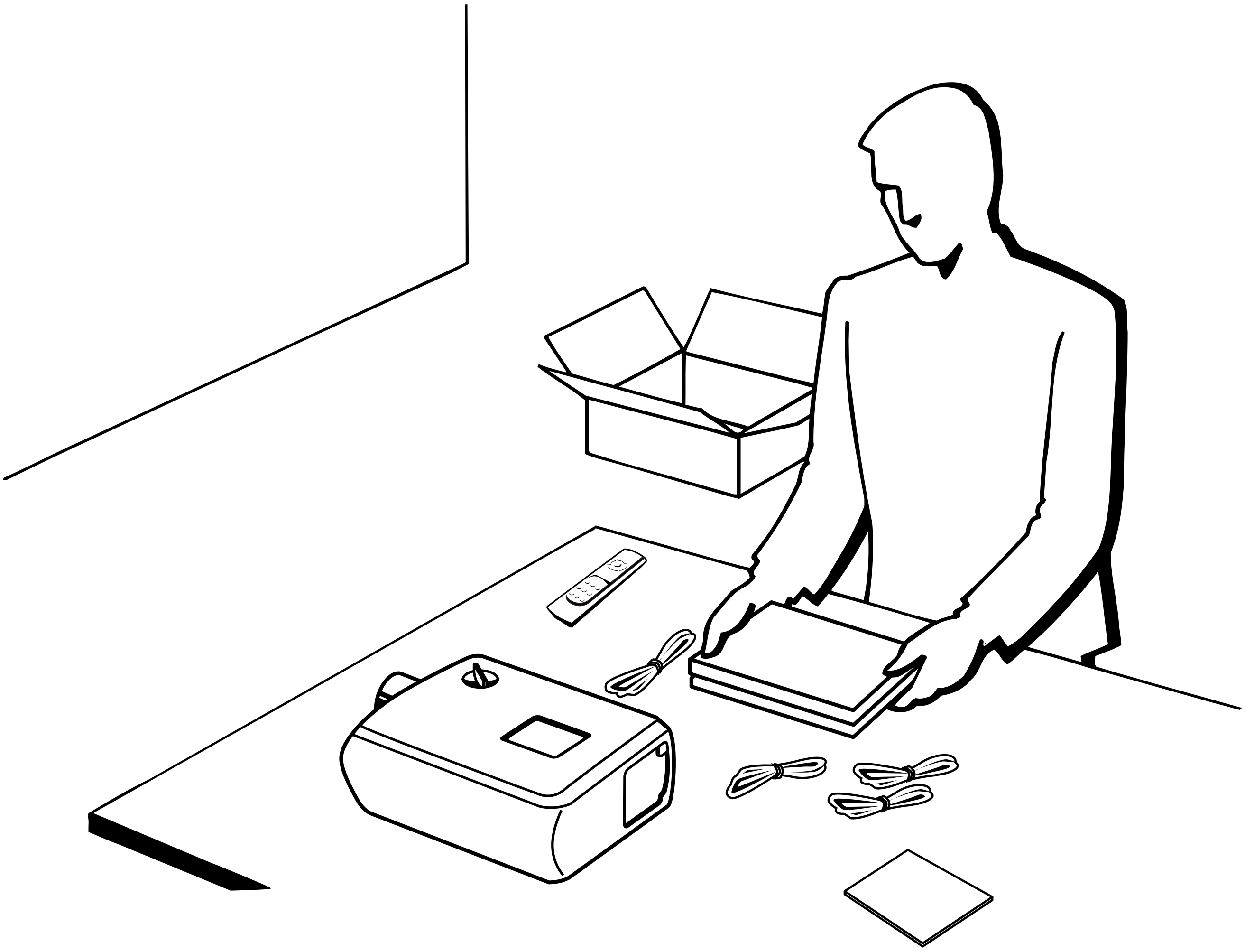
• レンズについて詳しくは、設置のしかた（18～24ページ）をご覧ください。

ケーブル

DVIデジタルケーブル（3m）	AN-C3DV
3RCA/15ピンミニD-Sub変換ケーブル（3m）	AN-C3CP
5BNC/15ピンミニD-Sub変換ケーブル（3m）	AN-C3BN
RS-232Cケーブル（10m）	AN-C10RS（クロス・メス－メスタイプ）
コンピュータRGBケーブル（10m）	AN-C10BM〈IBM-PC系・PC9821系・PC98NX系用〉
	AN-C10PC〈PC98系用（PC9821系・PC98NX系除く）〉
	AN-C10MC〈Macintosh系〉
ワイヤードリモコンケーブル（30m）	AN-RC30W
DVI/15ピンミニD-Sub変換アダプター（20cm）	AN-A1DV

• パソコン側の接続端子の変更等により、そのままでは接続できない場合がありますので、パソコンの仕様をご確認ください。変換コネクター（市販品）が必要な場合があります。

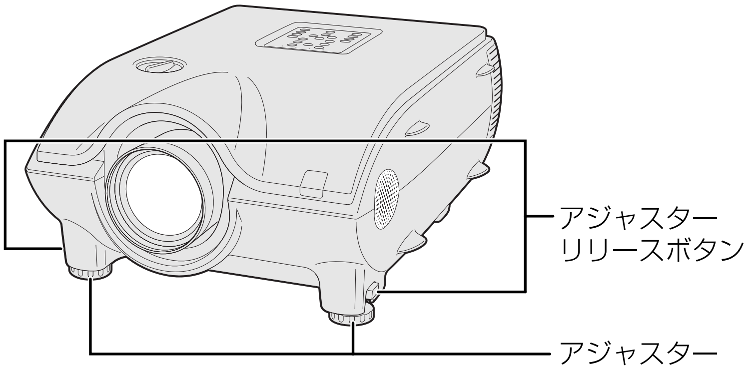
設置と接続のしかた



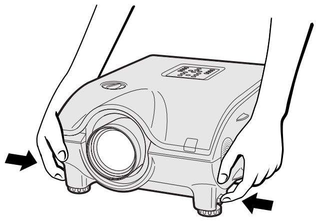
設置のしかた

アジャスターの使いかた

■スクリーンに傾斜があるときや、設置面が少し傾いているときなど、アジャスターを使ってプロジェクターの傾きを微調整することができます。
■スクリーンよりプロジェクターが低いときは、プロジェクターを傾けることで投映画面を高くすることができます。

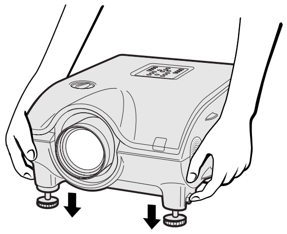


1 アジャスターリリースボタンを押す



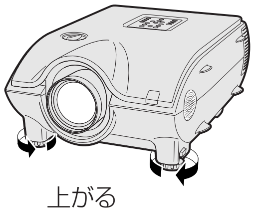
2 プロジェクターを持ち上げて高さを調節し、アジャスターリリースボタンから手を離す

伸びたアジャスターが設置面に届いていることを確認してください。

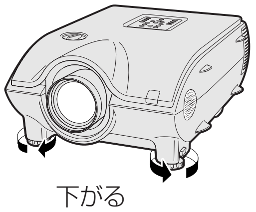


3 アジャスターをまわして、微調整する

アジャスターをまわすと少しずつ上下します。ぐらつきがないようにしてください。



上がる



下がる

メモ

■ 元に戻すときは、プロジェクターをしっかり持ってアジャスターリリースボタンを押さえて下へおろします。
■ プロジェクターは標準位置から約 10 度まで角度調節することができます。
■ プロジェクターの傾きを調整するとスクリーンとの位置関係が変化するため、映像がゆがむことがあります。

お知らせ

■ アジャスターが伸びている状態でアジャスターリリースボタンを押すときは、プロジェクターをしっかりささえて高さを調整してください。
■ プロジェクターを上下するとき、レンズを持たないでください。
■ プロジェクターを下げるとき、プロジェクターとアジャスターの間に指をはさまないように注意してください。

スクリーンを設置する

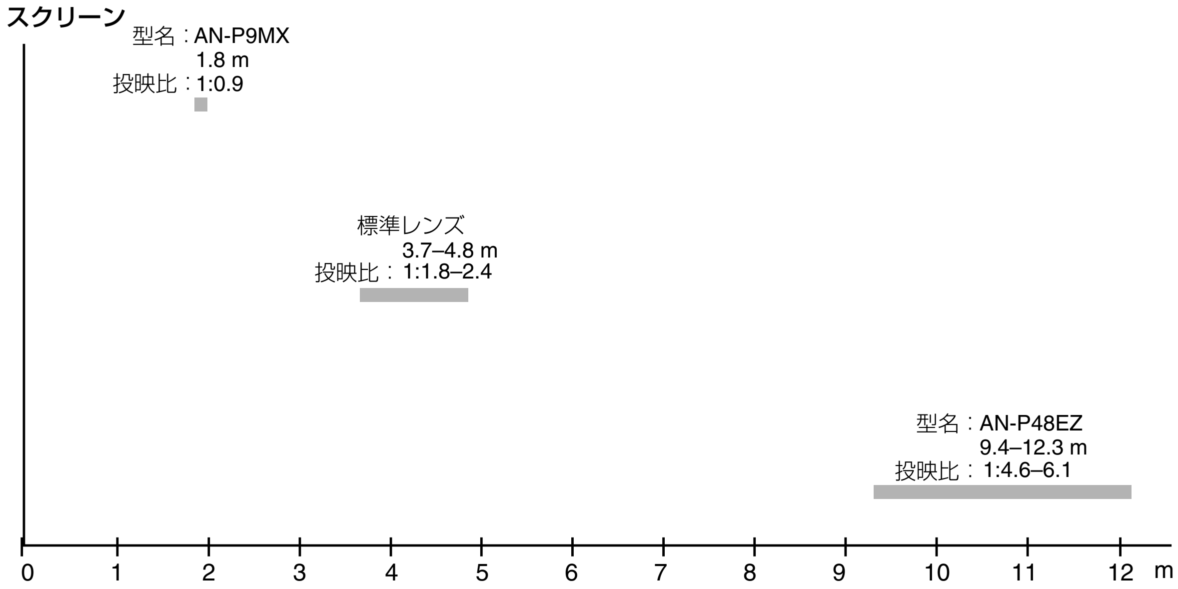
■ **プロジェクターを水平な状態にして(アジャスターを使わない状態)、スクリーンに対して垂直に設置してください。この状態で最良の映像が得られます。**

メモ

■ プロジェクターのレンズがスクリーンの中心にくるように設置してください。レンズの中心を通る水平ラインが、スクリーンに対して垂直になっていないと、映像がゆがんでしまい、見にくくなります。
■ スクリーンを直射日光や照明の光のあたる場所に設置しないでください。スクリーンに直接あたる光で画面が白っぽくなり、見にくくなります。明るい光が入る部屋では、カーテンを引いて、照明を暗くしてください。
■ このプロジェクターは偏光スクリーン対応ではありません。

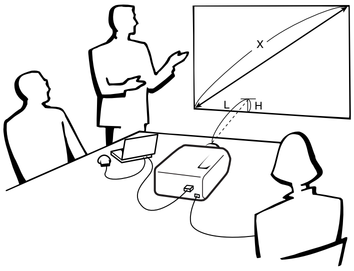
■ **いろいろな用途にあわせて2種類の別売レンズがあります。販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。(レンズ使用時には、レンズに付属の取扱説明書をご覧ください。)レンズの交換はサービスマンが行います。**

投映距離(100型画面投映時の投映距離)

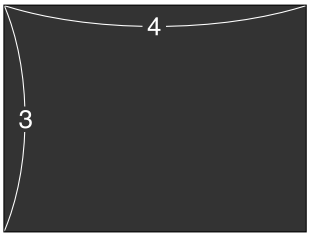


基本的な設置(前面からの投映)

■ **投映したい画面サイズに合わせて、スクリーンから必要な距離をとってプロジェクターを設置してください。(21～23ページ表参照)**

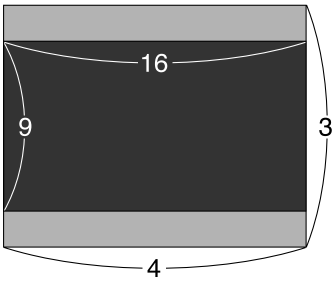


4：3ズームモード



：スクリーンサイズ/画像サイズ(4：3)

16：9スクイーズ(フル)モード/ワイドモード



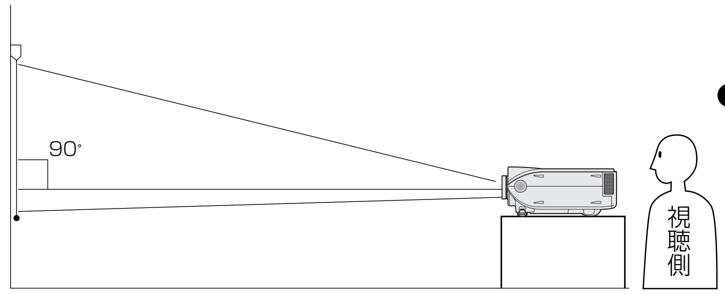
：スクリーンサイズ/画像サイズ(16：9)
：マスクエリア

つづく

設置のしかた(つづき)

基本設置例

横から見たとき



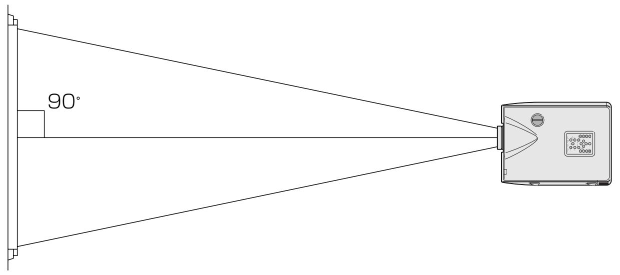
- スクリーンからプロジェクターまでの距離は、スクリーンの大きさによって変わります。

21～23ページ

- スクリーンの正面にプロジェクターを設置する場合は、工場出荷時の設定のままで投映できます。投映した画面の上下左右が反転している場合は、「投映方式」のサブメニューで、標準に設定しなおしてください。

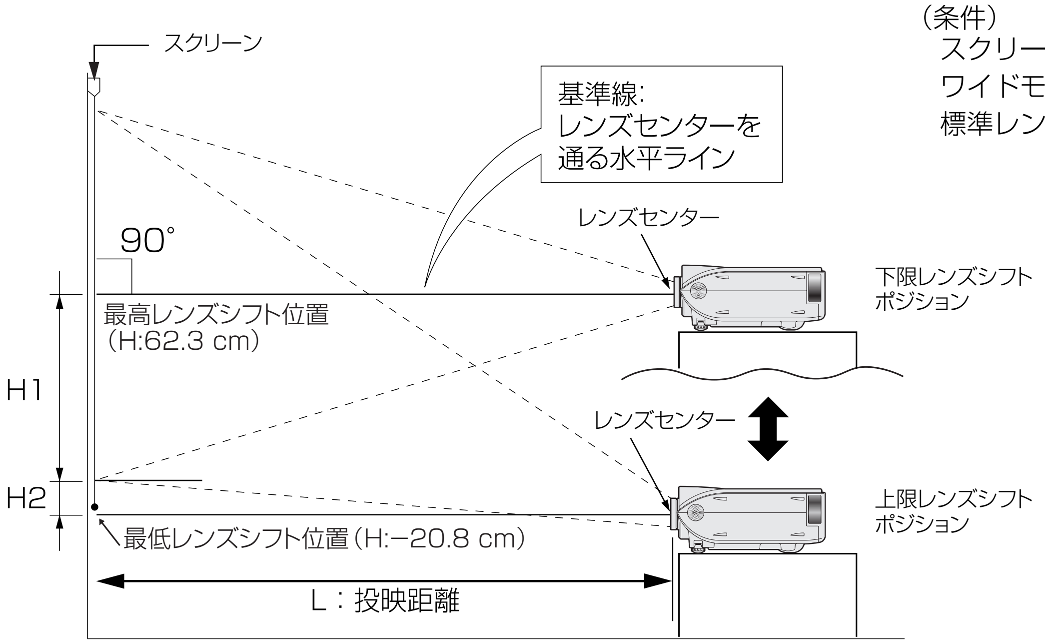
96ページ

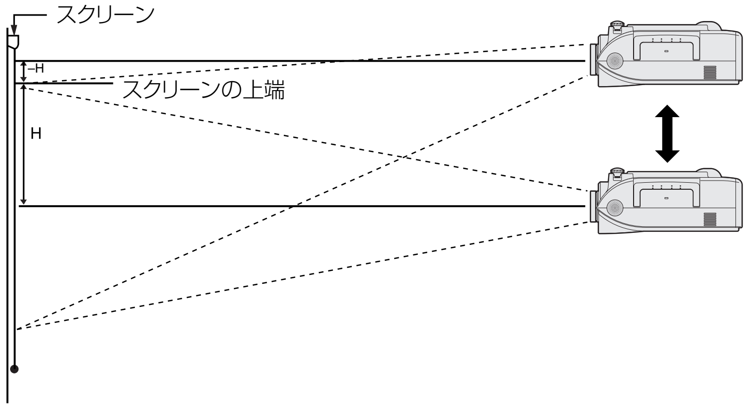
上から見たとき



- レンズの中心を通る水平ラインが、スクリーンに対して垂直になるように、プロジェクターを設置してください。

(条件)
スクリーンサイズ:100型
ワイドモード(16:9)
標準レンズ使用時





標準レンズ

投映比＝１：1.8～2.4

4：3ズームモード(4:3)

(コンピュータ入力時は、標準モード表示となります。)70、71ページ参照

スクリーンサイズ(X)			投映距離(L)		レンズセンター位置から画面の最下端までの距離（H)	
対角(型)	幅(m)	高さ(m)	L1:最長	L2:最短	H1：下限	H2：上限
300	6.1	4.6	14.7 m	11.4 m	228.6 cm	0.0 cm
200	4.1	3.0	9.8 m	7.5 m	152.4 cm	0.0 cm
150	3.0	2.3	7.3 m	5.6 m	114.3 cm	0.0 cm
100	2.0	1.5	4.8 m	3.7 m	76.2 cm	0.0 cm
80	1.6	1.2	3.8 m	3.0 m	61.0 cm	0.0 cm
70	1.4	1.1	3.3 m	2.6 m	53.3 cm	0.0 cm
60	1.2	0.9	2.8 m	2.2 m	45.7 cm	0.0 cm
40	0.8	0.6	1.9 m	1.4 m	30.5 cm	0.0 cm

スクリーンサイズと投映距離の近似式

L1 （最長投映距離）＝0.0495x－0.1302

L2 （最短投映距離）＝0.0383x－0.1153

x：スクリーンサイズ（型）　L：投映距離（m）

H ：レンズセンター位置から画面の最下端までの距離（cm）

H1 （レンズシフト下限時）＝0.762x（cm）

H2 （レンズシフト上限時）＝0　（cm）

16:9スクイーズ（フル）モード/ワイドモード

スクリーンサイズ(X)			投映距離(L)		レンズセンター位置から画面の最下端までの距離（H)	
対角(型)	幅(m)	高さ(m)	L1:最長	L2:最短	H1：下限	H2：上限
300	6.6	3.7	16.0 m	12.4 m	186.8 cm	−62.3 cm
200	4.4	2.5	10.6 m	8.2 m	124.5 cm	−41.5 cm
150	3.3	1.9	8.0 m	6.2 m	93.4 cm	−31.1 cm
120	2.7	1.5	6.3 m	4.9 m	74.7 cm	−24.9 cm
100	2.2	1.2	5.3 m	4.1 m	62.3 cm	−20.8 cm
80	1.8	1.0	4.2 m	3.2 m	49.8 cm	−16.6 cm
70	1.6	0.9	3.6 m	2.8 m	43.6 cm	−14.5 cm
60	1.3	0.7	3.1 m	2.4 m	37.4 cm	−12.5 cm
40	0.9	0.5	2.0 m	1.6 m	24.9 cm	−8.3 cm

スクリーンサイズと投映距離の近似式

L1 （最長投映距離）＝0.0538x－0.1242

L2 （最短投映距離）＝0.0417x－0.1135

x：スクリーンサイズ（型）　L：投映距離（m）

H ：レンズセンター位置から画面の最下端までの距離（cm）

H1 （レンズシフト下限時）＝0.623x　（cm）

H2 （レンズシフト上限時）＝－0.208x　（cm）

お知らせ

■ 上記の近似式には±3%の誤差があります。

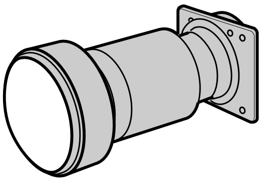
■ 表中に－(マイナス記号)がついた値は、レンズセンターからの直線距離がスクリーンより下になることを示しています。

つづく

設置のしかた(つづき)

AN-P9MX

投映比＝ 1：0.9



4：3 ズームモード(4:3)(コンピュータ入力時は、標準モード表示となります。)70、71 ページ参照

スクリーンサイズ(X)			投映距離(L)	レンズセンター位置から画面の最下端までの距離 (H)
対角(型)	幅(m)	高さ(m)		
300	6.1	4.6	5.5 m	228.6 cm
200	4.1	3.0	3.7 m	152.4 cm
150	3.0	2.3	2.7 m	114.3 cm
100	2.0	1.5	1.8 m	76.2 cm
80	1.6	1.2	1.4 m	61.0 cm
70	1.4	1.1	1.2 m	53.3 cm
60	1.2	0.9	1.1 m	45.7 cm
40	0.8	0.6	0.7 m	30.5 cm

スクリーンサイズと投映距離の近似式
L＝(0.0186x−0.0563)
x：スクリーンサイズ (型)　 L：投映距離 (m)

H ：レンズセンター位置から画面の最下端までの距離 (cm)
H ＝0.762x (cm)

16:9スクイーズ (フル) モード/ワイドモード

スクリーンサイズ(X)			投映距離(L)	レンズセンター位置から画面の最下端までの距離 (H)
対角(型)	幅(m)	高さ(m)		
300	6.6	3.7	6.0 m	186.8 cm
200	4.4	2.5	4.0 m	124.5 cm
150	3.3	1.9	3.0 m	93.4 cm
120	2.7	1.5	2.4 m	74.8 cm
100	2.2	1.2	2.0 m	62.3 cm
80	1.8	1.0	1.6 m	49.8 cm
70	1.6	0.9	1.4 m	43.6 cm
60	1.3	0.7	1.2 m	37.4 cm
40	0.9	0.5	0.8 m	24.9 cm

スクリーンサイズと投映距離の近似式
L＝(0.0203x−0.0579)
x：スクリーンサイズ (型)　 L：投映距離 (m)

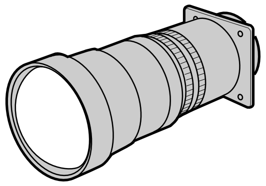
H ：レンズセンター位置から画面の最下端までの距離 (cm)
H ＝0.623x (cm)

お知らせ

■ 上記の近似式には± 3%の誤差があります。
■ 表中に−(マイナス記号)がついた値は、レンズセンターからの直線距離がスクリーンより下になることを示しています。

AN-P48EZ

投映比＝ 1：4.6 ～ 6.1



4：3ズームモード(4:3)（コンピュータ入力時は、標準モード表示となります。）70、71 ページ参照

スクリーンサイズ（X）			投映距離（L）		レンズセンター位置から画面の最下端までの距離（H）	
対角（型）	幅（m）	高さ(m)	L1:最長	L2:最短	H1：下限	H2：上限
300	6.1	4.6	36.5 m	27.9 m	228.6 cm	0.0 cm
200	4.1	3.0	24.4 m	18.7 m	152.4 cm	0.0 cm
150	3.0	2.3	18.3 m	14.0 m	114.3 cm	0.0 cm
100	2.0	1.5	12.3 m	9.4 m	76.2 cm	0.0 cm
80	1.6	1.2	9.6 m	7.3 m	61.0 cm	0.0 cm
70	1.4	1.1	8.8 m	6.9 m	53.5 cm	0.0 cm
60	1.2	0.9	7.4 m	5.7 m	45.7 cm	0.0 cm

スクリーンサイズと投映距離の近似式
L1 （最長投映距離）＝(0.1214x＋0.1272)
L2 （最短投映距離）＝(0.0927x＋0.1233)
x：スクリーンサイズ（型）　L：投映距離（m）

H ：レンズセンター位置から画面の最下端までの距離（cm）
H1 （レンズシフト下限時）＝0.762x（cm）
H2 （レンズシフト上限時）＝0　（cm）

16:9スクイーズ（フル）モード/ワイドモード

スクリーンサイズ（X）			投映距離（L）		レンズセンター位置から画面の最下端までの距離（H）	
対角（型）	幅（m）	高さ(m)	L1:最長	L2:最短	H1：下限	H2：上限
300	6.6	3.7	39.8 m	30.4 m	186.8 cm	−62.3 cm
200	4.4	2.5	26.6 m	20.3 m	124.5 cm	−41.5 cm
150	3.3	1.9	20.0 m	15.3 m	93.4 cm	−31.1 cm
120	2.7	1.5	15.7 m	12.0 m	74.8 cm	−25.0 cm
100	2.2	1.2	13.4 m	10.2 m	62.3 cm	−20.8 cm
80	1.8	1.0	10.5 m	7.9 m	49.8 cm	−16.6 cm
70	1.6	0.9	9.1 m	6.9 m	43.6 cm	−14.6 cm
60	1.3	0.7	8.1 m	6.2 m	37.4 cm	−12.5 cm

スクリーンサイズと投映距離の近似式
L1 （最長投映距離）＝(0.1323x＋0.1272)
L2 （最短投映距離）＝(0.101x＋0.1233)
x：スクリーンサイズ（型）　L：投映距離（m）

H ：レンズセンター位置から画面の最下端までの距離（cm）
H1 （レンズシフト下限時）＝0.623x　（cm）
H2 （レンズシフト上限時）＝−0.208x　（cm）

お知らせ

■ 上記の近似式には± 3%の誤差があります。
■ 表中に−（マイナス記号）がついた値は、レンズセンターからの直線距離がスクリーンより下になることを示しています。

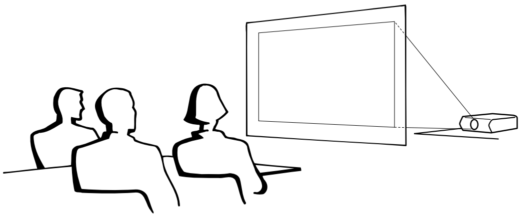
つづく

設置のしかた(つづき)

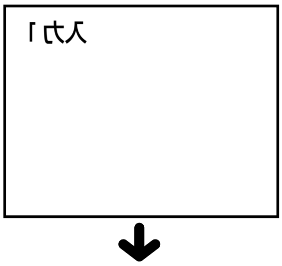
反転映像を投映するとき

スクリーン背後からの投映

■透過型スクリーンをプロジェクターと視聴者の間に設置してください。
■メニューの投映方式を「リア」に設定して、画面の左右を反転してください。(96ページ参照)



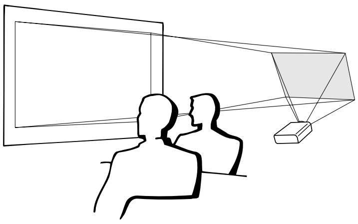
画面表示 工場出荷時の設定で投映すると…



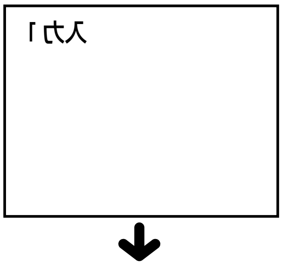
映像の左右を反転します

ミラーを使った投映

■通常の投映ポジションではプロジェクターとスクリーンの間で十分な距離がとれない場合、ミラーを使うことで反射イメージをスクリーンに投映できます。
■レンズの正面にミラー(表面鏡)を設置してください。
■視聴者側にミラーを置くときは、メニューの投映方式を「リア」に設定して、画面の左右を反転してください。(96ページ参照)



画面表示 工場出荷時の設定で投映すると…



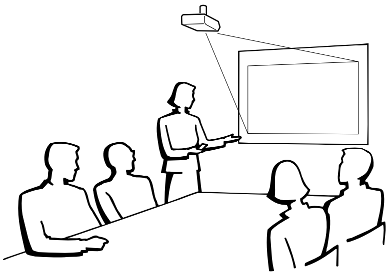
映像の左右を反転します

お知らせ

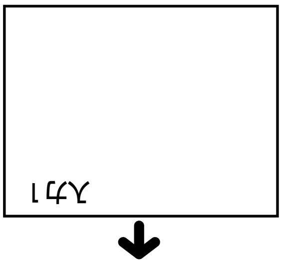
■ミラーを使用する場合は、プロジェクターとミラーの位置に注意して、視聴者の目に光が入らないようにしてください。

天井取り付けによる投映

■天井に取り付ける場合は、別売の取り付けユニットおよび取り付けアダプタが必要です。また、取り付けの際は、必ずお買いあげの販売店にご相談ください。
■プロジェクターを天井に設置するときは、21～23ページのレンズセンター位置から画面の最下端までの距離(H)に合わせて設置位置を決めてください。
■メニューの投映方式を「天吊り」に設定して、画面の上下を反転してください。



画面表示 工場出荷時の設定で投映すると…



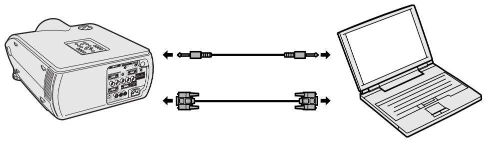
映像の上下を反転します

接続のしかた

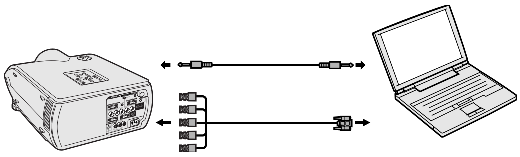
接続例

コンピュータとの接続

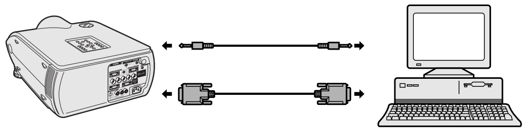
■コンピュータ(RGB)ケーブルを使って接続します。くわしくは26ページをご覧ください。



■5BNC/15ピンミニD-subケーブル「AN-C3BN」(別売品)を使って接続します。くわしくは27ページをご覧ください。

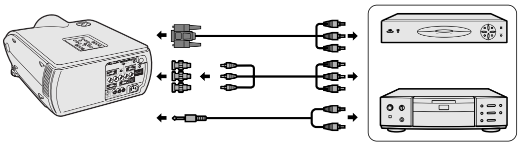


■DVIデジタルケーブル「AN-C3DV」(別売品)を使って接続します。くわしくは28ページをご覧ください。

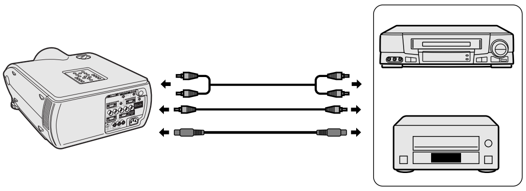


ビデオ、オーディオ機器との接続

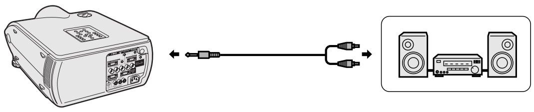
■DVDプレーヤーやBSデジタルチューナーなどコンポーネント(色差)出力端子付機器と接続します。くわしくは30ページをご覧ください。



■ビデオやレーザーディスクなどと接続します。くわしくは31ページをご覧ください。



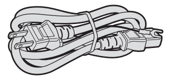
■オーディオケーブル(市販品)を使って接続します。くわしくは32ページをご覧ください。



電源コードの接続

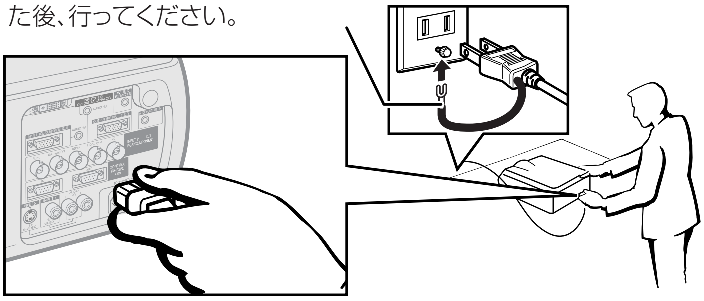
プロジェクターの背面にあるAC電源ソケットに電源コードを接続します。

付属品



電源コード
(1.8m)

- 電源コードをコンセントに差し込む前に、必ずアースコードを取り付けてください。
- アースコードを取り外すときは、必ずプラグをコンセントから抜いた後、行ってください。



つづく

接続のしかた(つづき)

コンピュータを接続する

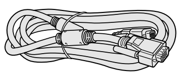
お知らせ

■ 接続を始める前に、必ずコンピュータおよびプロジェクターの電源を切ってください。すべての接続が終わったあとで、プロジェクターおよび周辺機器の電源を先に入れ、一番最後にコンピュータの電源を入れます。

■接続の際は、コンピュータの取扱説明書をよくお読みください。

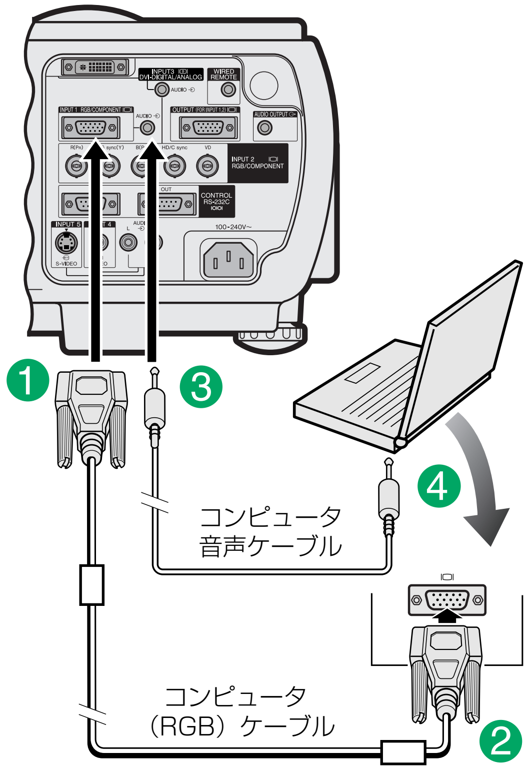
コンピュータ(RGB)ケーブルを使って接続する

付属品



コンピュータ(RGB)ケーブル(3 m)

1. 付属のコンピュータ(RGB)ケーブルの一方をプロジェクターのINPUT(入力)1 端子に接続します。
2. もう一方をコンピュータのRGB出力端子に接続します。(ねじを締めて確実に接続してください。)
3. 音声を入力する場合は、コンピュータ音声ケーブルを使ってプロジェクターのINPUT(入力)1用AUDIO(音声入力)端子に接続します。
4. もう一方をコンピュータの音声出力端子に接続します。



この方法で接続したときは、メニューの「入力信号タイプ」を「RGB入力」に設定してください。(46ページ参照)

お知らせ

■ 対応しているコンピュータの表示モードについては、122ページ「RGB入力信号(推奨信号)について」をご覧ください。一覧表に記載のない表示モードで使用すると、本製品の機能の一部が使用できない場合があります。

メモ

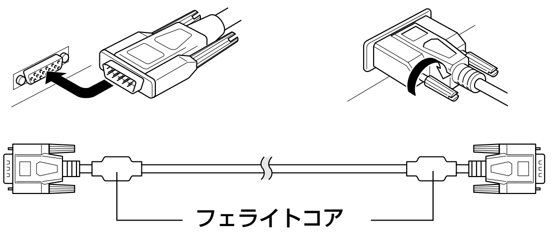
■ パソコンのモニターが別にあるときは、本体のRGB出力端子とモニターのRGB入力端子を、RGBケーブル(市販品または別売品の「AN-C10RS(10m)」)を使って接続してください。

■ Macintoshと接続する場合、コンピュータケーブルにアダプタが必要になる場合があります。販売店または、シャープお客様ご相談窓口へお問い合わせください。

コンピュータ(RGB)ケーブルの取り扱いについて

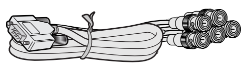
■本機とコンピュータに接続するコンピュータ(RGB)ケーブルは、端子の形状を合わせて差し込み、両端のネジでしっかりと固定してください。

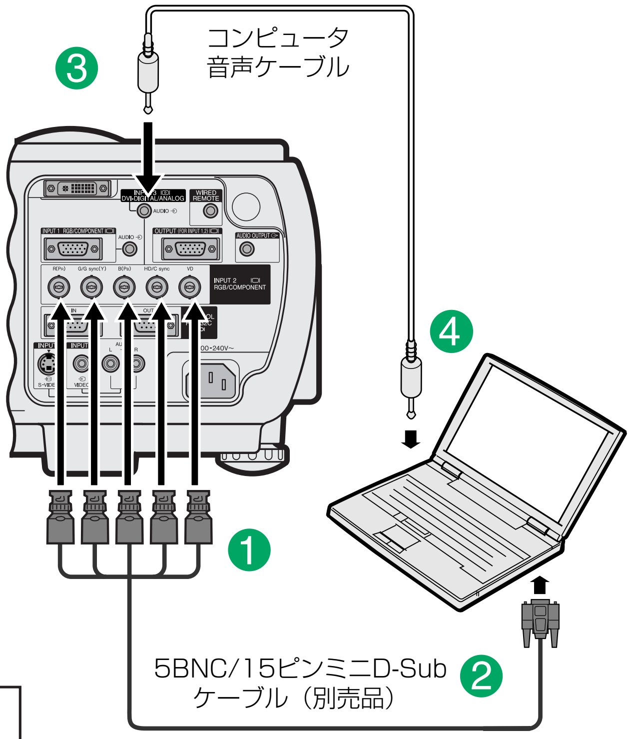
■コンピュータ(RGB)ケーブルについているフェライトコアは、電気用品安全法に適合するために必要なものですので、絶対に取り外さないでください。



5BNC/15ピンミニD-Subケーブル（別売品）を使って接続する

■本機は画質の低下を防ぐために、5BNC 入力を採用しています。
■プロジェクターの入力端子とコンピュータを直接接続する場合は、5BNC/15ピンミニD-Subケーブル（別売品）を使って、R(PR)・G/G sync (Y)・B(PB)・HD(C sync)・VD のケーブルをプロジェクターの入力端子に正しく接続してください。

別売品 
5BNC/15ピンミニD-Subケーブル
形名：AN-C3BN（3 m）



1. 別売の 5BNC/15 ピンミニ D-Sub ケーブルの一方をプロジェクターの INPUT（入力）2 端子に接続します。
2. もう一方をコンピュータの RGB 出力端子に接続します。（ねじを締めて確実に接続してください。）
3. 音声を入力する場合は、市販のコンピュータ音声ケーブルを使ってプロジェクターの INPUT（入力）2、3 用 AUDIO（音声）入力端子に接続します。
4. もう一方をコンピュータの音声出力端子に接続します。

この方法で接続したときは、メニューの「入力信号タイプ」を「RGB 入力」に設定してください。（46ページ参照）

メモ
■ 本機をIBM-PC(VGA/SVGA/XGA/SXGA/UXGA)または互換機（ワークステーション）に接続する場合は、別ケーブルが必要になる場合があります。詳細は販売店にお問い合わせください。
■ 推奨タイプ以外のコンピュータを接続すると、プロジェクターおよびコンピュータが損傷する恐れがあります。

「プラグ&プレイ」機能（15ピン端子に接続する）

■ 本機はVESA-standard DDC 1/DDC 2Bに準拠しています。本機とVESA DDC準拠のコンピュータでは、設定内容を送受信（通信）しますので、早く簡単にセットアップすることができます。
■ 「プラグ&プレイ」機能を使用する前には、かならずプロジェクターの電源を先に入れてから、接続したコンピュータの電源を入れてください。

メモ
■本機のDDC プラグ＆プレイ機能はVESA　DDC互換コンピュータを接続した場合のみ操作できます。

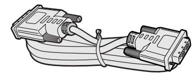
つづく

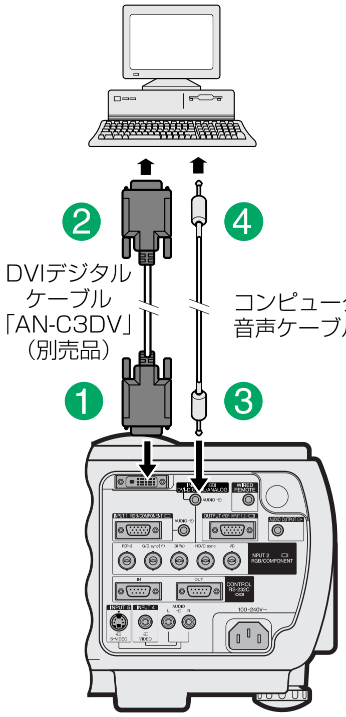
接続のしかた(つづき)

コンピュータを接続する

DVIデジタルケーブル(別売品)を使って接続する

■ 本機はコンピュータのデジタル映像信号を直接入力できる DVI デジタル入力端子を標準装備しています。

別売品

DVIデジタルケーブル
形名：AN-C3DV（3m）



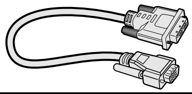
1. DVIデジタルケーブルの一方をプロジェクターのINPUT(入力)3端子に接続します。
2. もう一方をコンピュータのデジタル出力端子に接続します。
3. 音声を入力する場合は、コンピュータ音声ケーブルを使ってプロジェクターのINPUT(入力)2、3用AUDIO(音声)入力端子に接続します。
4. もう一方をコンピュータの音声出力端子に接続します。

お知らせ

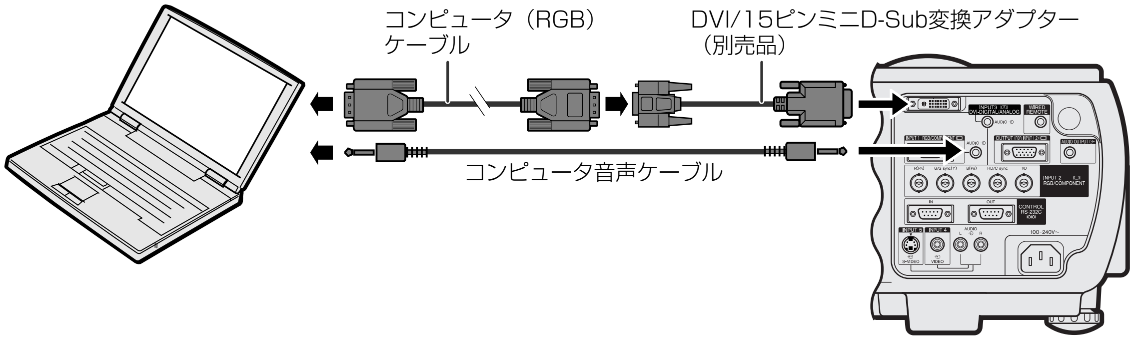
■ このDVIデジタル端子はDVIバージョン1.0に対応しています。したがってコピーガードシステムに対応しているシステム(DVIバージョン2.0)を接続した場合、信号を受信できません。

■ 対応しているコンピュータの表示モードについては、122ページ「RGB入力信号(推奨信号)について」をご覧ください。一覧表に記載のない表示モードで使用すると、本製品の機能の一部が使用できない場合があります。

DVI/15ピンミニD-subケーブルを使って接続する

別売品

DVI/15ピンミニD-sub変換アダプター
形名：AN-A1DV（20cm）

1. 別売のDVI/15ピンミニD-sub変換アダプターと付属のコンピュータ(RGB)ケーブルを使ってプロジェクターとコンピュータを接続します。(ネジをしめて確実に接続してください。)
2. 音声を入力する場合は、φ3.5音声ケーブルを使ってプロジェクターとコンピュータを接続します。



メモ

■ 対応しているコンピュータの表示モードについては、122ページ「RGB入力信号(推奨信号)について」をご覧ください。一覧表に記載のない表示モードで使用すると、本製品の機能の一部が使用できない場合があります。

■ Macintoshと接続する場合、コンピュータケーブルにアダプターが必要になる場合があります。販売店または、シャープお客様相談センターへお問い合わせください。

■ この接続でお使いの場合、シンクオングリーン信号には対応しておりません。

シリアル(RS-232C)端子へ接続する

■ RS-232C ケーブル（市販品または別売品「AN-C10RS（10m）」）を使って、プロジェクターの RS-232C IN（入力）端子とコンピュータのシリアル（RS-232C）ポートを接続すると、コンピュータからプロジェクターを操作したり、プロジェクターの状態をチェックすることができます。くわしくは118ページをご覧ください。

お知らせ

■ コンピュータの電源が入っているときには、コンピュータにRS-232Cケーブルを接続したり、外したりしないでください。

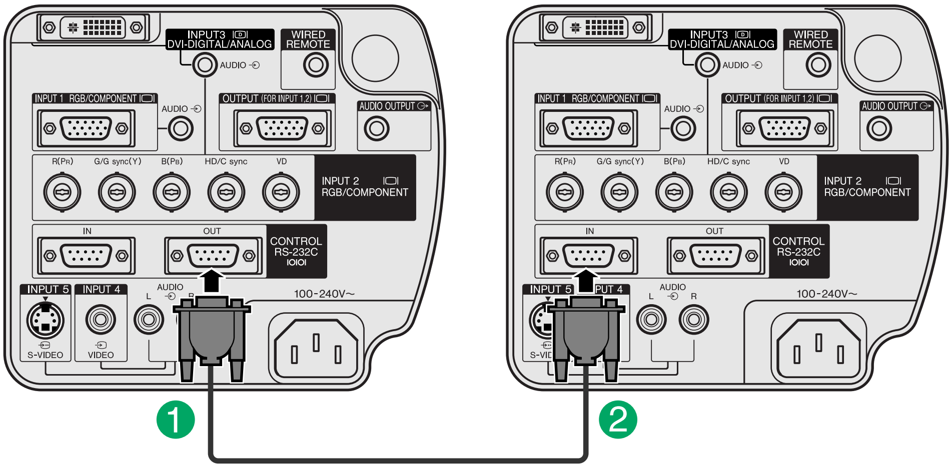
■ パソコン側のRS-232C端子以外には接続しないでください。コンピュータまたはプロジェクターが破損する恐れがあります。

メモ

■ コンピュータポートが正しく設定されていないと、コンピュータからプロジェクターを操作するなどの機能が正しく動作しないことがあります。正しいドライバをセットアップ・インストールする詳細についてはコンピュータの取扱説明書をご参照ください。

デイジーチェーン接続する

■ 同梱のソフトウェア「Sharp Advanced Presentation Software」を使用して、複数のプロジェクターをコントロールする場合や、スタック機能を使用する場合には、デイジーチェーン接続を行います。



1. RS-232C ケーブルの一方をプロジェクターの RS-232C OUT 端子に接続します。
2. もう一方を別のプロジェクターのRS-232C IN端子に接続します。

つづく

接続のしかた(つづき)

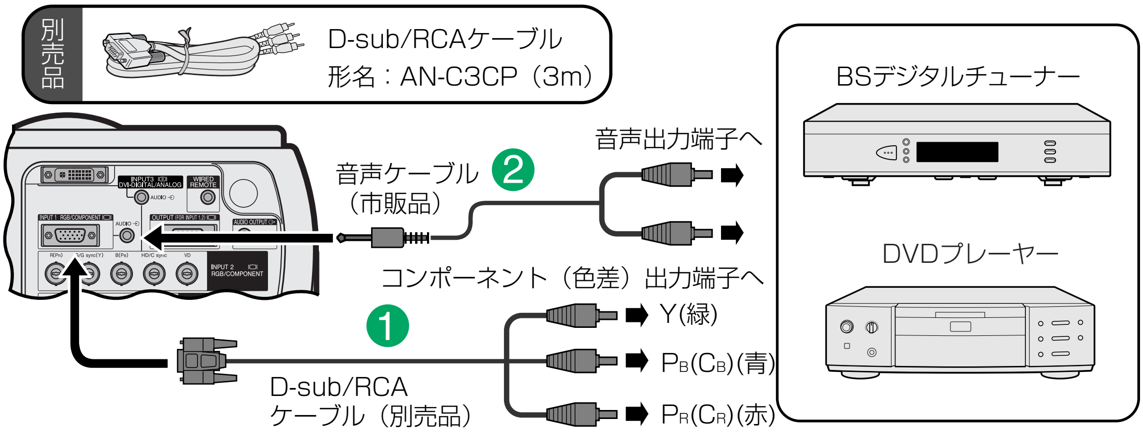
ビデオ機器を接続する

お知らせ

ビデオ機器を接続するときは、プロジェクターとビデオ機器の両方の電源を切ってから接続してください。

コンポーネント(色差)出力端子付きビデオ機器と接続する

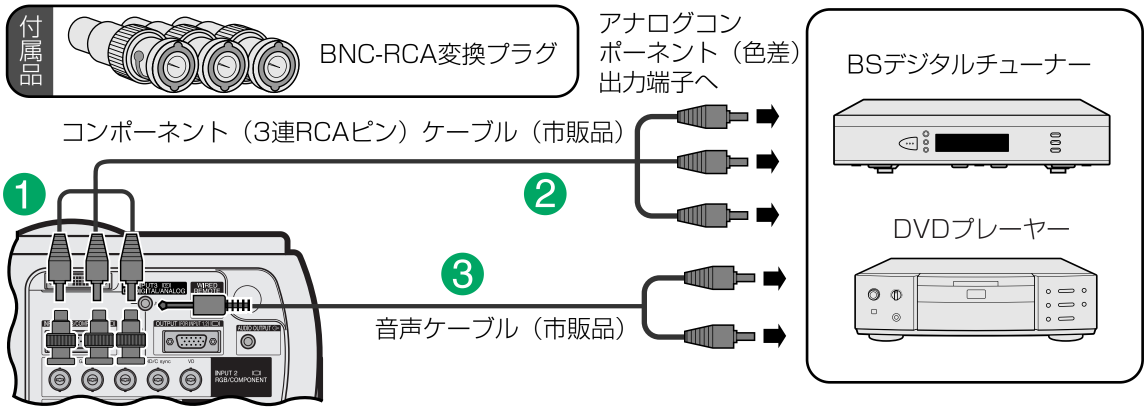
■BSビデオデジタルチューナーやDVDプレーヤーなど、コンポーネント(色差)出力端子のある機器をINPUT(入力)1端子に接続するときは、別売品のD-sub/RCAケーブル「AN-C3CP」を使って接続します。



① 別売のD-sub/RCAケーブルでプロジェクターのINPUT(入力)1端子とビデオ機器のコンポーネント(色差)出力端子を接続します。

② 市販の音声ケーブルでプロジェクターのAUDIO(音声)入力端子(入力1用) とビデオ機器の音声出力端子に接続します。

■BSチューナーやDVDプレーヤーなど、コンポーネント(色差)出力端子のある機器をINPUT(入力)2端子に接続するときは、付属のBNC-RCA変換プラグを使って接続します。



① 市販のコンポーネントケーブルまたは映像ケーブルの一方を付属のBNC-RCA変換プラグを使い、プロジェクターへ接続します。(YはG/G SYNC(Y)へ、PB(CB)はB(PB)へ、PR(CR)はR(PR)へそれぞれ接続します。)

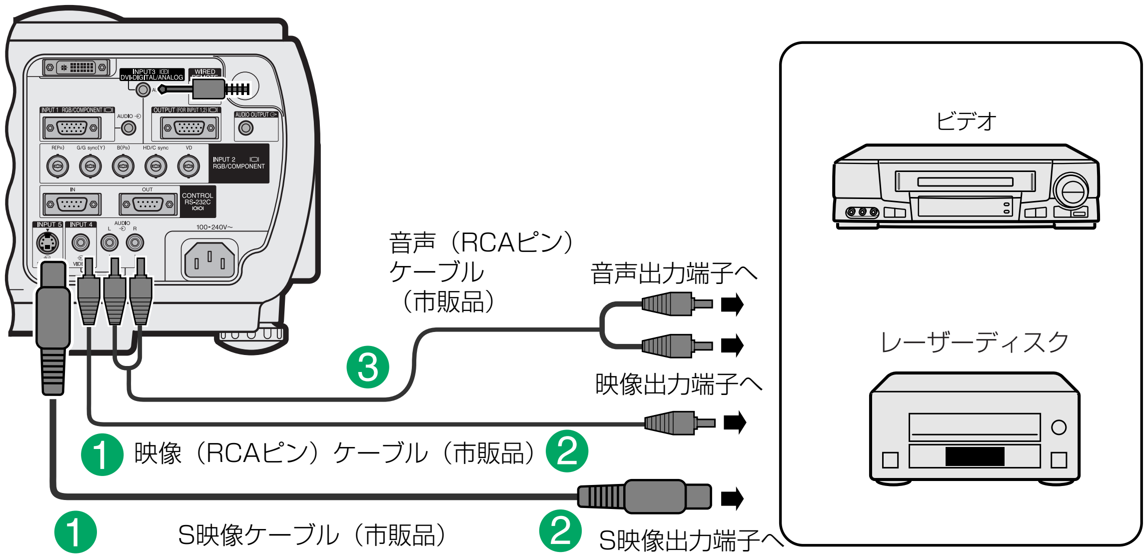
② もう一方をビデオ機器のコンポーネント(色差)出力端子へ接続します。

③ 市販の音声ケーブルでプロジェクターのAUDIO(音声)入力端子(入力2、3用)とビデオ機器の音声出力端子に接続します。

- この方法でINPUT(入力)1や2に接続したときは、メニューの「入力信号タイプ」を「色差入力」に設定してください。(46ページ参照)
- 必要に応じて特殊モードの解像度を「480P」に設定してください。(58ページ参照)

ビデオ機器を市販のS映像ケーブルや映像ケーブル、音声ケーブルを使って接続する

■ビデオやレーザーディスクプレーヤーなどを市販のＳ映像ケーブルや映像ケーブル、音声ケーブルを使って INPUT(入力)4・５端子に接続します。



1. 市販のS映像ケーブルまたは映像ケーブルの一方をプロジェクターのINPUT(入力)4または5端子に接続します。
2. もう一方を接続する機器のＳ映像出力端子または映像出力端子に接続します。
3. 市販の音声ケーブルを使ってプロジェクターの AUDIO(音声)入力端子(入力4、5用)とビデオ機器の音声出力端子を接続します。

メモ

■Ｓ映像端子に採用されているビデオ信号は、色信号と輝度信号に分かれています。より高品位な画像再生のため、プロジェクターのＳ映像端子とビデオ機器のＳ映像出力端子を市販のＳ映像ケーブルで接続してお使いください。

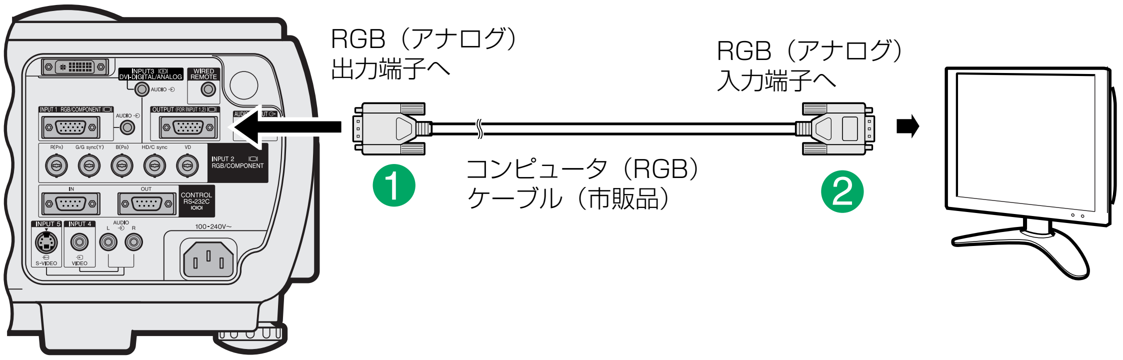
つづく

接続のしかた(つづき)

モニターへ接続する

■プロジェクターの出力端子から RGB 入力を持つモニターへ接続すると、コンピュータの出力をプロジェクターとモニターの両方で表示させることができます。接続は、市販のコンピュータ(RGB)ケーブルをご使用ください。

1. 市販のコンピュータRGBケーブルの一方をプロジェクターのRGB(アナログ)OUTPUT(出力)端子に接続します。
2. コンピュータ RGB ケーブルのもう一方をモニターの RGB(アナログ)入力端子に接続します。



メモ

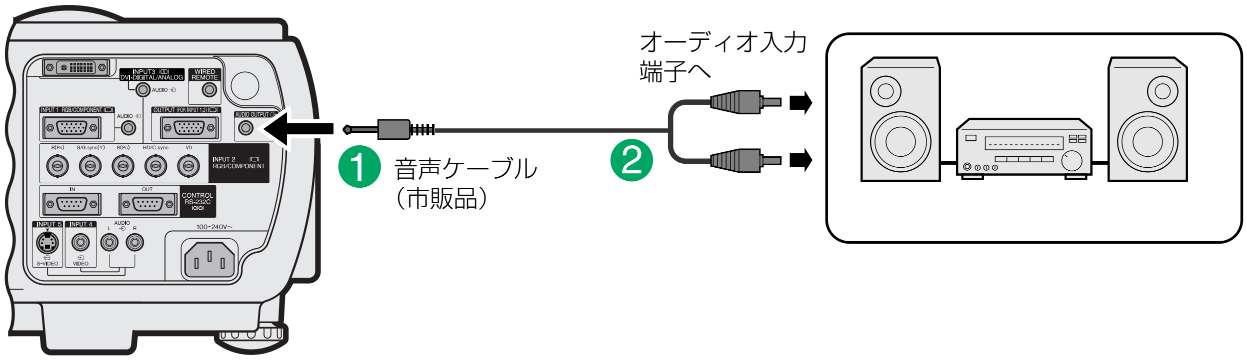
■ RGB(アナログ)出力端子は、INPUT(入力)1・2 端子専用の出力端子です。INPUT(入力)3・4・5 端子に接続した機器の映像は出力されません。

プロジェクターとアンプやその他のオーディオ機器を接続する

お知らせ

■ オーディオ機器を接続するときは、プロジェクターとオーディオ機器の両方の電源を切ってから接続してください。

1. 市販の音声ケーブルの一方をプロジェクターの AUDIO OUTPUT(音声出力)端子に接続します。
2. もう一方をオーディオ機器のオーディオ入力端子に接続します。



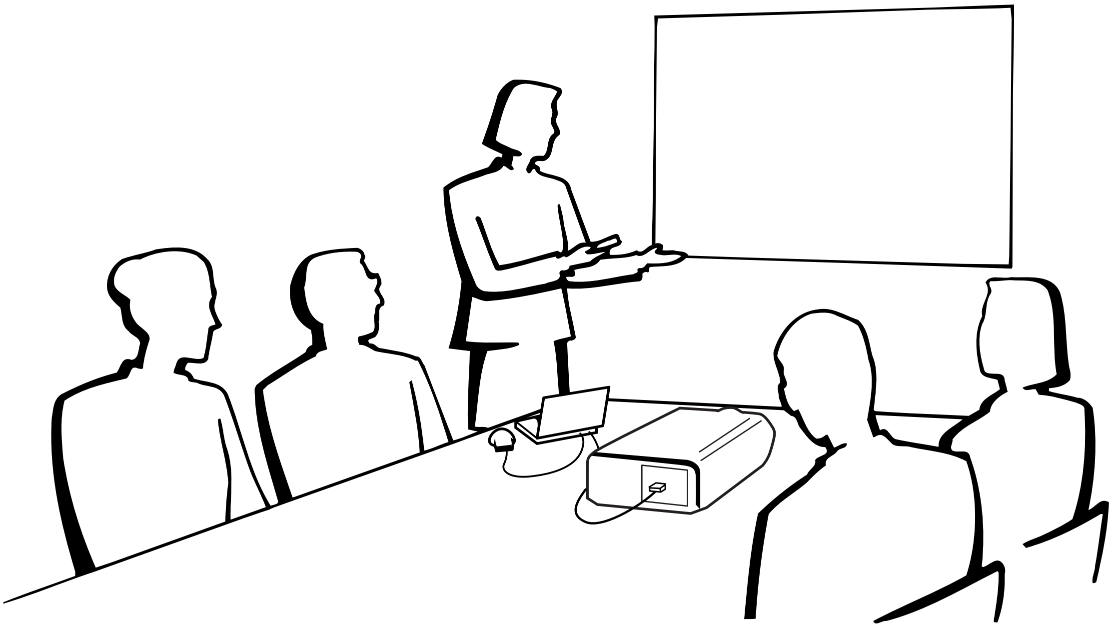
メモ

■ より良い音で楽しむためにオーディオ機器と接続することをおすすめします。

■ 音声出力端子を使うことによって、INPUT(入力)1 〜 5 用の各 AUDIO(音声)入力端子に接続されているオーディオ機器から入力された音声を出力することができます。

■ アンプ等と接続して使用している場合、電源を切るときはアンプの電源を切ってから、プロジェクターの電源を切ってください。

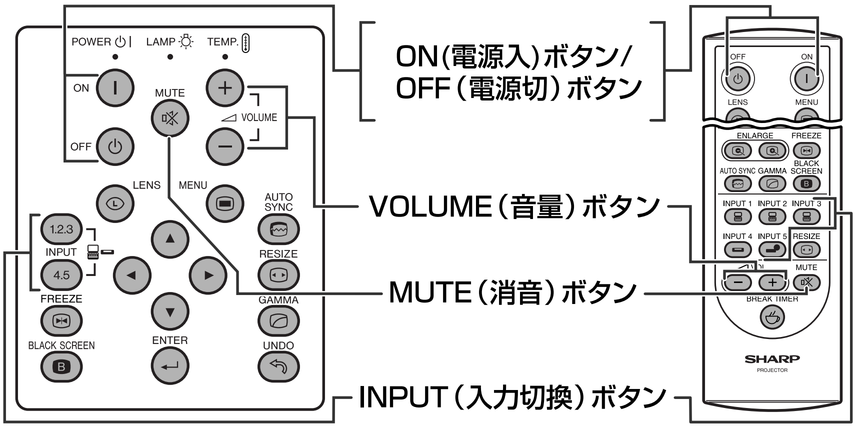
基本操作



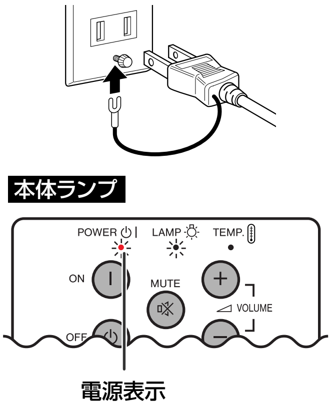
投映のしかた

電源を入れてから切るまで

■操作を始める前に、外部機器との接続を済ませておいてください。



1 電源プラグをコンセントに接続する

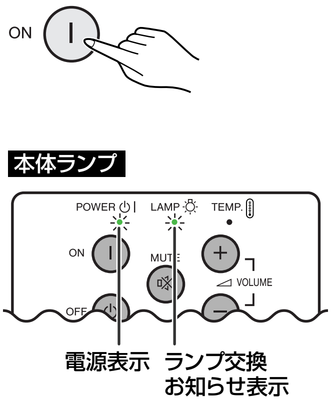


■ コンセントに接続する前に、アースコードを取り付けてください。

■ プロジェクターの電源表示が赤色に点灯し、プロジェクターが待機状態になります。

■ プロジェクター下部のエアーフィルターカバーやレンズカバーが確実に取り付けられていないと、電源表示が点滅し、電源が入りません。

2 ON(電源入)ボタン を押す



■ 電源表示が緑色で点灯します。
ランプの起動中は、ランプ交換お知らせ表示が緑色で点滅します。点滅が終わったことを確認してから、プロジェクターの操作を始めてください。

■ 電源を切った直後に再び電源を入れると、ランプ交換お知らせ表示が点灯するまで、多少時間がかかる場合があります。

ランプ交換お知らせ表示はランプの状態をお知らせします。

緑色点滅：ランプ起動中　　**赤色点滅**：ランプ交換時期

緑色点灯：ランプ点灯中　　**赤色点灯**：ランプ交換

❸ INPUT（入力切換）1、2、3 ボタンまたはINPUT（入力切換）4、5ボタンを押して、入力モードを選ぶ

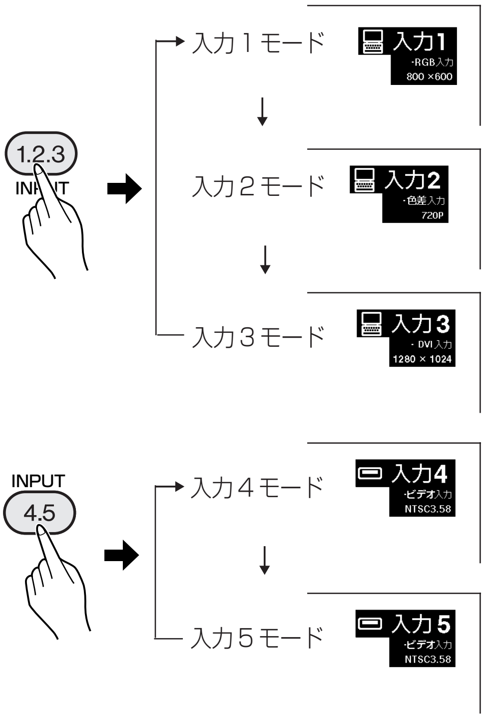
■ リモコンで入力切換をするときは、それぞれのボタンを押します。

メモ

■ 信号が入力されていないと、「入力無信号」と画面表示されます。プロジェクターで再生できない信号を受けとると、「判別不能」と画面表示されます。

■ 画面のフォーカスが合っていない場合は、37ページの「フォーカス調整」を行ってください。

▼表示画面（例）



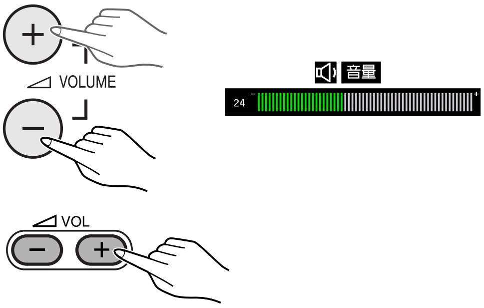
入力モードについて

入力1（RGB/色差）	INPUT（入力）1端子に接続した機器のRGB信号または色差信号を投映したいとき
入力2（RGB/色差）	INPUT（入力）2端子に接続した機器のRGB信号または色差信号を投映したいとき
入力3（DVI）	INPUT（入力）3端子に接続した機器のデジタルRGB信号またはアナログRGB信号を投映したいとき
入力4（ビデオ）	ビデオ入力端子に接続した機器の信号を投映したいとき
入力5（S-ビデオ）	S-ビデオ入力端子に接続した機器の信号を投映したいとき

❹ VOLUME（音量）ボタンを押して、音量を調整する

■ 「＋」を押すと音量が大きくなります。
「－」を押すと音量が小さくなります。

■ リモコンのVOL（音量）ボタンの「＋」、「－」でも調整することができます。



❺ MUTE（消音）ボタンを押して、一時的に音を消す

■ もう一度MUTE（消音）ボタンを押すと、音量が元の大きさに戻ります。

❻ OFF（電源切）ボタンを押し、確認画面が表示されている間にもう一度、OFF（電源切）ボタンを押す

メモ

■ 間違ってOFF（電源切）ボタンを1回押したときは、そのまま放置してください。しばらくすると確認画面が消え操作に戻ることができます。

■ OFF（電源切）ボタンを2回押すと、電源表示が赤色に点灯し、冷却ファンが約90秒間動作します。その後、プロジェクターは待機状態になります。

■ 投映中および冷却ファンの動作中に、電源プラグを抜かないでください。冷却ファンも同時に止まるため、温度上昇により故障の原因となります。

■ 電源表示が点滅して投映されないときは、エアーフィルターカバー（111ページ）が外れているか、レンズカバーが外れています。確実に取り付けてください。

お知らせ

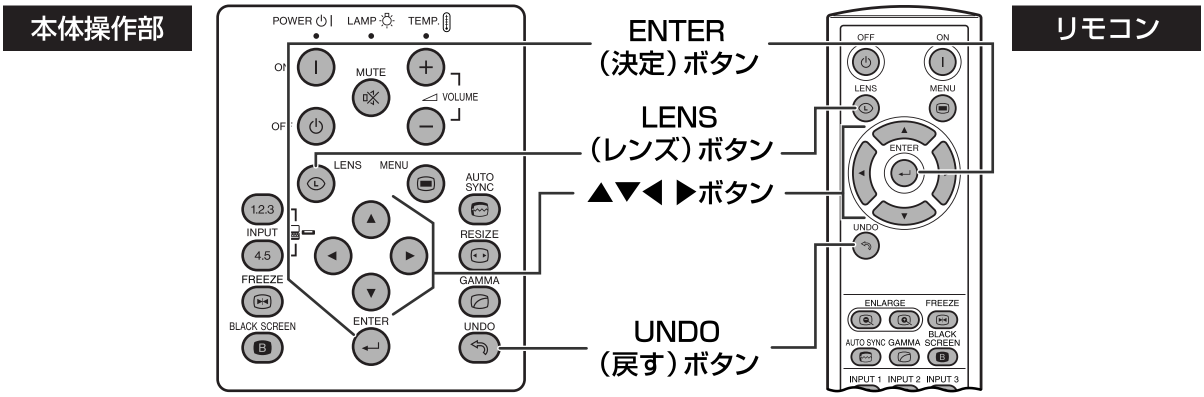
■ アンプ等と接続して使用している場合、電源を切るときは接続している機器の電源を切ってから、プロジェクターの電源を切ってください。

つづく

投映のしかた(つづき)

レンズ調整

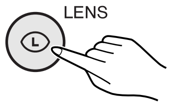
■フォーカス、ズーム、キーストーン(画面の台形ゆがみ)補正、垂直サイズ調整が行えます。



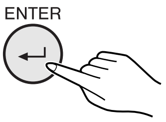
1 LENS(レンズ)ボタンを押して、調整項目を選ぶ

■ LENS(レンズ)を押すたびに調整項目が下のように変わります。

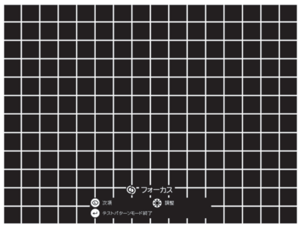
■ 画面のフォーカスが合っていない場合は、次ページの「フォーカス調整」を行ってください。



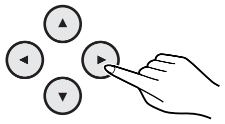
2 ENTER(決定)ボタンを押して、テストパターンを表示する



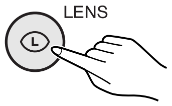
テストパターン画面



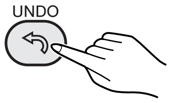
③ ▲▼◀▶ボタンを押して、微調整する



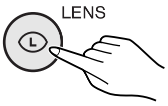
■ 別の項目を調整するときは、LENS(レンズ)ボタンを押して表示を変えます。



■ キーストーン補正調整、垂直サイズ調整、デジタルシフト調整中に標準画面に戻すには、UNDO(戻す)ボタンを押します。



④ 通常の画面が表示されるまで、レンズボタンを何度か押す



メモ

■ 4：3ズーム画面で設定した内容は、そのまま16：9で流用できます。
■ ズームやデジタルシフト機能を使うとき最初は動きが遅いですが、押し続けると早くなります。
■ キーストーン補正を行ったとき、直線や表示された映像の端がギザギザになっているように見えることがあります。
■ レンズシフト機能(38ページ)とキーストーン補正機能の両方を使用したとき、レンズシフトの度合いにより縦横比が変わる場合があります。そのようなときは垂直サイズ調整を行ってください。
■ 垂直サイズ調整は、キーストーン補正調整が「0」の値のときは働きません。
■ フォーカスやズームを調節しているとき、レンズには手を触れないでください。
■ デジタルシフト機能はビデオやデジタルビデオなどの映像を標準、スクイーズ(フル)、ワイドモードで表示しているときに働く機能です。

※キーストーン補正とは
スクリーンに対し上下から角度を付けて投映すると、映像が台形に歪みます。
この台形を補正するのがキーストーン補正です。

レンズの調整方法

● フォーカス調整

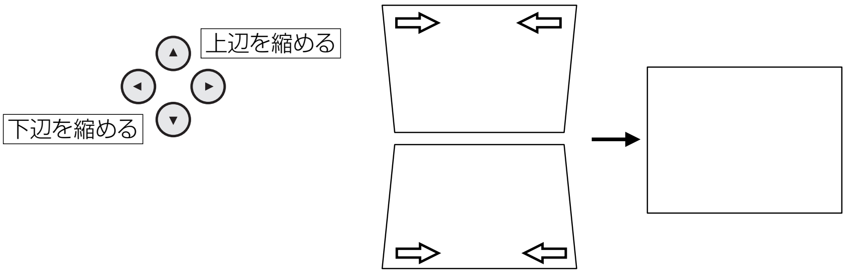
◀▶を押して、投映されている画像のフォーカスを合わせます。
(▲は▶と同じ働きをします
▼は◀と同じ働きをします)

● ズーム調整

▲または▶で、投映されている画像のサイズを大きくします。
▼または◀で、投映されている画像のサイズを小さくします。

● キーストーン補正調整

●▲または▶で、投映されている画像の上辺を縮めます。
●▼または◀で、投映されている画像の下辺を縮めます。
●キーストーンで補正できるスクリーンに対する上下の角度は±34度までです。
(標準レンズで100型投影時)

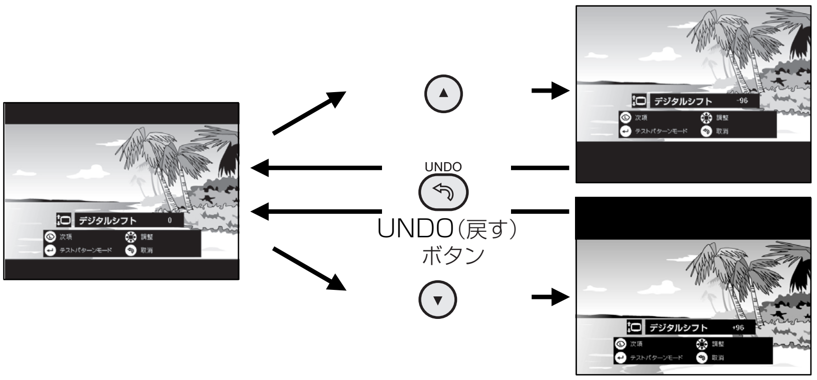


つづく

投映のしかた(つづき)

デジタルシフト

16:9ワイド画面やシネマなど上下が黒くなる横長の画像を投映するときは、画像全体を上下させて見やすくすることができます。



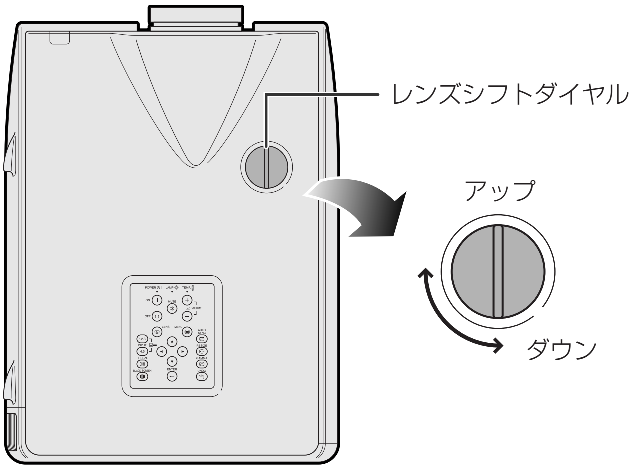
▲を押すと画面は上へ移動します。UNDO（戻す）ボタンを押すと、もとの画像位置に戻ります。

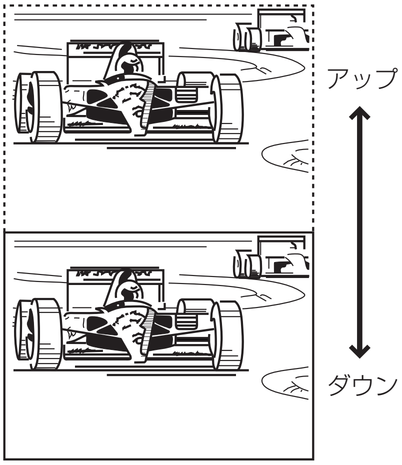
▼を押すと画面は下へ移動します。UNDO（戻す）ボタンを押すと、もとの画像位置に戻ります。

※デジタルシフト機能は、特定の画像を標準、スクイーズ（フル）、ワイドモードにしたときに使用できます。
くわしくは70、71ページをご覧ください。

レンズシフトダイヤルの使いかた

■映像は、プロジェクターの上面のレンズシフトダイヤルを回転させることにより、シフト可能範囲内で調節することができます。





メモ

■ 出荷時、レンズシフトダイヤルは、最も高い位置に設定されています。プロジェクターを使用する際にダイヤルを回して調節してください。
■ レンズシフトダイヤルは、上限位置と下限位置近くにクリック感を持たせています。
上限位置：レンズの中心とスクリーンの底辺が同じ高さになるポイント(10:0)
下限位置：レンズの中心とスクリーンの中心が同じ高さになるポイント(5:5)
■ 上限位置と下限位置の範囲外にレンズシフトダイヤルを無理に回さないでください。プロジェクターの故障の原因になることがあります。
■ 別売の短焦点固定レンズ「AN-P9MX」を取り付けた場合、レンズシフトダイヤルは使えません。

メニューの使いかた

メニュー表示内容一覧

入力 1/ 入力 2/ 入力 3 モード

メインメニュー / サブメニュー

- 映像調整
  - コントラスト −30 ↔ +30
  - 明るさ −30 ↔ +30
  - 色の濃さ −30 ↔ +30
  - 色あい −30 ↔ +30
  - 画質 −30 ↔ +30
  - 赤 −30 ↔ +30
  - 青 −30 ↔ +30
  - 色温度 −3 ↔ +3
  - リセット
  - 入力信号タイプ
    - RGB入力
    - 色差入力
  - プログレッシブモード
    - 2D プログレッシブ
    - 3D プログレッシブ
    - フィルム
- 同期調整
  - クロック −150 ↔ +150
  - 水平位相 −60 ↔ +60
  - 水平位置 −150 ↔ +150
  - 垂直位置 −60 ↔ +60
  - リセット
  - メモリー保存

	解像度	垂直周波数
1	1024×768	60 Hz
2	800×600	75 Hz
·		
·		
7		

  - メモリー選択

	解像度	垂直周波数
1	1024×768	60 Hz
2	800×600	75 Hz
·		
·		
7		

  - 特殊モード
    - 640×480
    - 720×480
    - 480P
  - 入力信号確認
    - 解像度 640×480 / 水平周波数 31.5 Hz / 垂直周波数 60 Hz
  - 自動同期調整 [OFF/標準/高速]
  - 自動同期調整画面 [ON/OFF]
- 音声調整
  - バランス −30 ↔ +30
  - 高音 −30 ↔ +30
  - 低音 −30 ↔ +30
  - リセット
  - 音声出力
    - 音声出力固定
    - 音声出力可変
  - スピーカー [ON/OFF]
- オプション1
  - P in P [ON/OFF]
  - OSD表示 [ON/OFF]
    - 標準
    - レベルA
    - レベルB
  - 無信号時画面
    - 初期設定画面
    - ユーザー選択画面
    - ブルーバック
    - 画面表示なし
  - オープニング画面設定
    - 初期設定画面
    - ユーザー選択画面
    - 画面表示なし
  - 省電力モード
    - ランプパワー [ローパワー/標準]
    - モニター出力/RS232C [ON/OFF]
    - 無信号時自動電源オフ [ON/OFF]
- オプション2
  - ランプ使用時間
  - 投映方式
    - フロント
    - 天吊り
    - リア
    - 天吊り+リア
  - スタック設定
    - 標準
    - マスター
    - スレーブ
  - キーロックレベル
    - 標準
    - レベルA
    - レベルB
  - 入力設定
    - 入力1 [ON/OFF]
    - 入力2 [ON/OFF]
    - 入力3 [ON/OFF]
    - 入力4 [ON/OFF]
    - 入力5 [ON/OFF]
  - RS-232C
    - 9600bps
    - 38400bps
    - 115200bps
  - ID No.設定
    - ID No.
  - パスワード
    - 旧パスワード
    - 新パスワード
    - 確認
- 言語選択
  - English
  - Deutsch
  - Español
  - Nederlands
  - Français
  - Italiano
  - Svenska
  - Português
  - 汉语
  - 한국어
  - 日本語
- 一覧

メモ

■ チャートに示された解像度・垂直周波数・水平周波数の値は例として表示しています。

■ 入力 1, 2 モードのとき入力信号タイプが色差入力に設定されていないと「色の濃さ」「色あい」「画質」は表示されません。

■ 入力 3(DVI)モードの「映像調整」メニューでは「色温度」「赤」「青」だけが調整でき、「同期調整」メニューでは「入力信号確認」「自動同期調整」「自動同期調整画面」が実行できます。

■ チャートで網掛した項目のみが調整できる項目です。

■ サブメニューの中でさらに選択項目がある場合は▶を押してから▲または▼で選択します。

つづく

メニューの使いかた（つづき）

入力4/入力5モード

メインメニュー / サブメニュー

- 映像調整
  - コントラスト －30 ↔ ＋30
  - 明るさ －30 ↔ ＋30
  - 色の濃さ －30 ↔ ＋30
  - 色あい －30 ↔ ＋30
  - 画質 －30 ↔ ＋30
  - 赤 －30 ↔ ＋30
  - 青 －30 ↔ ＋30
  - 色温度 －3 ↔ ＋3
  - リセット
  - プログレッシブモード
    - 2D プログレッシブ
    - 3D プログレッシブ
    - フィルム
- 音声調整
  - バランス －30 ↔ ＋30
  - 高音 －30 ↔ ＋30
  - 低音 －30 ↔ ＋30
  - リセット
  - 音声出力
    - 音声出力固定
    - 音声出力可変
  - スピーカー [ON/OFF]
- オプション1
  - DNR [ON/OFF]
  - OSD表示 [ON/OFF]
    - 標準
    - レベルA
    - レベルB
  - 映像信号方式
    - 自動
    - PAL (50/60Hz)
    - SECAM
    - NTSC4.43
    - NTSC3.58
    - PAL–M
    - PAL–N
  - 無信号時画面
    - 初期設定画面
    - ユーザー選択画面
    - ブルーバック
    - 画面表示なし
  - オープニング画面
    - 初期設定画面
    - ユーザー選択画面
    - 画面表示なし
  - 省電力モード
    - ランプパワー [ローパワー/標準]
    - モニター出力/RS232C [ON/OFF]
    - 無信号時自動電源オフ [ON/OFF]

メインメニュー / サブメニュー

- オプション2
  - ランプ使用時間
  - 投映方式
    - フロント
    - 天吊り
    - リア
    - 天吊り+リア
  - スタック設定
    - 標準
    - マスター
    - スレーブ
  - キーロックレベル
    - 標準
    - レベルA
    - レベルB
  - 入力設定
    - 入力1 [ON/OFF]
    - 入力2 [ON/OFF]
    - 入力3 [ON/OFF]
    - 入力4 [ON/OFF]
    - 入力5 [ON/OFF]
  - RS-232C
    - 9600bps
    - 38400bps
    - 115200bps
  - ID No.設定
    - ID No.
  - パスワード
    - 旧パスワード
    - 新パスワード
    - 確認
- 言語選択
  - English
  - Deutsch
  - Español
  - Nederlands
  - Français
  - Italiano
  - Svenska
  - Português
  - 汉语
  - 한국어
  - 日本語
- 一覧

メモ

■ サブメニューの中でさらに選択項目がある場合は▶を押してから▲または▼で選択します。

メニュー項目別の設定調整内容一覧

（枠）内の数字は参照ページを示します。

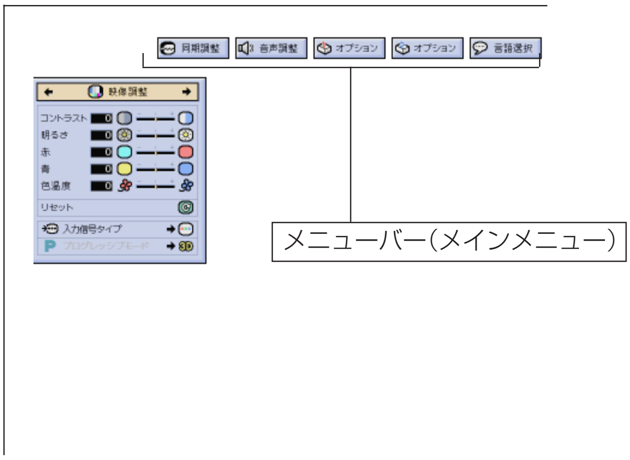
メインメニュー	入力1/入力2/入力3モードのとき	入力4/入力5モードのとき
映像調整	画像のコントラスト、明るさ、赤み／青み、色温度（色差入力時は、色の濃さ、色あい、画像の輪郭も調整可能） 44, 45 RGB/色差入力の切換え 46 映像に合ったプログレッシブモードの選択 47	画像のコントラスト、明るさ、赤み／青み、色温度、色の濃さ、色あい、画像の輪郭 45 映像に合ったプログレッシブモードの選択 47
同期調整	手動による同期調整（画面のノイズなど映り具合の調整、映像の位置調整） 53, 54 調整した内容のメモリー登録・呼び出し 55〜57 自動同期調整の設定 60, 61 現在入力されている信号の解像度や周波数の表示など 66	―――
音声調整	音声の左右バランス、高低音の強調など 48, 49	音声の左右バランス、高低音の強調など 48, 49
オプション	省電力モードの設定 74〜75 ランプ使用時間の表示 100 無信号時、オープニング時などの画面表示の設定 78〜81 パスワードとキーロックレベルの設定 82〜87 入力設定（入力モードの選択） 35 RS-232Cの設定 90〜91 投映方式の設定（天吊りやミラー設置、透過型スクリーン使用時などに） 96	映像信号方式(PAL、NTSC等)の設定 64〜65 省電力モードの設定 74〜75 ランプ使用時間の表示 100 無信号時、オープニング時などの画面表示の設定 78〜81 パスワードとキーロックレベルの設定 82〜87 入力設定（入力モードの選択） 35 RS-232Cの設定 90〜91 投映方式の設定（天吊りやミラー設置、透過型スクリーン使用時などに） 96
言語選択	入力表示やメニューで使用する言語の選択 92	入力表示やメニューで使用する言語の選択 92
一覧	現在の調整・設定状況の一覧表示 95	現在の調整・設定状況の一覧表示 95

つづく

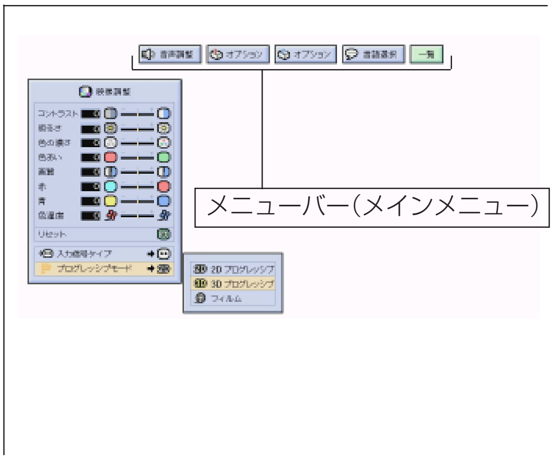
メニューの使いかた（つづき）

■このプロジェクターは、画像の調整や、色々な設置に対応するため２つのメニューを用意しています。
これらのメニューは、次の手順に従ってプロジェクター本体またはリモコンで操作できます。

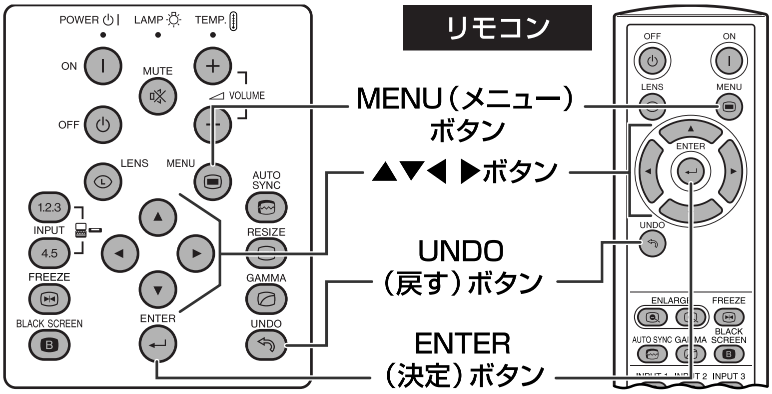
入力１・2(RGB)、3(デジタル)モードのメニュー画面



入力４・5(ビデオ)モードのメニュー画面

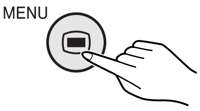


メニューの基本操作



▼表示画面

1 MENU(メニュー)ボタンを押す



■「入力１」・「入力２」・「入力3」モードまたは「入力４」・「入力５」モードの「映像調整」メニュー画面が表示されます。

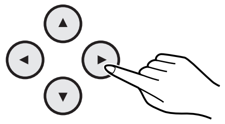
メモ

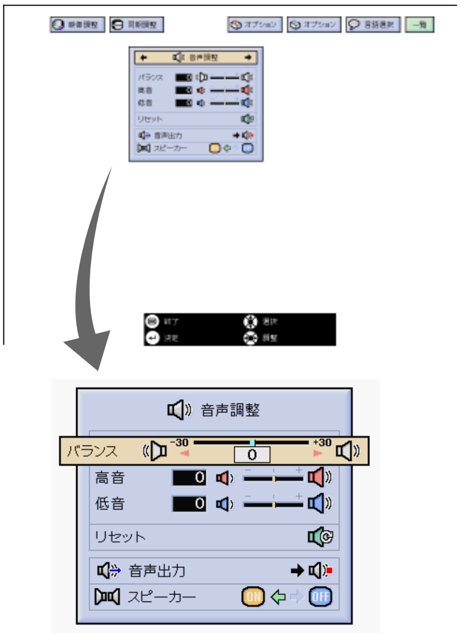
■ 左図は「入力１」、「入力２」モードの場合の表示画面です。

基本操作

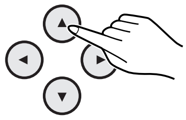
メニューの使いかた（つづき）

2 ◀ または ▶ ボタンを押して、調整するメニューを選ぶ



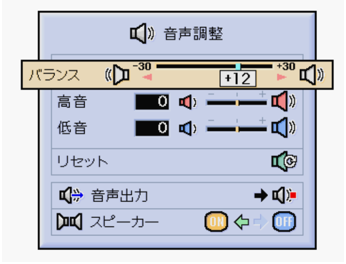


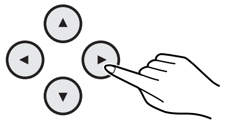
3 ▲ または ▼ ボタンを押して、調整する項目を選ぶ



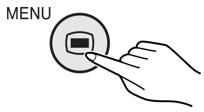
■ メニューの項目によっては、サブメニューが表示されます。
▶ ボタンを押して、サブメニューから調整する項目を選びます。

4 ◀ または ▶ ボタンを押して、選んだ項目の調整をする



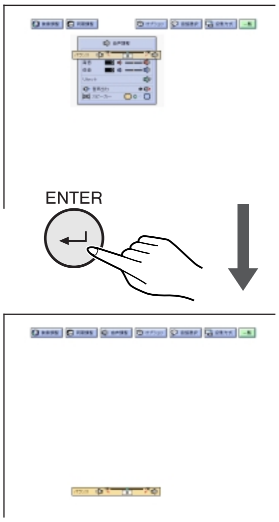


5 MENU（メニュー）ボタンを押して調整を終了する



メモ

■ 調整項目をひとつだけ表示するには、調整する項目を選んだ後でENTER（決定）ボタンを押してください。メニューバーと選んだ調整項目だけが表示されます。



この表示の状態で▲▼ボタンを押すと次の項目（バランスの次は高音）が表示されます。

■ UNDO（戻す）ボタンを押すと、前の画面に戻ります。

■ メニューの詳細については39、40ページのメニュー表示内容一覧をご覧ください。

映像を調整する

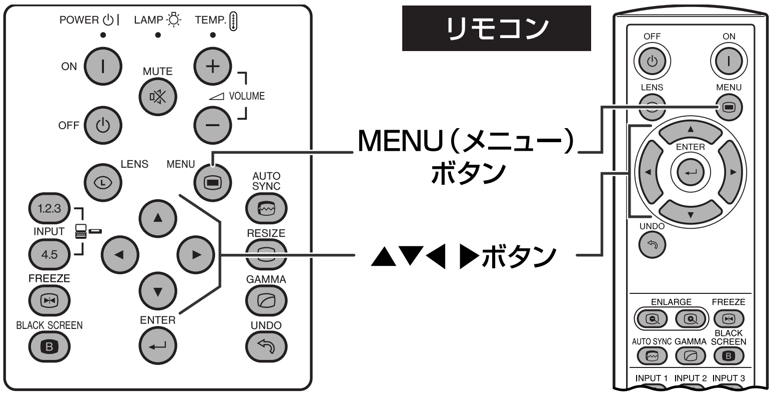
コンピュータの映像を調整する

■コンピュータの画面を表示したとき、状態に応じてコントラストや明るさなどを調整できます。

調 整 項 目	状　　態	◀ ボタン	▶ ボタン
コントラスト	コントラストが強いとき、または弱いとき	弱くする	強くする
明るさ	画像が明るすぎるとき、または暗すぎるとき	暗くなる	明るくなる
赤	赤みを強くしたいとき、または弱くしたいとき	赤みが弱くなる	赤みが強くなる
青	青みを強くしたいとき、または弱くしたいとき	青みが弱くなる	青みが強くなる
色温度	冷たい感じの色にしたいとき、または温かい感じの色にしたいとき	温かい、赤っぽさを強調	冷たい、青っぽさを強調

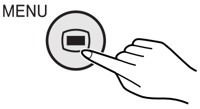
本体操作部

リモコン

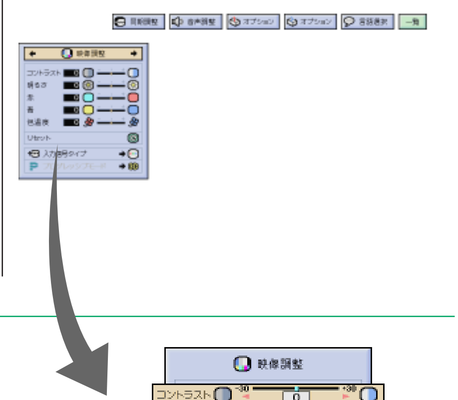


▼表示画面（入力1、入力2の入力信号タイプがRGBに設定されているとき）

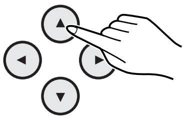
1 MENU(メニュー)ボタンを押す



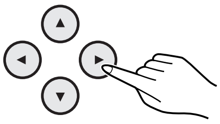
■ メニューバーと「映像調整」メニュー画面が表示されます。



2 ▲ または ▼ ボタンを押して、調整したい項目を選ぶ

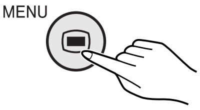


3 ◀ または ▶ ボタンを押して、映像を調整する



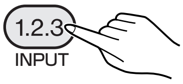
4 MENU(メニュー)ボタンを押す

■ 表示が消え、調整した内容が記憶されます。



お知らせ

■ 入力切換ボタンを押して、「入力１」～「入力３」を選択し、調整する映像を表示させます。



メモ

標準設定に戻したいときは

手順 ❷ で「リセット」を選び、ENTER(決定)ボタンを押します。

■ 各調整項目が、工場出荷時の状態に戻ります。

続けて別の項目を調整するときは

❷、❸ の手順をくり返します。

■ コンピュータの映像調整の内容は、「入力1」～「入力3」で別々に記憶されます。

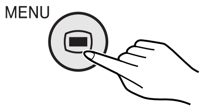
ビデオ、DVDプレーヤーなどの映像を調整する

■ビデオやDVDプレーヤーなどからの映像を表示したとき、濃淡や明るさを見やすくしたい場合は、状態に応じて調整項目を選び、画像を調整してください。

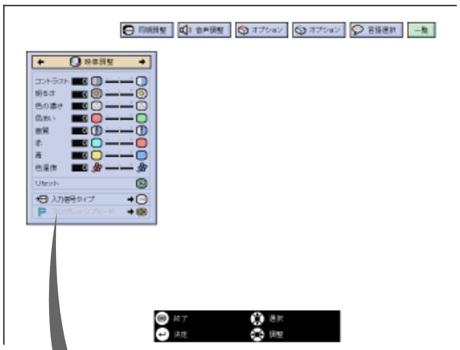
調 整 項 目	状　　態	◀ ボタン	▶ ボタン
コントラスト	コントラストが強いとき、または弱いとき	弱くする	強くする
明るさ	画像が明るすぎるとき、または暗すぎるとき	暗くなる	明るくなる
色の濃さ	色が濃いとき、またはうすいとき	うすい色になる	濃い色になる
色あい	色あいを調整したいとき	紫がかる	緑がかる
画質	画像の輪郭をくっきりさせたいとき、またはやわらかくしたいとき	やわらかくする	くっきりする
赤	赤みを強くしたいとき、または弱くしたいとき	赤みが弱くなる	赤みが強くなる
青	青みを強くしたいとき、または弱くしたいとき	青みが弱くなる	青みが強くなる
色温度	冷たい感じの色にしたいとき、または温かい感じの色にしたいとき	温かい、赤っぽさを強調	冷たい、青っぽさを強調

▼**表示画面**（入力1、入力2の入力信号タイプが色差に設定されているとき）

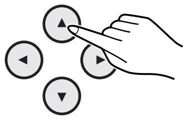
1 MENU(メニュー)ボタンを押す



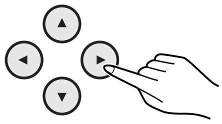
■ メニューバーと「映像調整」メニュー画面が表示されます。



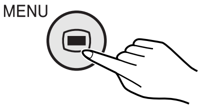
2 ▲ または ▼ ボタンを押して、調整したい項目を選ぶ



3 ◀ または ▶ ボタンを押して、映像を調整する



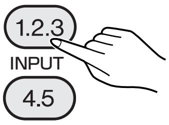
4 MENU(メニュー)ボタンを押す



■ 表示が消え、調整した内容が記憶されます。

お知らせ

■ 入力切換ボタンを押して、「入力１」～「入力３」または「入力４」、「入力５」を選択し、調整する映像を表示させます。



メモ

標準設定に戻したいときは

手順 ❷ で「リセット」を選び、ENTER(決定)ボタンを押します。

■ 各調整項目が、工場出荷時の状態に戻ります。

続けて別の項目を調整するときは

❷、❸ の手順をくり返します。

メモ

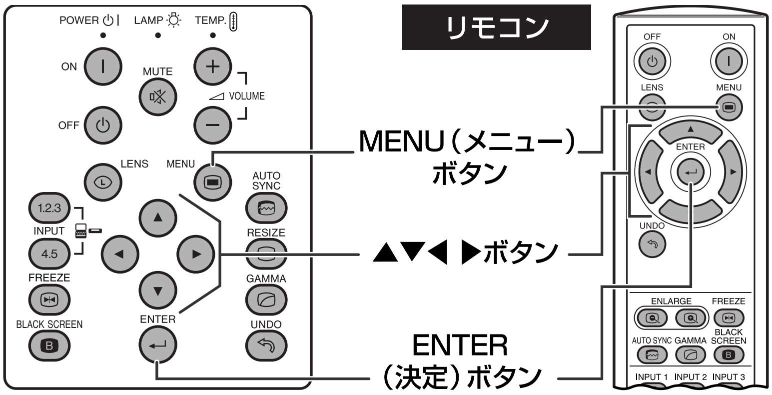
■映像調整の内容は「入力1」～「入力5」で別々に記憶されます。

■「入力1、2」の入力信号タイプが色差入力(コンポーネント入力)に設定されている場合の「画質調整」(色の濃さ、色あいの調整)は525I・525P・750P・1125Iの信号が入力されているときに行うことができます。色差入力については次ページをご覧ください。

RGBまたはコンポーネント(色差)信号の種類を選ぶ

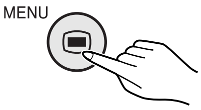
■INPUT(入力)1または 2に接続した機器の入力信号に合わせてRGBか色差(コンポーネント)を選択します。

本体操作部　　リモコン

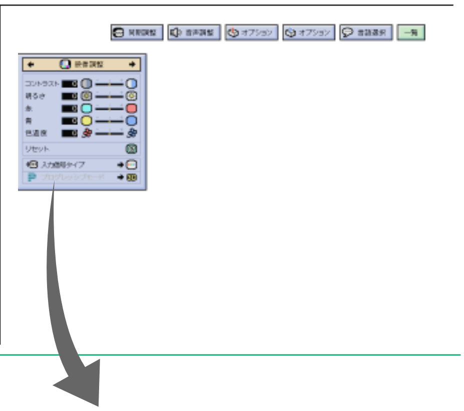


▼表示画面

1 MENU(メニュー)ボタンを押す

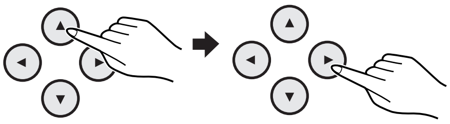


■ メニューバーと「映像調整」メニュー画面が表示されます。

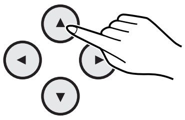


2 ① ▲または▼ボタンを押して、「入力信号タイプ」を選ぶ

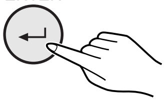
② ▶ボタンを押す

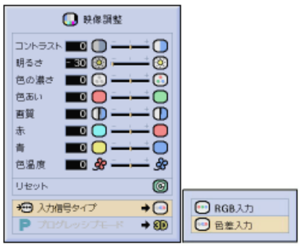


3 ▲または▼ボタンを押して、「RGB入力」または「色差入力」を選ぶ

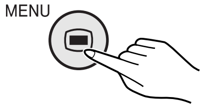


4 ENTER(決定)ボタンを押して、設定する





5 MENU(メニュー)ボタンを押して終了する。

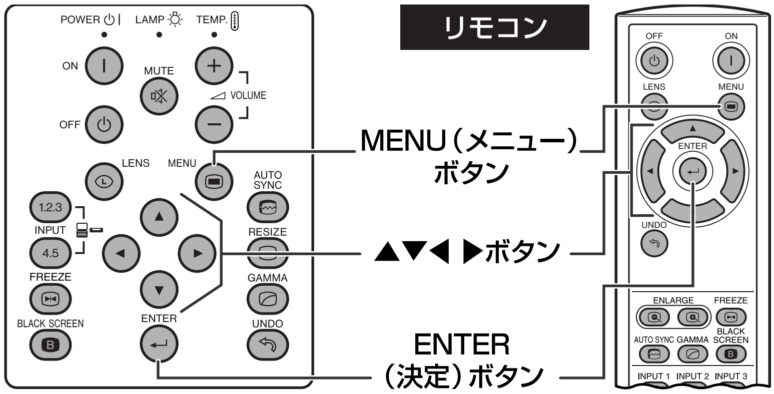


メモ

- **RGB入力**
  RGB信号を入力したとき
- **色差入力**
  コンポーネント(色差)信号を入力したとき
  色の濃さ、色あいの調整が可能になります

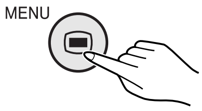
映像に合ったプログレッシブモードを選択する

■投映している映像に合わせて最適なプログレッシブモードを使うことで、ビデオ表示がよりスムーズになります。



▼表示画面

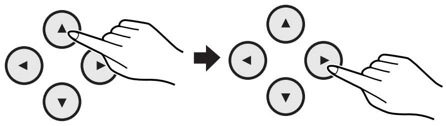
1 MENU(メニュー)ボタンを押す



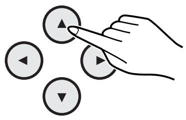
■ メニューバーと「映像調整」メニュー画面が表示されます。

2 ① ▲ または ▼ ボタンを押して、「プログレッシブモード」を選ぶ

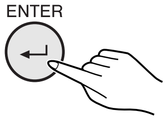
② ▶ ボタンを押す



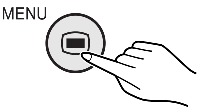
3 ▲ または ▼ ボタンを押して、「2D プログレッシブ」「3D プログレッシブ」「フィルム」の中から選ぶ



4 ENTER(決定)ボタンを押して設定する



5 MENU(メニュー)ボタンを押して終了する



メモ

本機では以下の３つのモードを持っています。

2D プログレッシブ

スポーツやアクションなど動きの速い画像に有効です。

3D プログレッシブ

ドラマやドキュメンタリーなど動きの遅い画像に有効です。

フィルム

フィルムイメージ＊を再生する場合有効です。

＊ フィルムイメージとは、24コマ/秒の映像フィルムをそのまま記録しているDVDソフトなどのことです。
本機は、そのような映像を60コマ/秒のプログレッシブ映像に変換し、高画質で再生します。

■映像がボケる、ノイズが発生するなどの場合は、最適なプログレッシブモードを選んでください。

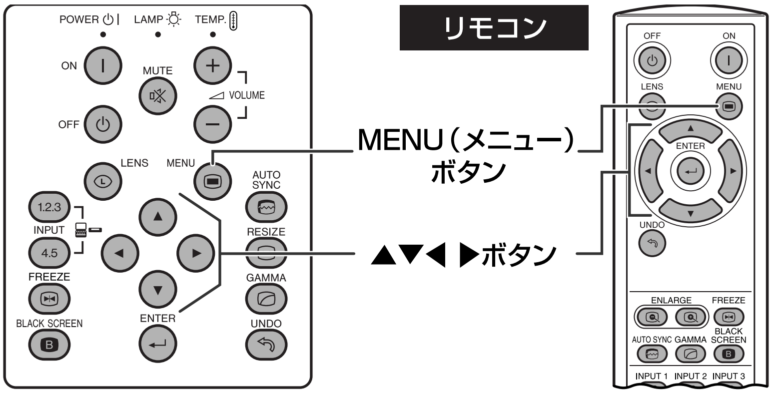
■プログレッシブ信号を入力したときは選択できません。

音声を調整する

■このプロジェクターの音声は工場出荷時に標準設定されていますが、「音声調整」メニューを使って、お好みの音声に調整することができます。

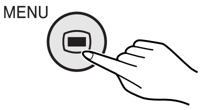
調 整 項 目	◀ ボタン	▶ ボタン
バランス	左側のスピーカーからの音量が大きくなる	右側のスピーカーからの音量が大きくなる
高音	高音が弱くなる	高音が強くなる
低音	低音が弱くなる	低音が強くなる

本体操作部　　リモコン



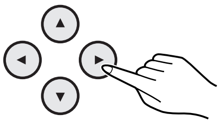
▼表示画面

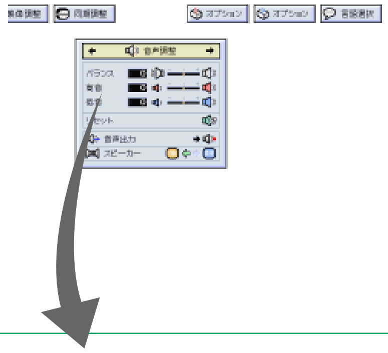
1 MENU(メニュー)ボタンを押す



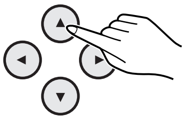
■ メニューバーと「映像調整」メニュー画面が表示されます。

2 ◀ または ▶ ボタンを押して、「音声調整」を選ぶ





3 ▲ または ▼ ボタンを押して、調整したい項目を選ぶ



メモ

標準設定に戻したいときは

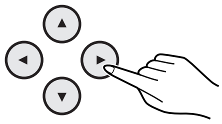
手順 ❸ で「リセット」を選び、ENTER(決定)ボタンを押します。

■ 各調整項目が、工場出荷時の状態に戻ります。

続けて別の項目を調整するときは

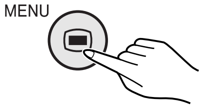
❸、❹ の手順をくり返します。

4 ◀ または ▶ ボタンを押して、音声を調整する



5 MENU(メニュー)ボタンを押す

■ 表示が消え、調整した内容が記憶されます。

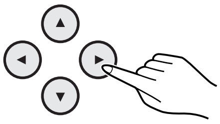


音声出力を設定するとき

■ 音声出力は、AUDIO OUTPUT(音声出力)端子から出力される音声レベルを固定するか、VOLUME(音量)に連動して可変させるかを決定する機能です。

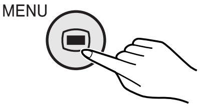
1 48 ページの ❸ で「音声出力」を選ぶ

2 ◀ または ▶ ボタンを押して、「音声出力可変」または「音声出力固定」を選ぶ



3 MENU ボタンを押す

■ 表示が消え、調整した内容が記憶されます。



お知らせ

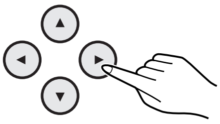
■「音声出力可変」に設定したときは、本機の音量を最小にしてから、「電源の入/切」、「入力切換」を行ってください。

スピーカーのON/OFFを設定する

■ プロジェクター本体のスピーカーから音声を出すか、消すかを設定します。

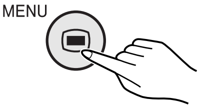
1 48 ページの ❸ で「スピーカー」を選ぶ

2 ◀ または ▶ ボタンを押して、「ON」または「OFF」を選ぶ



3 MENU ボタンを押す

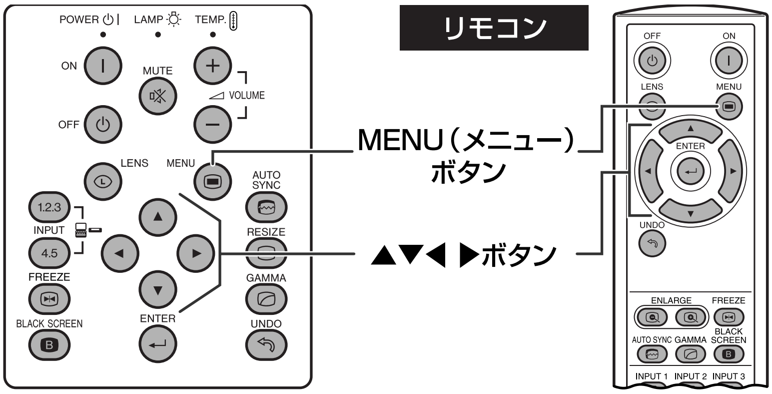
■ 表示が消え、調整した内容が記憶されます。



2つの画像を表示する(P in P)

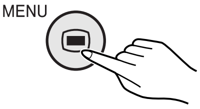
■ピクチャーインピクチャーは同一の画面の中に２つの画像を表示する機能です。
入力１, ２, ３から入力された画像(RGB信号)の中に、入力４または５から入力された画像(コンポジット信号)を子画面表示します。

本体操作部



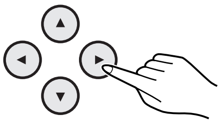
（RGB メニュー以外では設定できません。）

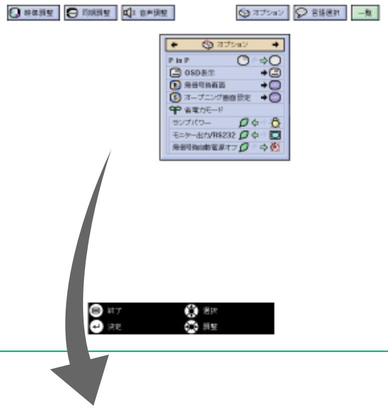
1 MENU(メニュー)ボタンを押す



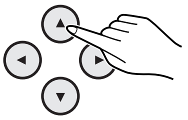
■ メニューバーと「映像調整」メニュー画面が表示されます。

◀ または ▶ ボタンを押して、「オプション 1」を選ぶ





3 ▲ または ▼ ボタンを押して、「P in P」を選ぶ



メモ

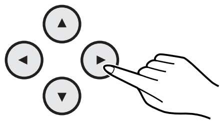
■ 入力１, ２, ３から入力された画像は親画像となります。入力４, ５から入力された画像は子画面となります。

P in P

.... ピクチャーインピクチャー表示を表します。

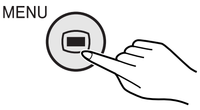
.... 通常の画面表示を表します。

4 ◀ または ▶ ボタンを押して、◻ を選ぶ

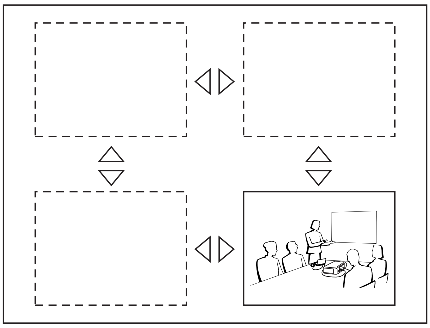


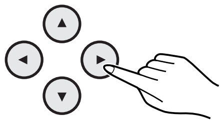
■ ◻ を選ぶとP in Pを解除します。

5 MENU(メニュー)ボタンを押して終了する



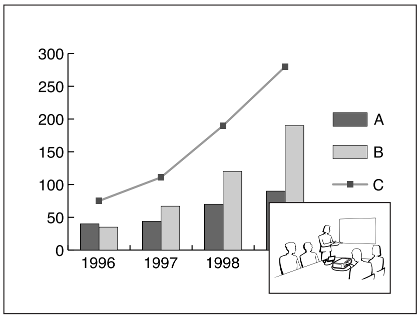
6 子画面の表示位置を◀▶▲▼ボタンを押して決める





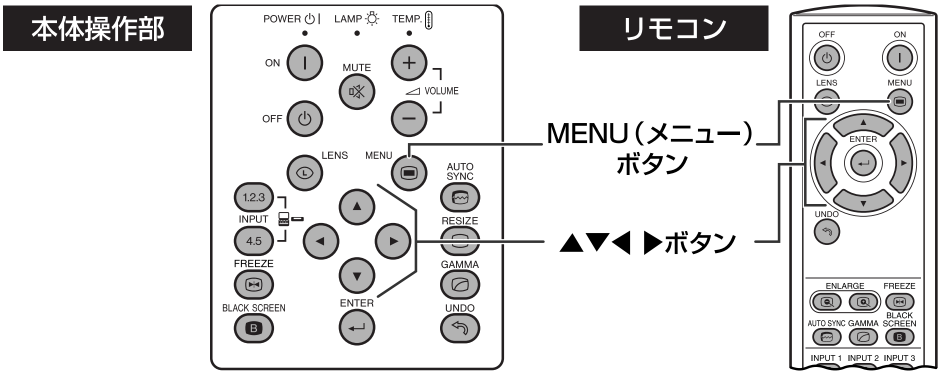
メモ

■ 子画面用の信号は、NTSC／PAL／SECAMのコンポジット信号のみです。
■ 子画面の音声はプロジェクターのスピーカーから出力されます。
■ ピクチャーインピクチャー機能が働いている間は、静止画機能以外の機能は使用できません。なお、静止画機能は子画面に対してのみ使用できます。
■ 親画面に入力されている信号が次のような場合、ピクチャーインピクチャー機能は働きません。
・ 入力信号が UXGA、SXGA ＋の場合
・ 入力信号が 525I、525P、750P、1125I の場合
・ 入力信号が RGB 信号で、インターレースのモードになっている場合
・ 画像表示モードがドットバイドットの場合
・ INPUT(入力 1)の信号が無信号になったときや、解像度、リフレッシュレート(垂直周波数)が変更された場合



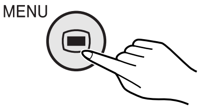
ノイズを軽減する(DNR)

■デジタルノイズリダクション(DNR)を使うことで、微細なドットのチラツキやクロスカラーノイズを軽減できます。



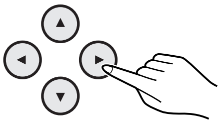
▼表示画面 （INPUT(入力)4、５以外では設定できません。）

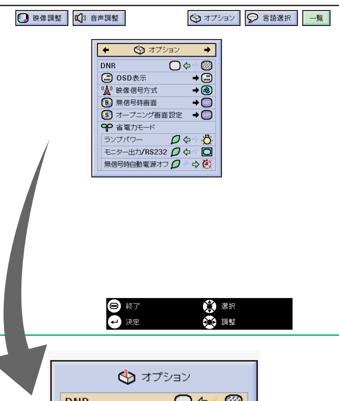
1 MENU(メニュー)ボタンを押す



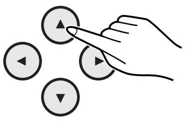
■ メニューバーと「映像調整」メニュー画面が表示されます。

2 ◀ または ▶ ボタンを押して、「オプション 1」を選ぶ

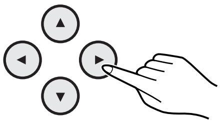




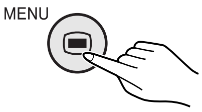
3 ▲ または ▼ ボタンを押して、「DNR」を選ぶ



4 ◀ または ▶ ボタンを押して、▨を選ぶ



5 MENU(メニュー)ボタンを押して終了する



メモ

■ きれいな画像にこの機能を使用すると、画像がぼやけることがあります。

■ 次のような場合は「切」に設定します。

- 画像がぼやけて見えるとき
- 動きのある映像で、輪郭や色が尾を引くように見えるとき
- 電波の弱いテレビ放送を投映しているとき

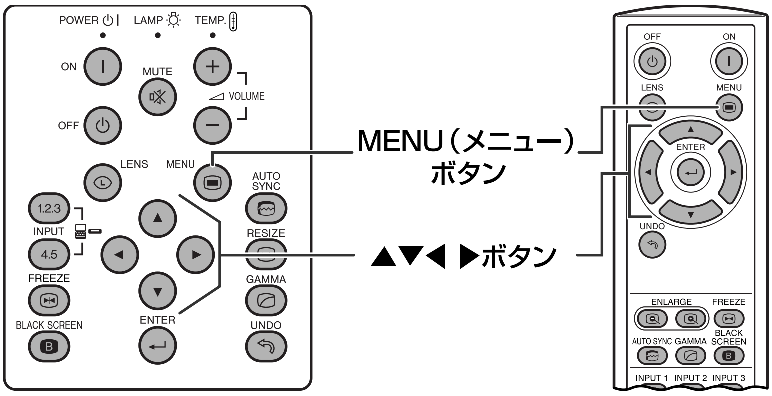
コンピュータの画面を調整する

自動同期調整がOFFのとき（良好な画面が得られないとき）

■ 自動同期調整がOFFのときにタイルパターン・縦縞模様などを投映すると、チラツキ・縦縞が出たりコントラストがつかないなど、映り具合が悪くなることがあります。その場合は、「クロック」「水平位相」「水平位置」「垂直位置」の項目を選び、画面を調整してください。

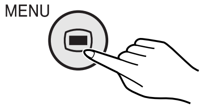
調 整 項 目	調 整 内 容
クロック	垂直ノイズを調整する
水平位相	水平ノイズを調整する（トラッキング調整）
水平位置	スクリーン上の映像を左右に移動させる
垂直位置	スクリーン上の映像を上下に移動させる

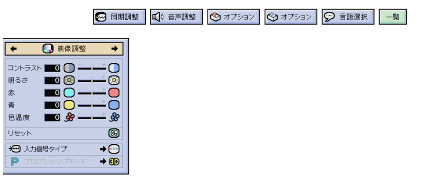
本体操作部　　　　リモコン



▼表示画面

1 MENU（メニュー）ボタンを押す

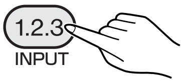




■ メニューバーと「映像調整」メニュー画面が表示されます。

お知らせ

■ 入力切換ボタンを押して、適切な「入力1」、「入力2」または「入力3」モードを選んでください。



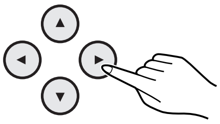
メモ

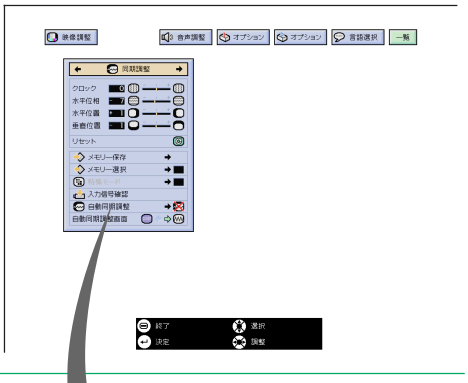
コンピューターの画面はAUTO SYNC（自動同期調整）ボタンを使うと、簡単に調整できます。くわしくは60ページをご覧ください。

つづく

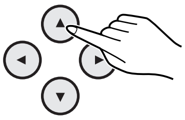
コンピュータの画面を調整する(つづき)

❷ ◀ または ▶ ボタンを押して、「同期調整」を選ぶ

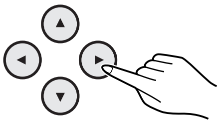


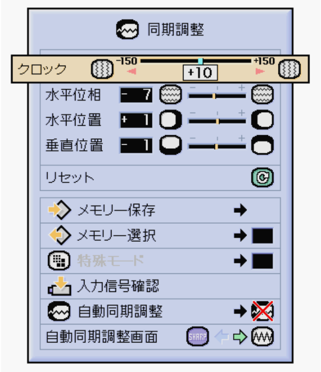


❸ ▲ または ▼ ボタンを押して、調整したい項目を選ぶ



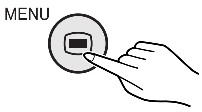
❹ ◀ または ▶ ボタンを押して、画面を調整する





❺ MENU(メニュー)ボタンを押す

■ 表示が消え、調整した内容が記憶されます。



メモ

標準設定に戻したいときは

手順 ❸ で「リセット」を選び、ENTER(決定)ボタンを押します。

■ 各調整項目が、工場出荷時の状態に戻ります。

続けて別の項目を調整するときは

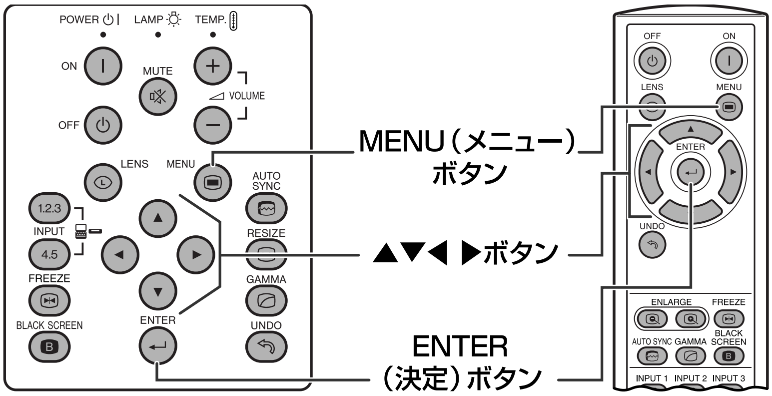
❸、❹ の手順をくり返します。

画面調整の内容をメモリー登録する／呼び出す

■コンピュータごとの解像度が異なっても最適な映像が投映できるように、調整内容を 7 種類まで登録できます。いったん調整内容をメモリー登録すれば、プロジェクターにコンピュータを接続したとき、簡単にそのコンピュータ用に登録した調整内容を呼び出すことができます。

本体操作部

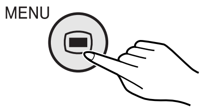
リモコン



メモリー登録をする

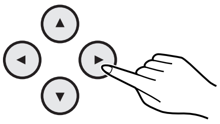
▼表示画面

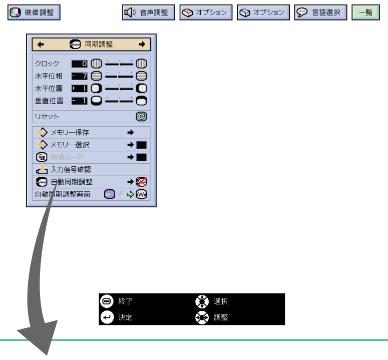
1 **MENU（メニュー）ボタンを押す**



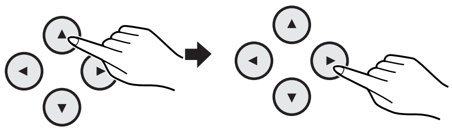
■ メニューバーと「映像調整」メニュー画面が表示されます。

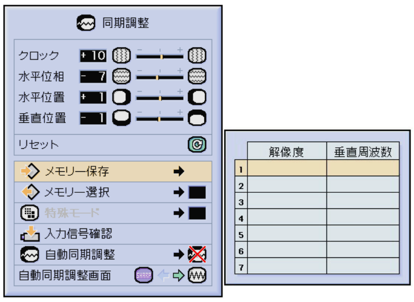
2 **◀または ▶ボタンを押して、「同期調整」を選ぶ**





3 **▲ または ▼ ボタンを押して、「メモリー保存」を選び、▶ボタンを押す**

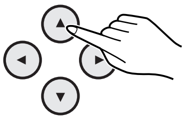


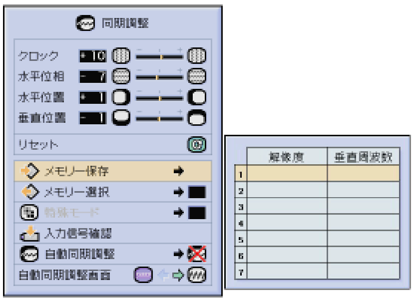


つづく

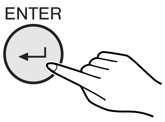
コンピュータの画面を調整する(つづき)

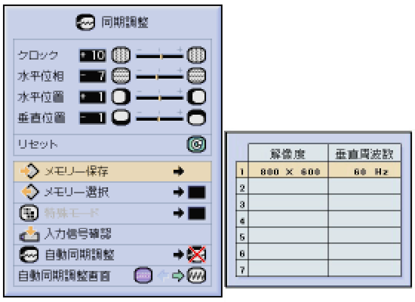
4 ▲ または ▼ ボタンを押して、調整内容を登録するメモリー番号を選ぶ





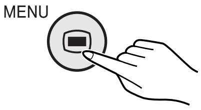
5 ENTER(決定)ボタンを押して、調整内容をメモリー登録する



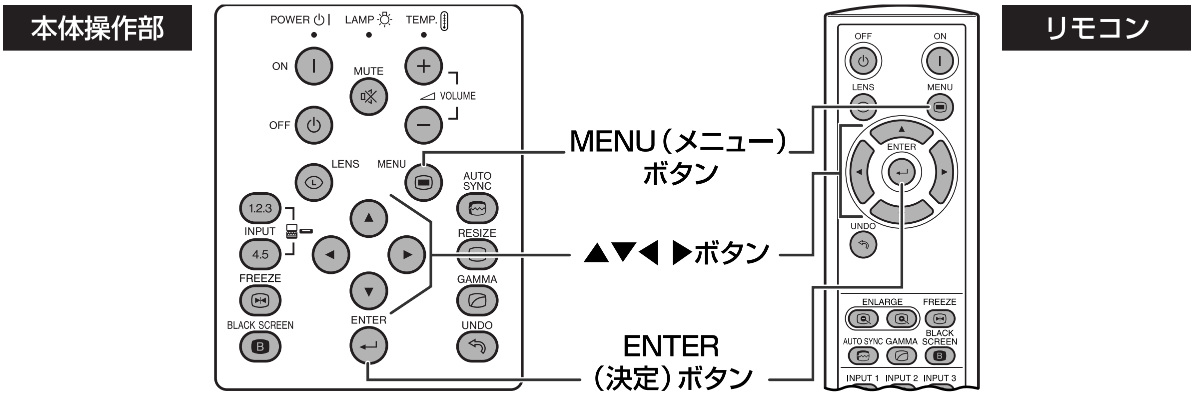


6 メニューボタンを押す

■ 表示が消え、調整した内容が記憶されます。

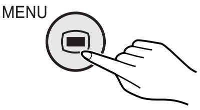


登録済みの調整内容を呼び出す



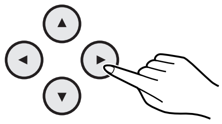
▼表示画面

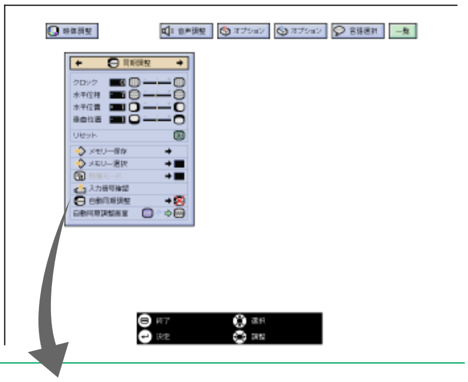
1 MENU(メニュー)ボタンを押す



■ メニューバーと「映像調整」メニュー画面が表示されます。

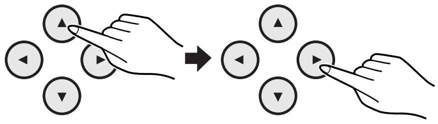
2 ◀ または ▶ ボタンを押して、「同期調整」を選ぶ

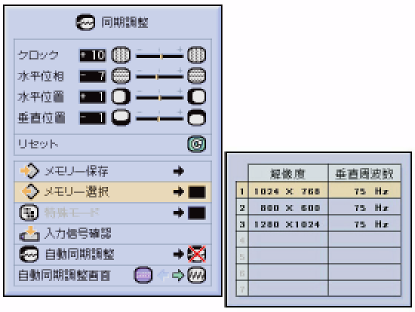




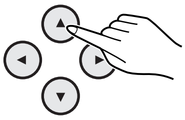
3 ① ▲ または ▼ ボタンを押して、「メモリー選択」を選ぶ

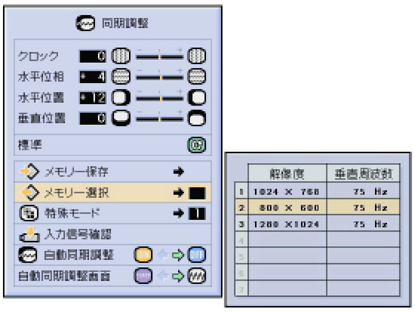
② ▶ ボタンを押す



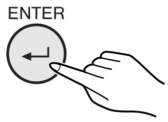


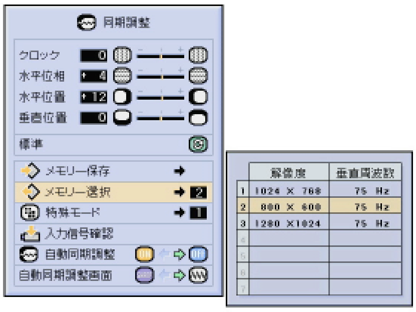
4 ▲ または ▼ ボタンを押して、メモリー番号を選ぶ





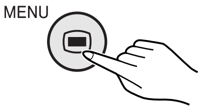
5 ENTER(決定)ボタンを押して、調整内容を呼び出す





6 MENU(メニュー)ボタンを押す

■ 表示が消え、調整した内容が記憶されます。



メモ

■ メモリー番号を設定しなければ、解像度と周波数は表示されません。

■「メモリー選択」項目で、すでに登録済みの調整内容を呼び出すと、接続しているコンピュータをその調整内容に設定できます。

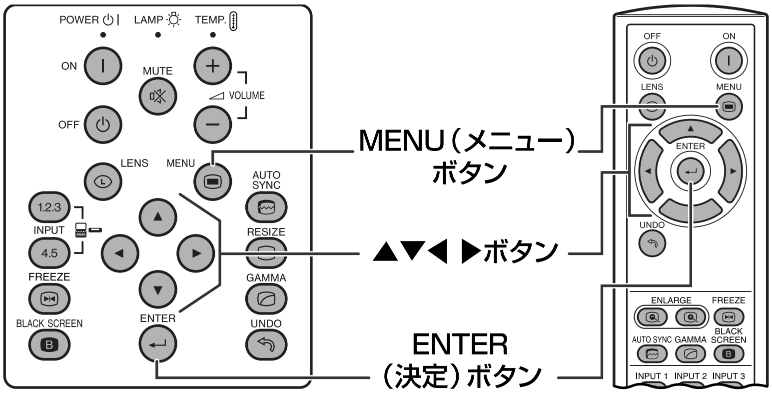
つづく

コンピュータの画面を調整する(つづき)

特殊モード調整

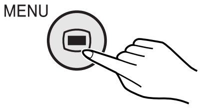
■通常、入力信号の種類が判別されると、自動的に正しい解像度モードが選択されますが、信号の種類によっては、「同期調整」メニュー画面で「特殊モード」を選び、コンピュータの表示モードに合わせる設定を行う必要があります。
例えばMacintosh 16インチモード(832 × 624)入力時に、入力表示が800 × 600のモード表示となり入力信号と一致しないときなどに、特殊モードで832 × 624を選択します。

本体操作部　　リモコン



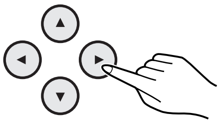
▼表示画面

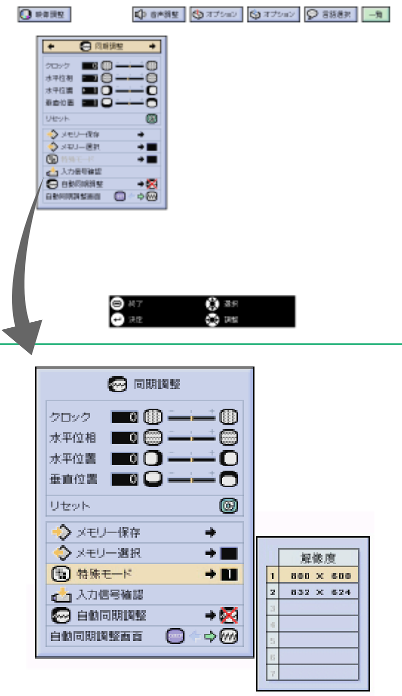
❶ MENU(メニュー)ボタンを押す



■ メニューバーと「映像調整」メニュー画面が表示されます。

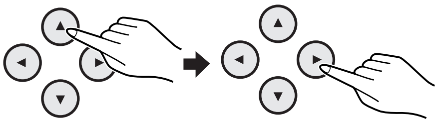
❷ ◀ または ▶ ボタンを押して、「同期調整」を選ぶ





❸ ① ▲ または ▼ ボタンを押して、「特殊モード」を選ぶ

② ▶ ボタンを押す



メモ

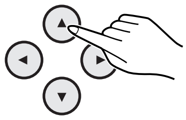
■ コンピュータの一行おきに繰り返されるパターン(水平方向の縞模様)を表示させせないでください。(チラツキがおこり、画面が見にくくなります。)

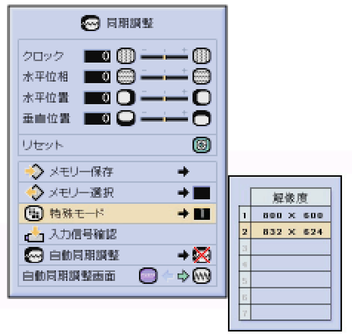
■ DVDプレーヤーや、デジタルビデオを525Pで接続しているときは、❸で480P(* 有効走査線数)が表示されますので選択してください。

＊ 本機はDVDプレーヤーや、デジタルビデオなど、AV機器から入力される信号に対し、有効走査線数を表示します。表示は次のようになります。

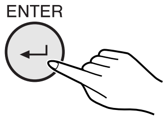
入力信号	本機の表示
525I	—
525P	480P
750P	720P
1125I	1080I

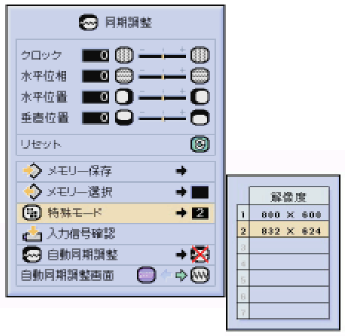
4 ▲ または ▼ ボタンを押して、最適な解像度モードを選ぶ



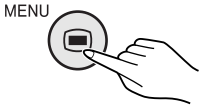


5 ENTER（決定）ボタンを押して、設定する





6 MENU（メニュー）ボタンを押す



■ 表示が消え、調整した内容が記憶されます。

メモ

■現在選択されている入力信号の情報を確認する場合は、66ページの「入力信号を確認する」をご覧ください。

つづく

自動同期調整

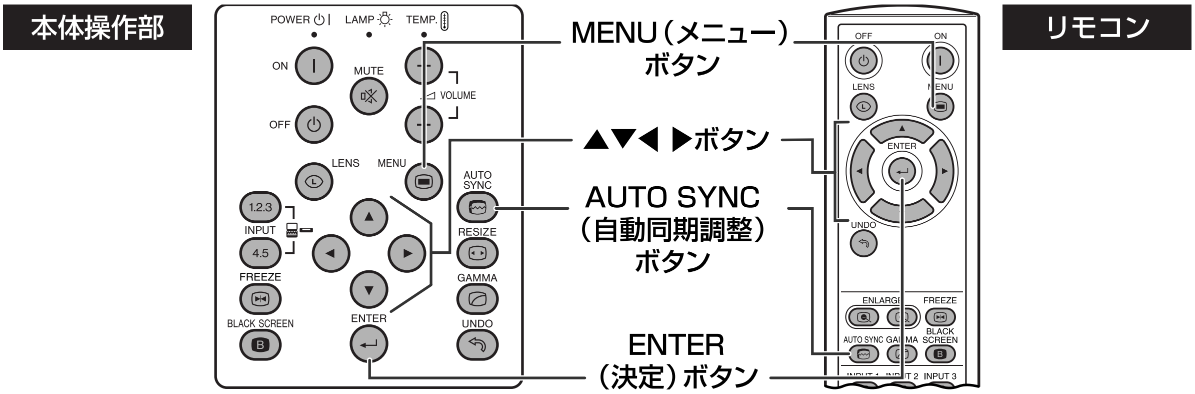
■コンピュータの画面を自動調整します。
■自動同期調整を手動で行う場合は、**AUTO SYNC(自動同期)ボタン**を押します。自動調整する場合は、プロジェクターのメニューで「同期調整」項目の「自動同期調整」を「標準」または「高速」に設定します。

「標準」または「高速」に設定すると

■プロジェクターがコンピュータに接続されている状態で、プロジェクターの電源を入れたときや、入力を切り換えたときに、自動的に同期調整を行います。
■前回設定された自動同期調整内容は、新たな自動同期調整により変更されます。

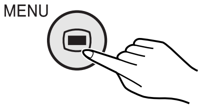
「標準」と「高速」の差について

■「標準」は「高速」の場合に比べて、正確に同期調整を行います。このため、同期調整処理の時間が若干長くかかります。



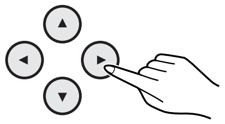
▼表示画面

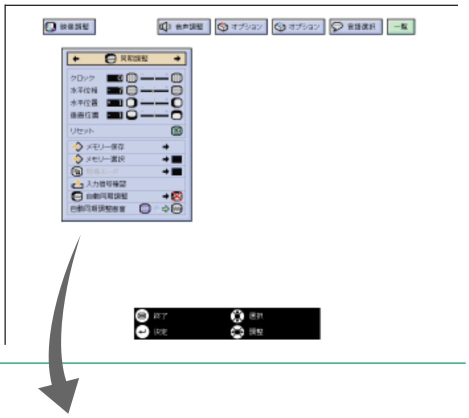
1 **MENU(メニュー)ボタンを押す**



■ メニューバーと「映像調整」メニュー画面が表示されます。

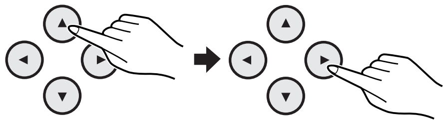
2 ◀ または ▶ ボタンを押して、「同期調整」を選ぶ

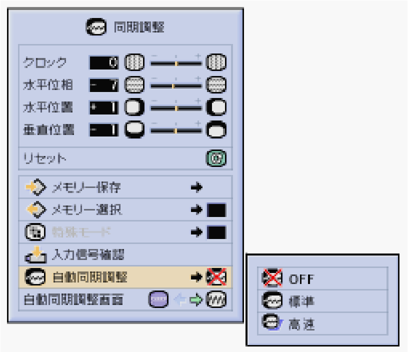




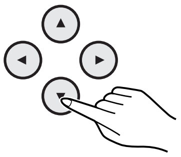
3 ① ▲ または ▼ ボタンを押して、「自動同期調整」を選ぶ

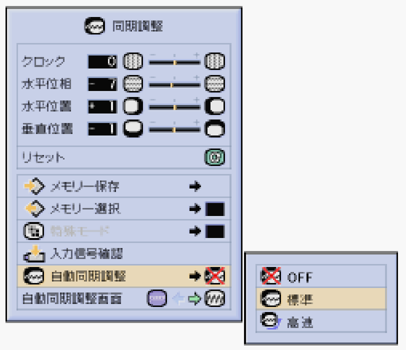
② ▶ ボタンを押す



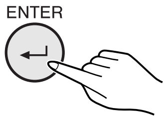


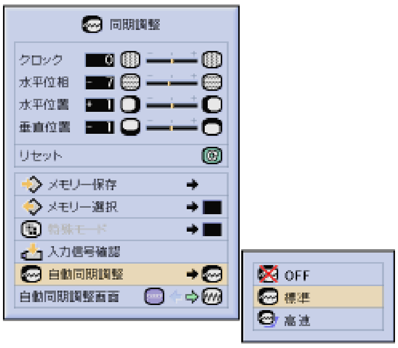
4 ▲ または ▼ ボタンを押して、「標準」または「高速」を選ぶ



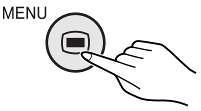


5 ENTER（決定）ボタンを押して、設定する





6 MENU（メニュー）ボタンを押す



■ 表示が消え、調整した内容が記憶されます。

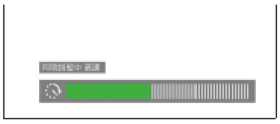
メモ

自動同期調整を手動で行うとき

■ AUTO SYNC（自動同期調整）ボタンを押しても動作します。

■ 自動同期調整で良好な画面が得られないときは、手動で調整してください。（53 ページをご覧ください。）

■ 自動同期調整を実行中は下のような表示が出ます。



■ プロジェクターに接続されたコンピュータの画像によっては、自動同期調整を完了するまで、しばらく時間がかかることがあります。

■ 自動同期調整を「高速」または「OFF」に設定しているとき

- AUTO SYNC（自動同期調整）ボタンを押すと、高速モードで自動調整を行います。1 分以内に再度押すと、標準モードで自動調整を行います。

つづく

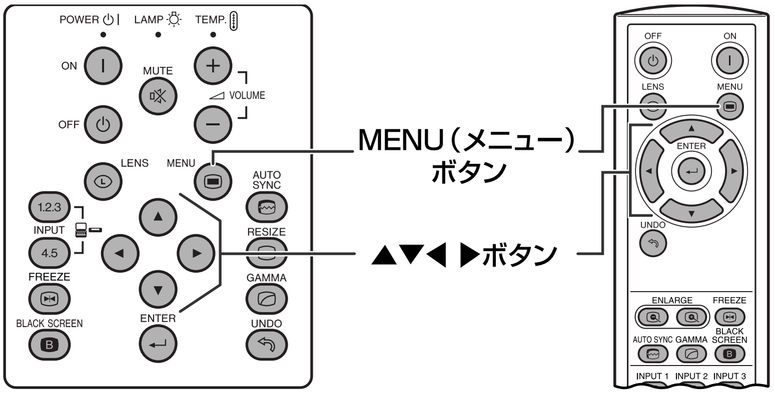
コンピュータの画面を調整する(つづき)

自動同期調整時の画面表示機能

■通常、コンピュータの画面は自動同期調整中にはスクリーンに投映されませんが、「オプション」項目の無信号時画面で設定した画面を投映することができます。(78ページ参照)

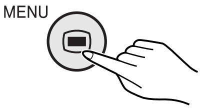
本体操作部

リモコン



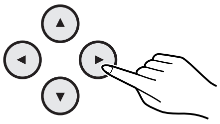
▼表示画面

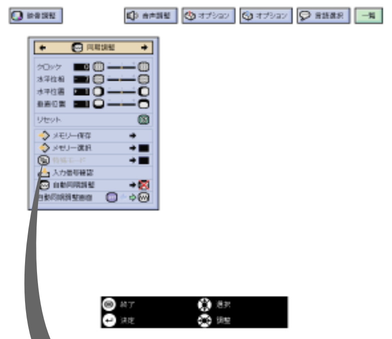
1 **MENU(メニュー)ボタンを押す**



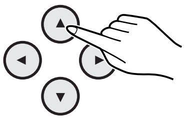
■ メニューバーと「映像調整」メニュー画面が表示されます。

2 **◀ または ▶ ボタンを押して、「同期調整」を選ぶ**



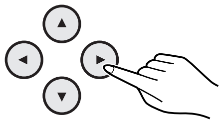


3 **▲ または ▼ ボタンを押して、「自動同期調整画面」を選ぶ**



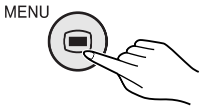
4 自動同期調整中に無信号時画面を投映するためには、◀ボタンを押して、を選ぶ

消去するためには、▶ ボタンを押して、を選ぶ



5 MENU(メニュー)ボタンを押す

■ 表示が消え、調整した内容が記憶されます。



メモ

■ を選ぶと、無信号時画面で設定されている画面が投映されます。
を選ぶと、調整中のコンピュータ画面が表示されます。

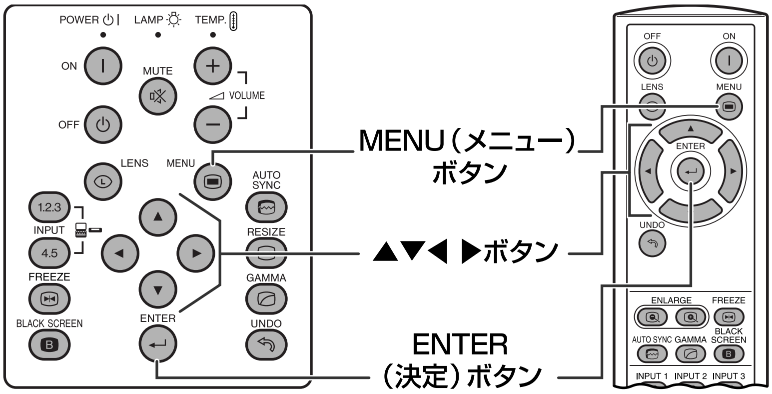
基本操作

コンピュータの画面を調整する(つづき)

再生する機器に合わせた映像信号方式を設定する

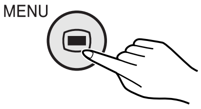
■映像信号方式は工場出荷時、「自動」に設定されています。自動的に選択された映像信号方式で、接続したAV 機器の映像が再生できなかった場合は、映像信号方式を切り換えてください。

本体操作部　　リモコン

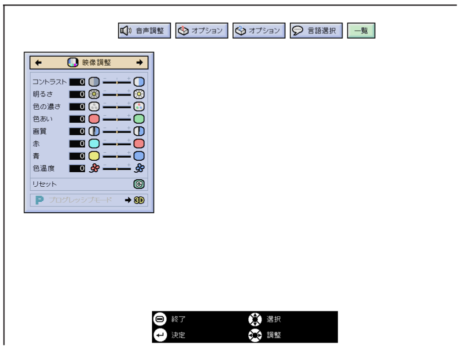


▼表示画面

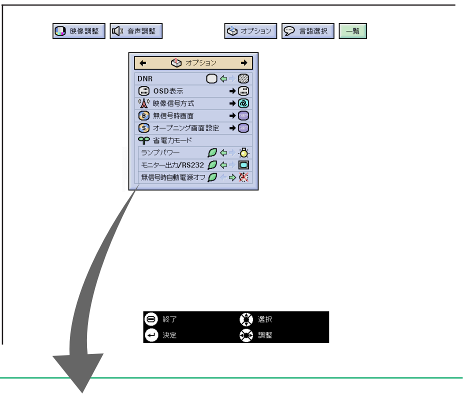
1 MENU(メニュー)ボタンを押す



■ メニューバーと「映像調整」メニュー画面が表示されます。

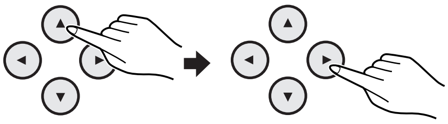


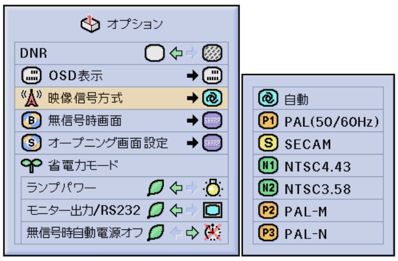
2 ◀ または ▶ ボタンを押して、「オプション 1」を選ぶ



3 ① ▲ または ▼ ボタンを押して、「映像信号方式」を選ぶ

② ▶ ボタンを押す





メモ

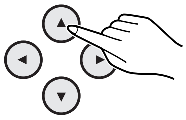
■ 映像信号方式は、入力4、5 モード以外では設定できません。

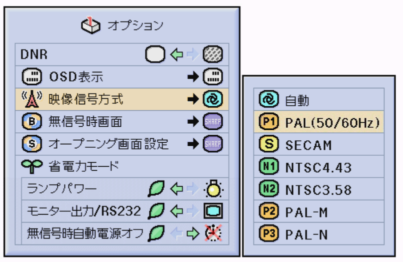
■ 映像信号方式が「自動」に設定されている場合は、信号の違いによって鮮明な映像が得られない場合があります。その場合は、ご覧のビデオシステムに切り換えてください。

- **PAL**
  PAL 方式の映像機器を接続したとき
- **SECAM**
  SECAM 方式の映像機器を接続したとき
- **NTSC 4.43**
  PAL方式の機器でNTSC方式の映像を再生したとき
- **NTSC 3.58**
  NTSC 方式の映像機器を接続したとき

■「自動」では、PAL-NおよびPAL-M を入力してもPAL 表示になります。

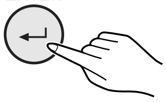
4 ▲ または ▼ ボタンを押して、設定したい映像信号方式を選ぶ





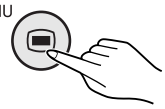
5 ENTER(決定)ボタンを押して、設定する

ENTER



6 MENU(メニュー)ボタンを押して終了する

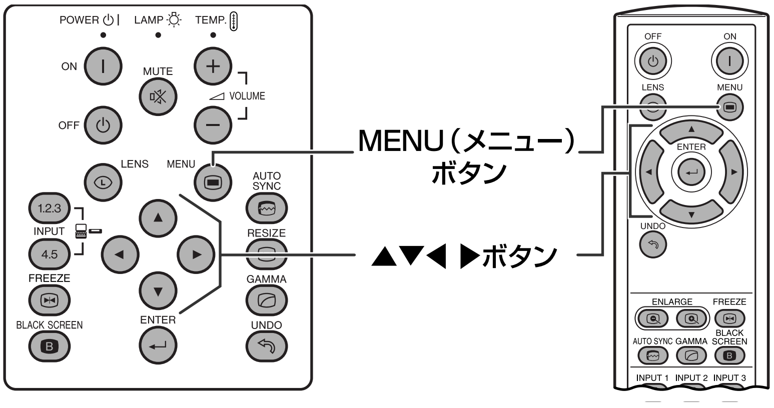
MENU



入力信号を確認する

■この機能を使って、現在選択されている入力信号の情報を確認できます。

本体操作部　　　　　リモコン

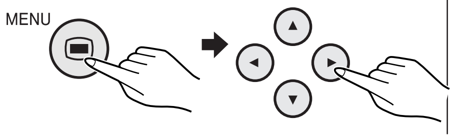


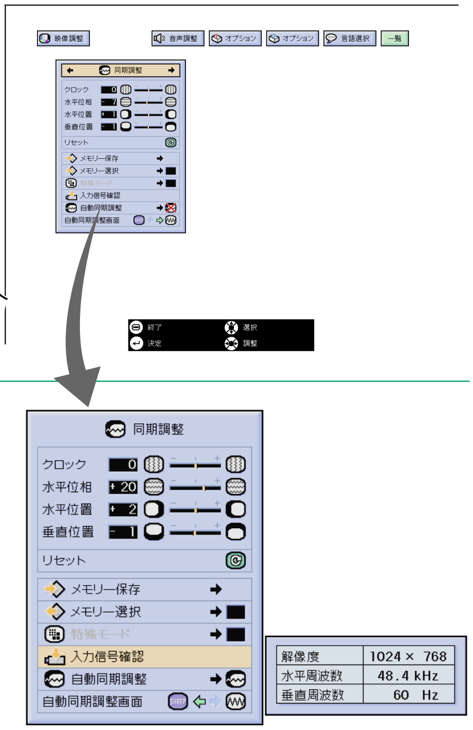
▼表示画面

1

① **MENU(メニュー)ボタンを押す**

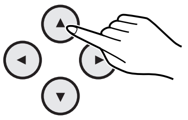
② **◀ または ▶ ボタンを押して、「同期調整」を選ぶ**





2

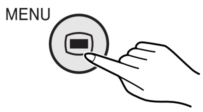
▲ または ▼ ボタンを押して、「入力信号確認」を選ぶ



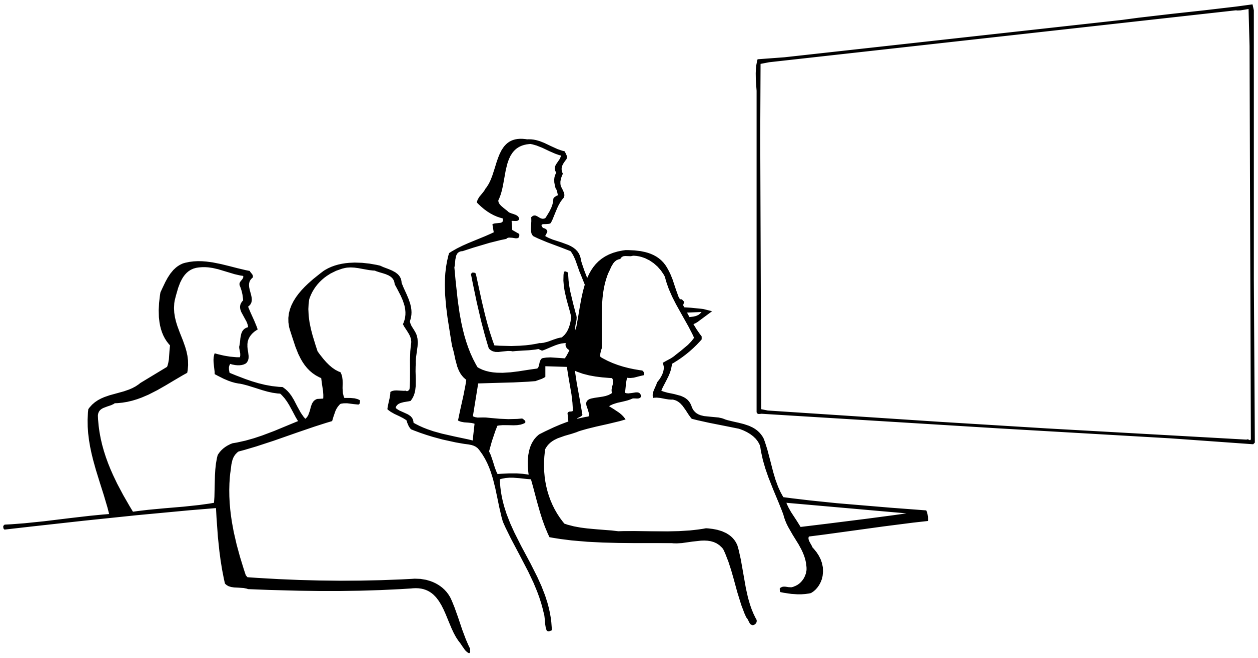
■ 現在選択されている入力信号の情報が表示されます。

3

MENU(メニュー)ボタンを押して終了する



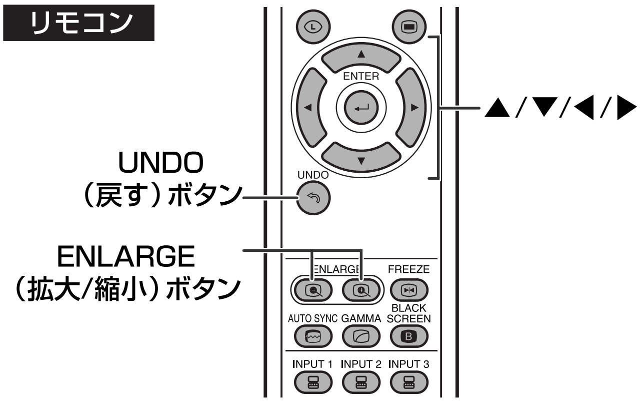
便利な機能を使う



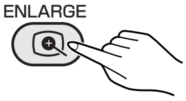
映像をデジタル拡大する

■この機能を使うと、投映された映像の一部を拡大することができます。映像の一部の詳細を表示したいときに便利です。

リモコン



1 ENLARGE（拡大）ボタン（🔍）を押して映像を拡大する（🔍を押すと縮小）

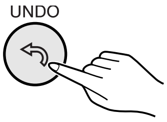


■ENLARGE（拡大）ボタン（🔍）を押す度に映像は次のように拡大（🔍を押した場合は縮小）されます。

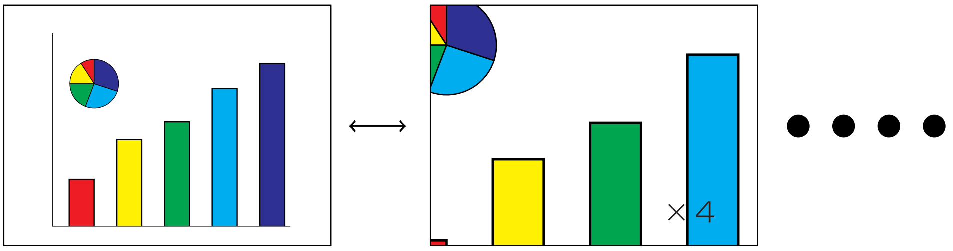
×1 ↔ ×4 ↔ ×9 ↔ ×16 ↔ ×36 ↔ ×64

■ 映像が拡大したあと▲▼◀▶ボタンを使って見たい位置を変えることができます。

2 UNDO（戻す）ボタンを押して、標準映像に戻す



表示画面



メモ

■ 次の場合、拡大された映像が元の大きさ（× 1）に戻ります。
- INPUT（入力）切換を行ったとき
- 入力信号が変更されたとき
- 入力信号の解像度やリフレッシュレート（垂直周波数）が変わったとき

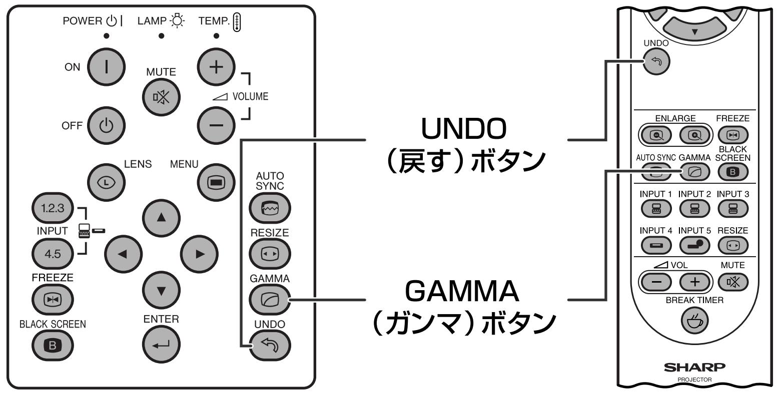
ガンマ補正

■映像の違いや、部屋の明るさの違いにより映像が見にくい場合は、ガンマ補正機能を使って見やすくすることができます。
■映画やコンサートなど暗いシーンの多い映像を見たり、明るい部屋で映像を見たりする場合は、この機能を使うと、暗いシーンが明るくなるなど、より見やすい映像が楽しめます。

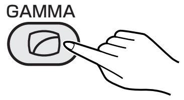
選 択 項 目	補　正　内　容
標準	標準の設定です
プレゼンテーション	映像をより明るくしたいときに設定します
シネマ	映画などを見るときに設定します
ユーザー設定	Sharp Advanced Presentation Softwareを使って、ガンマ値を調整することができます

本体操作部

リモコン

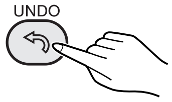


1 GAMMA（ガンマ）ボタンを押す

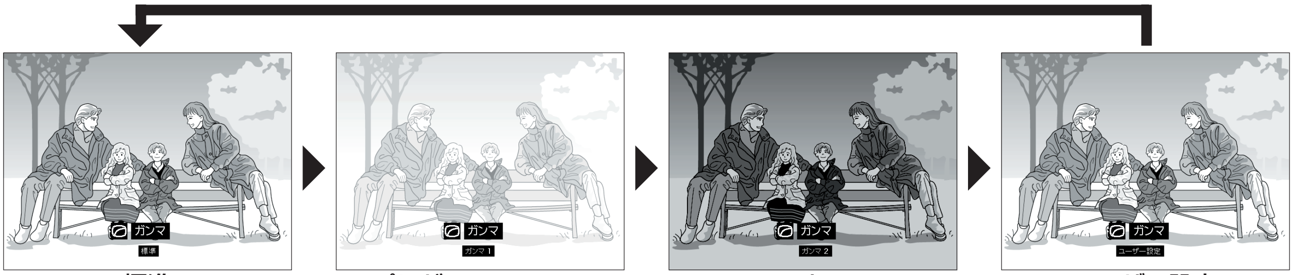


■ GAMMA（ガンマ）を押す度にガンマレベルが下画面のように変わります。

2 「ガンマ」が画面に表示されているときにUNDO（戻す）ボタンを押すと、標準映像に戻る



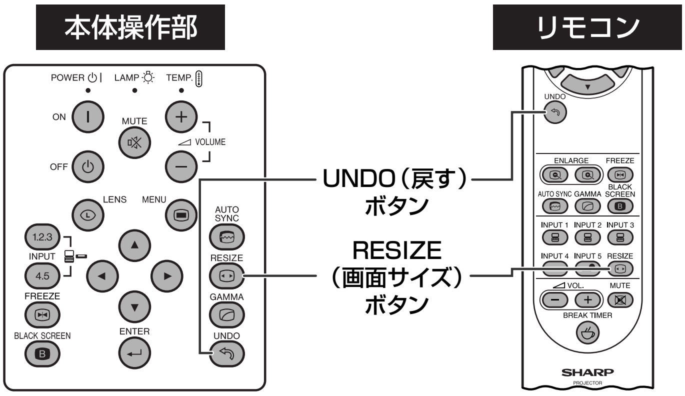
表示画面



標準　プレゼンテーション　シネマ　ユーザー設定

画像表示モードを選ぶ

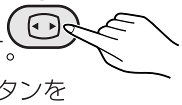
■入力された映像の画質をよくするために、画像表示モードを選択したり、カスタマイズすることができます。
入力信号の種類によって、「標準」・「フル」・「ドットバイドット」・「ズーム」・「スクイーズ(フル)」・「ワイド」を選んでください。



お知らせ

■「ドットバイドット」モードでは映像を元の解像度で表示し、液晶パネル解像度に合わせるため拡大されません。

1 RESIZE(画面サイズ)ボタンを押す

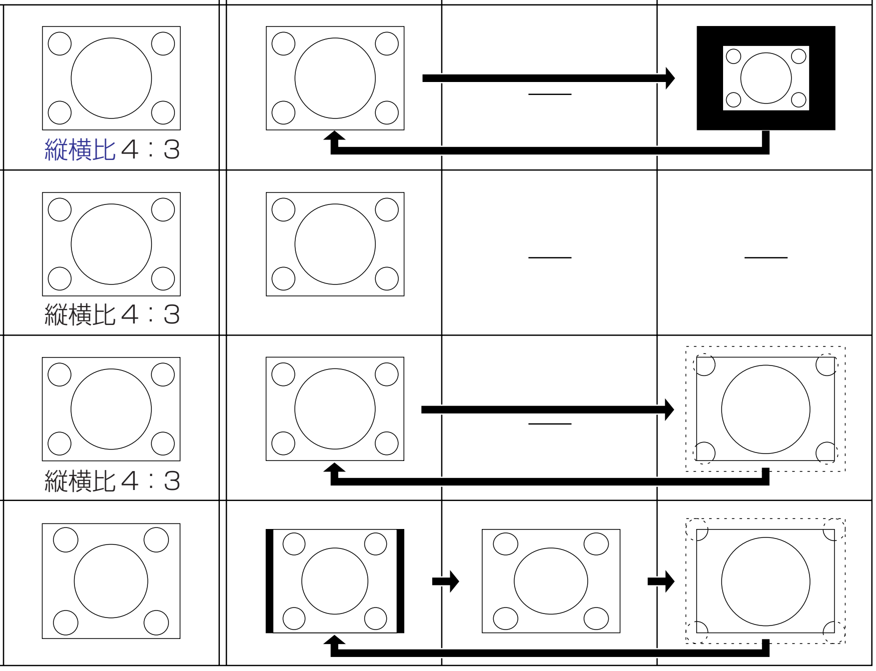


■ RESIZE(画面サイズ)ボタンを押す度に、画像表示モードは下記のように変わります。
■ 初期の状態に戻すときは、「画面サイズ」が画面に表示されているあいだに、UNDO(戻す)ボタンを押してください。

コンピュータ

		標準	フル	ドットバイドット
縦横比４：３	SVGA (800 × 600)	1024 × 768	–	800 × 600
	XGA (1024 × 768)	1024 × 768	–	–
	SXGA (1280 × 960)	1024 × 768	–	1280 × 960
	UXGA (1600 × 1200)	1024 × 768	–	1600 × 1200
その他	SXGA (1280 × 1024)	960 × 768	1024 × 768	1280 × 1024

入力信号		表示イメージ 標準 縦横比を維持しながら４：３スクリーンの内側いっぱいに画像全体を投映	フル 縦横比を無視して４：３スクリーンいっぱいに画像全体を投映	ドットバイドット 画像を元の解像度で投映
XGAより解像度が低い	縦横比４：３		—	
XGA	縦横比４：３		—	—
XGAより解像度が高い	縦横比４：３		—	
SXGA (1280 × 1024)				



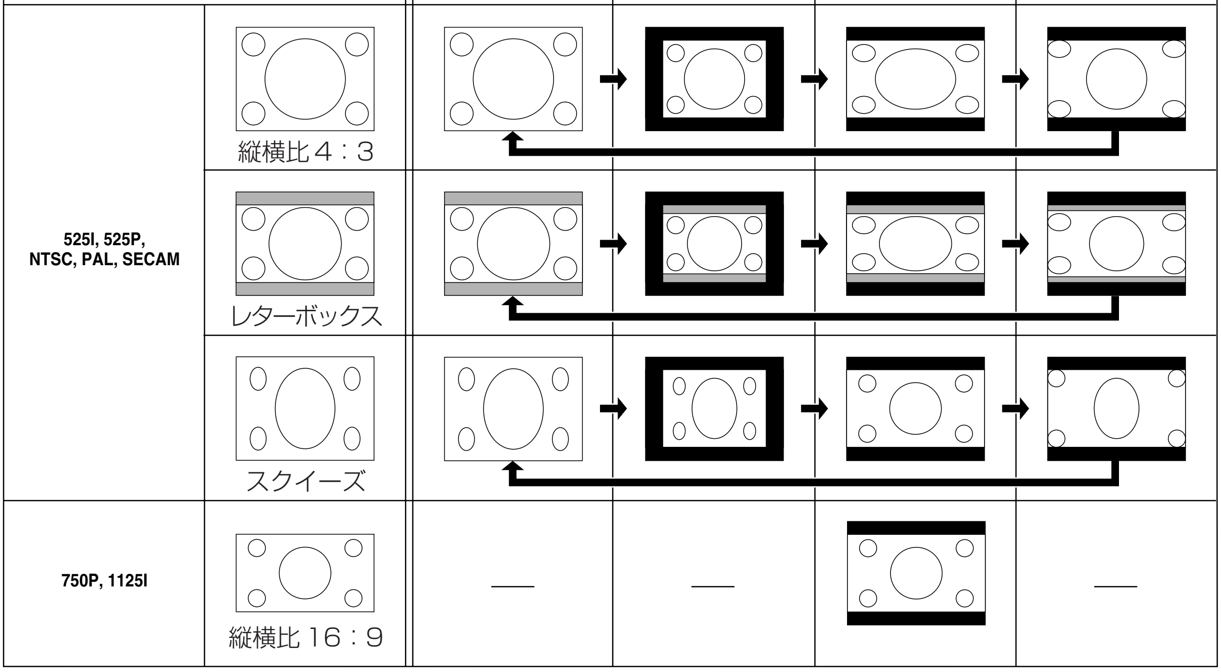
■XGA信号を入力したときは、標準に固定されます。

DVD/ デジタルビデオ

		ズーム	標準	スクイーズ(フル)	ワイド
525I, 525P, NTSC, PAL, SECAM	縦横比4：3 レターボックス・スクイーズ	1024 × 768	768 × 576*	1024 × 576*	1024 × 576*
750P, 1025I	縦横比 16：9	–	–		–

※ これらの画像でデジタルシフト機能を使用できます。

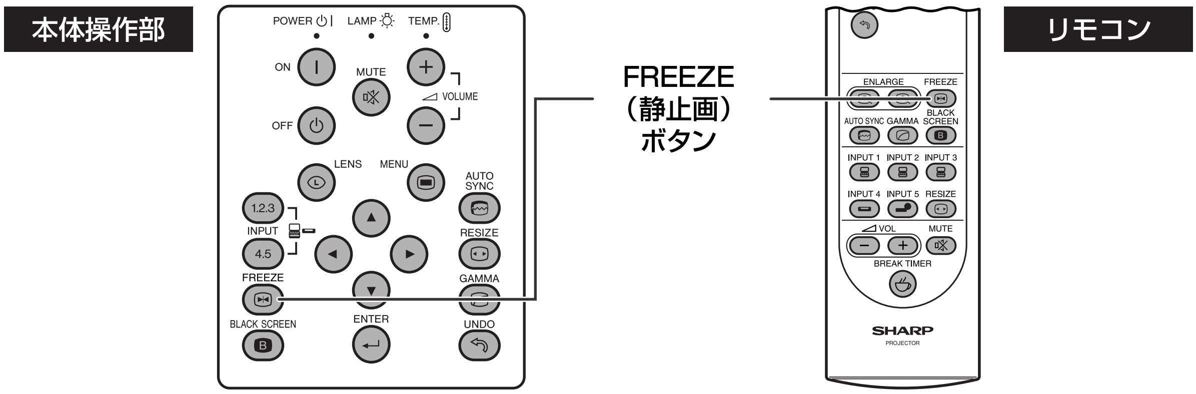
入力信号	表示イメージ			
	ズーム 画像全体を投映	標準 4：3の画像を16：9スクリーンの内側いっぱいに投映(画面の両端がマスクされる)	スクイーズ(フル) スクイーズ記録された16：9の画像を16：9スクリーンに均一に投映(画面の上下が黒くなる)	ワイド 4：3映像の中央部分の縦横比を維持しながら周辺部分のみ拡大し、16：9スクリーンいっぱいに投映



■750P や 1125I の映像信号を入力したときは、スクイーズ(フル)に固定されます。

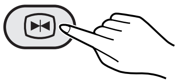
静止画機能

■静止画機能を使うと瞬時に動画を静止画にすることができます。
この機能を使うと、静止画を表示しながらより詳しく説明を加えたり、次の画面を準備するまで静止画を表示しておくことができます。



▼表示画面

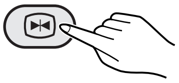
1 FREEZE（静止画）ボタンを押す



■ 投映中の映像が静止画になります。

2 静止画を解除したいときは、FREEZE（静止画）ボタンを再度押す

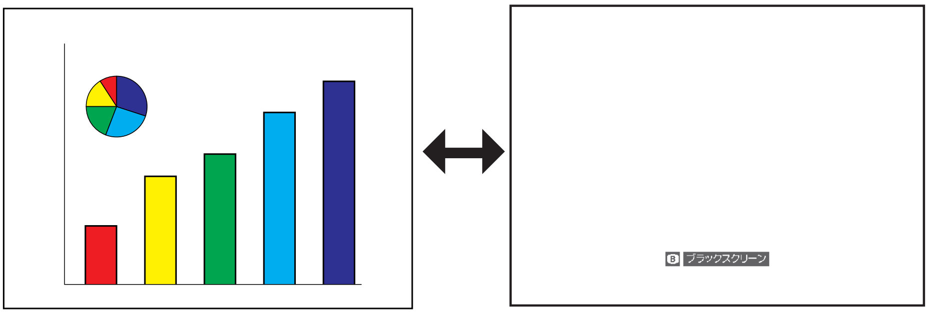
■ 接続した機器の現在の映像に戻ります。

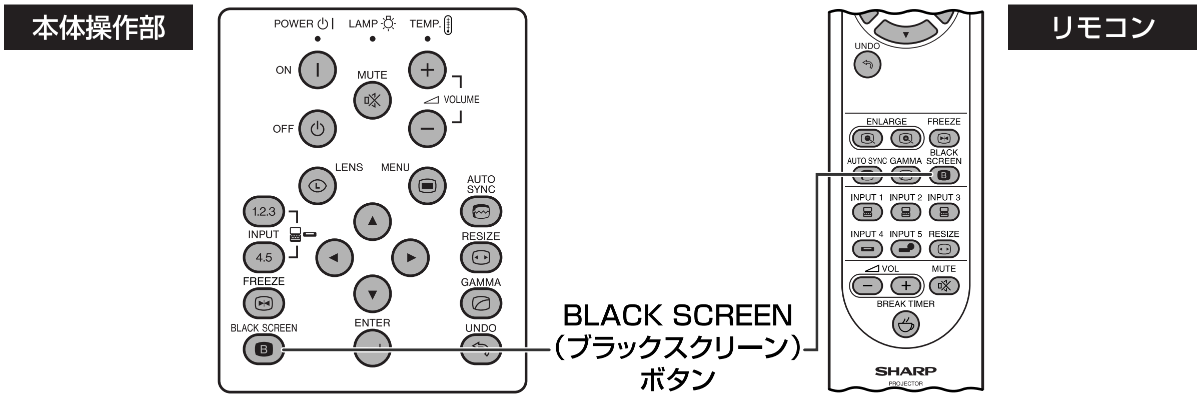


ブラックスクリーン機能

■この機能は投映された画像を一時的に消したいときに使います。

投映された画像

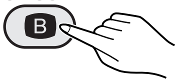




▼表示画面

1 BLACK SCREEN（ブラックスクリーン）ボタンを押す

BLACK SCREEN



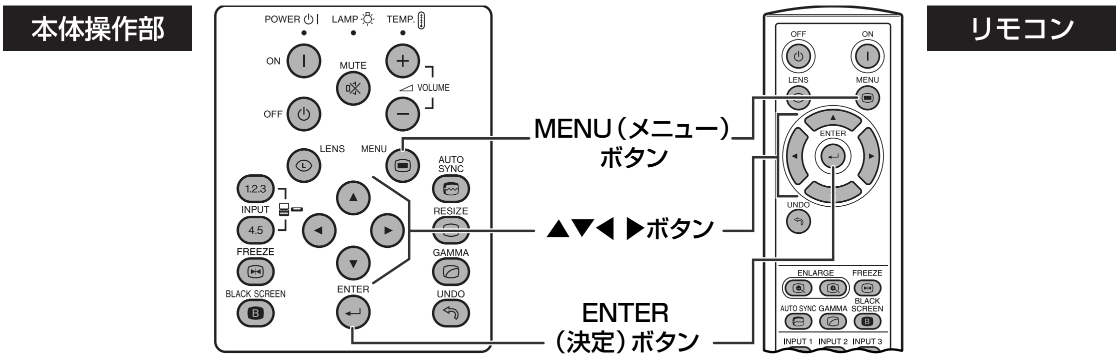
■「ブラックスクリーン」がスクリーンに表示されます。元の映像に戻すには、BLACK SCREEN（ブラックスクリーン）ボタンを再度押します。

省電力モードを選ぶ

■省電力モードは、通常動作時や電源スタンバイ時に、プロジェクターの消費電力を減らすための設定です。

□工場出荷状態

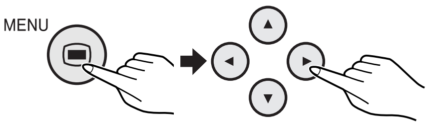
選択項目	省電力モード設定			
ランプパワー		標準状態に対して輝度が約15%低減する（通常動作時の消費電力が削減される）		標準状態
モニター出力/RS232C		電源スタンバイ時に、モニター出力しない RS-232C働かない（電源スタンバイ時の消費電力が削減される）		電源スタンバイ時に、モニター出力する RS-232C働く
無信号時自動電源オフ		無信号状態が15分以上続くと電源が自動的に切れる		無信号時自動電源オフが働かない

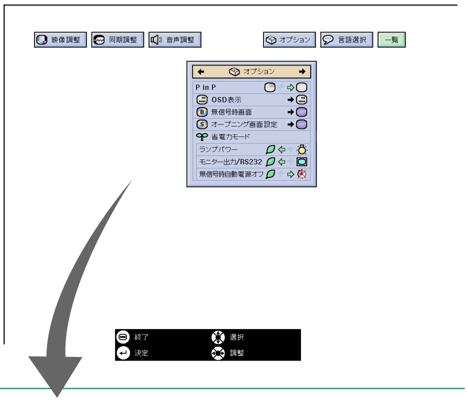


▼表示画面

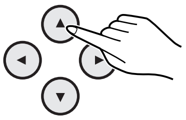
1 ① **MENU（メニュー）ボタンを押す**

② **◀ または ▶ ボタンを押して、「オプション1」を選ぶ**

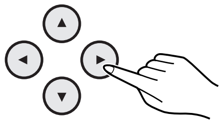




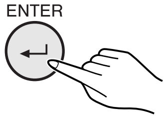
2 **▲ または ▼ ボタンを押して、「省電力モード」の中の「ランプパワー」または「モニター出力／RS232C」または「無信号時自動電源オフ」を選ぶ**



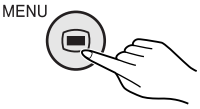
3 ◀ または ▶ ボタンを押して、設定したいモードを選ぶ



4 ENTER(決定)ボタンを押して、設定する



5 MENU(メニュー)ボタンを押して終了する



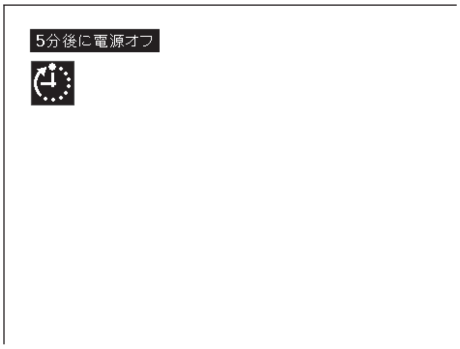
お知らせ

■ Sharp Advanced Presentation Software(付属品)を使用される場合は、「モニター出力/RS232C」を「」に設定してください。

無信号時電源オフ機能

■無信号時電源オフ機能は、本機に約15分以上無操作で、更に信号が入力されない(入力信号が検出できない)ときに自動的に電源が切れる機能です。

■無信号時電源オフ機能が「(自動電源オフする)」に設定されているときは、電源が切れる5分前になると1分毎に「○分後に電源オフ」の表示が出ます。

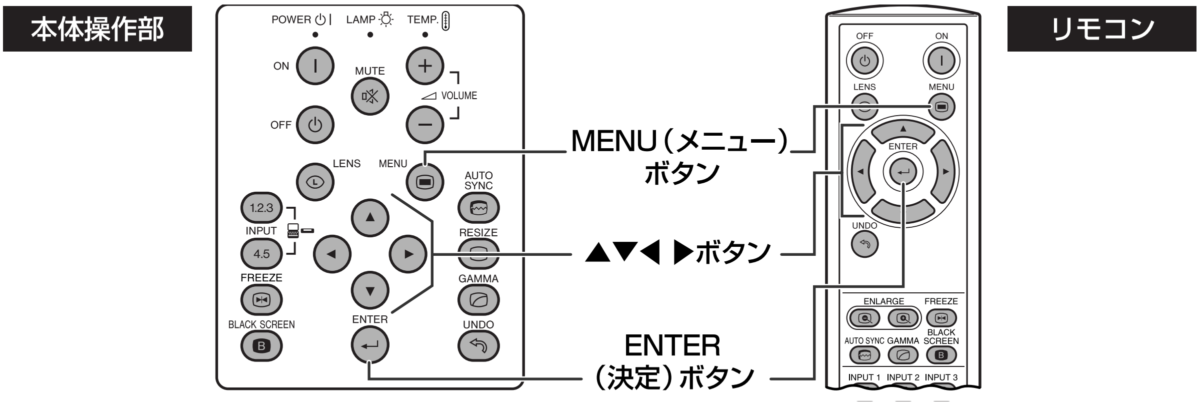


画面表示設定機能

■この機能を使うと、画面の表示を消すことができます。メニューで「OSD 表示」を"　"に設定すると、入力切換ボタンを押しても、「入力 1」などの画面表示が表れません。

OSD 表示の内容

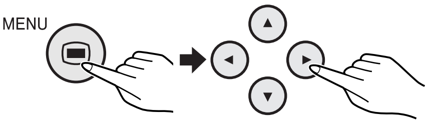
選 択 項 目	内　容
標準	画面表示のすべてが表示されます。
レベルA	入力、ユーザー選択、静止画、拡大／縮小、自動同期、音量、消音、ブラックスクリーンは表示されません。
レベルB	メニュー、レンズおよび警告用のメッセージ（電源オフ、温度、ランプなど）以外は表示されません。

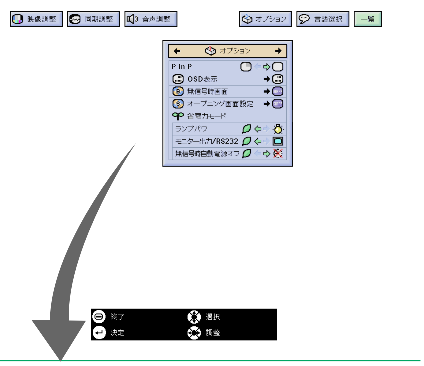


▼表示画面

1 ① **MENU（メニュー）ボタンを押す**

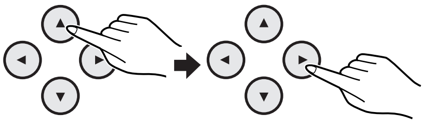
② **◀ または ▶ ボタンを押して、「オプション 1」を選ぶ**

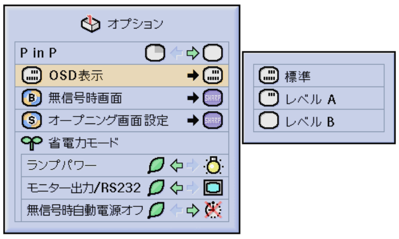




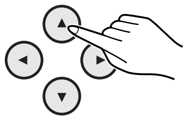
2 ① **▲ または ▼ ボタンを押して、「OSD 表示」を選ぶ**

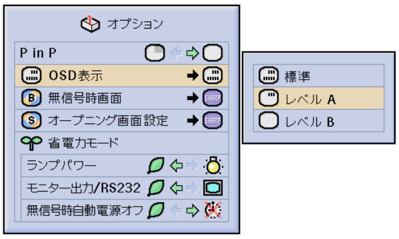
② **▶ ボタンを押す**



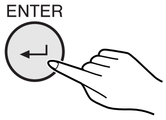


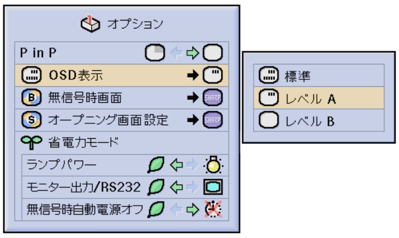
3 ▲ または ▼ ボタンを押して、「標準」「レベル A」「レベル B」を選ぶ



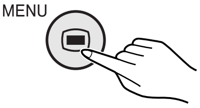


4 ENTER(決定)ボタンを押して設定する





5 MENU(メニュー)ボタンを押して終了する



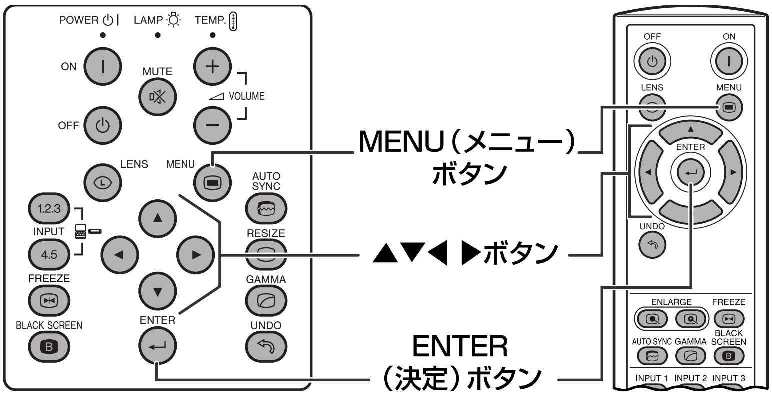
無信号時に表示する画面を設定する

■この機能を使って、プロジェクターに信号が送られていないときに表示する画面を選ぶことができます。
■ユーザー設定画面(会社のロゴなど)は、RS-232Cケーブルを介して、プロジェクターに伝送することができます。詳細は、付属のCD-ROMに収録されているSharp Advanced Presentation Software (SAPS)取扱説明書をご覧ください。

選 択 項 目	無信号時画面
初期設定画面	SHARP初期設定画面
ユーザー選択画面※1	ユーザー設定画面(会社のロゴなど)
ブルーバック	青い画面
画面表示無し	入力信号画面※2

※2 入力信号がスノーノイズのときは、そのままスノーノイズの画面になります。

本体操作部



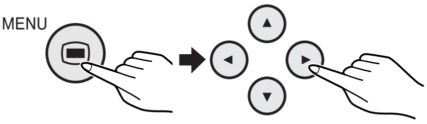
リモコン

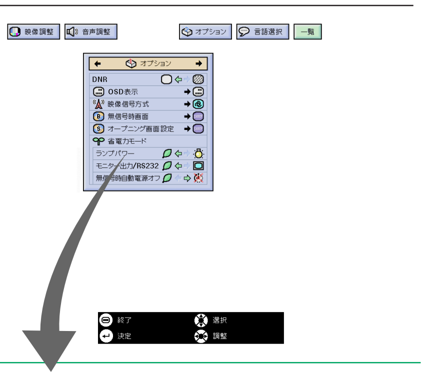
▼表示画面

1

① **MENU(メニュー)ボタンを押す**

② **◀ または ▶ ボタンを押して、「オプション1」を選ぶ**

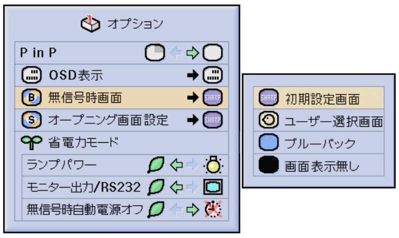


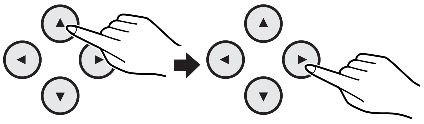


2

① **▲ または ▼ ボタンを押して、「無信号時画面」を選ぶ**

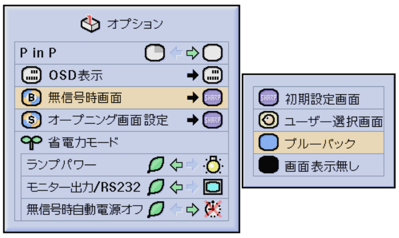
② **▶ ボタンを押す**

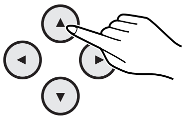




3

▲ または ▼ ボタンを押して、無信号時、スクリーンに表示したい画面を選ぶ

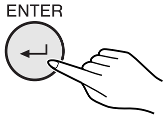


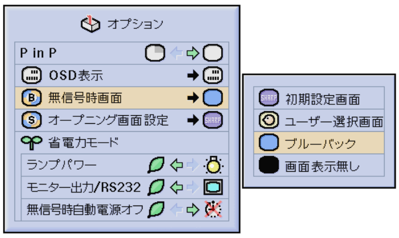


※1「ユーザ選択画面」を選ぶと、プロジェクターはユーザー設定画面(会社のロゴなど)を無信号時画面として表示することができます。
ユーザー設定画面は、256色のBMPファイルで1024x768(XGA)を推奨いたします。
1024x768(XGA)以下のBMPファイルであれば、ユーザー設定画面にすることができます。(1024X768を超えたBMPファイルは、ユーザー設定画面にはできません。)
ユーザー設定画面のメモリー登録、修正方法については、付属のCD-ROMに収録されているSharp Advanced Presentation Software(SAPS)取扱説明書をご参照ください。

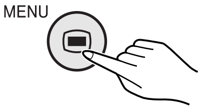
■工場出荷時のユーザー選択画面は、黒い画面になっています。

4 ENTER（決定）ボタンを押して、設定する





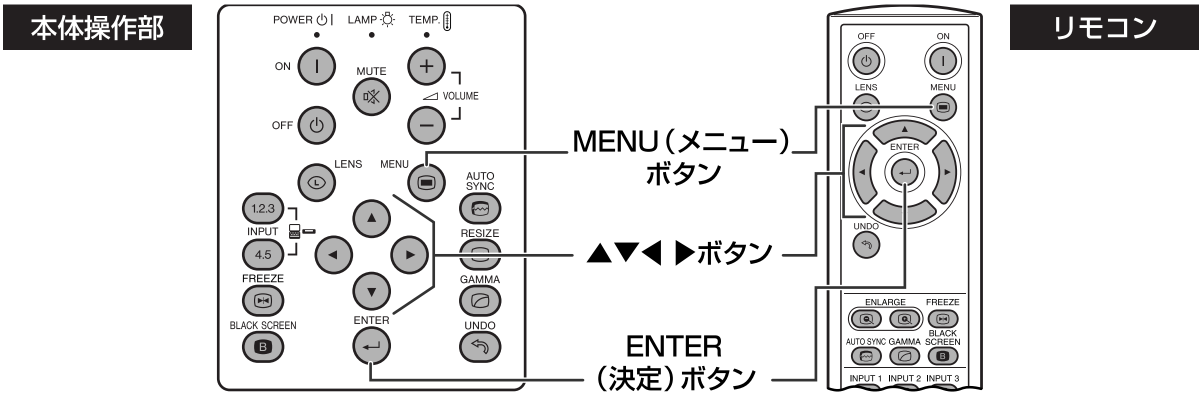
5 MENU（メニュー）ボタンを押して終了する



オープニング画面を選ぶ

■この機能を使って、プロジェクターを起動させたときに表示される映像を指定することができます。
■ユーザー設定画面（会社のロゴなど）は、RS-232C ケーブルを介して、プロジェクターに伝送することができます。詳細は、付属のCD-ROMに収録されているSharp Advanced Presentation Software（SAPS）取扱説明書をご参照ください。

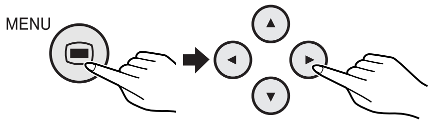
選 択 項 目	オープニング画面
初期設定画面	SHARP初期設定画面
ユーザー選択画面※	ユーザー設定画面（会社のロゴなど）
画面表示無し	入力信号画面

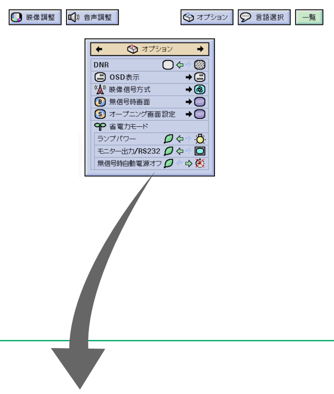


▼表示画面

1 ① **MENU（メニュー）ボタンを押す**

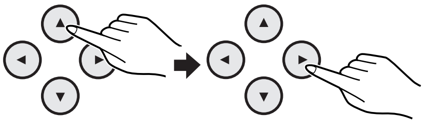
② **◀ または ▶ ボタンを押して、「オプション１」を選ぶ**

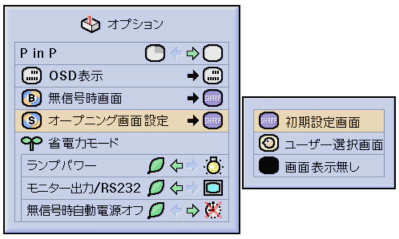




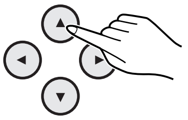
2 ① **▲ または ▼ ボタンを押して、「オープニング画面設定」を選ぶ**

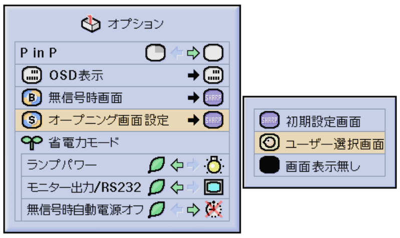
② **▶ ボタンを押す**





3 **▲ または ▼ ボタンを押して、スクリーンに表示したいオープニング画面を選ぶ**



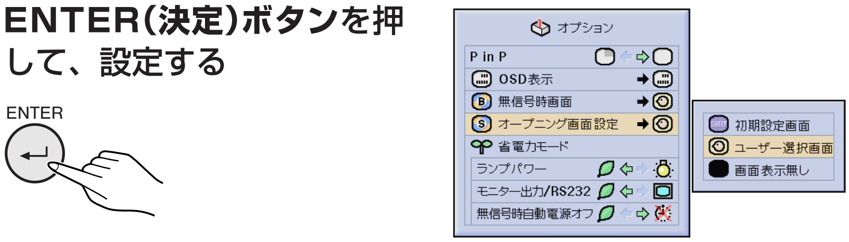


メモ

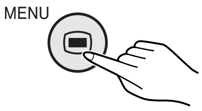
※「ユーザー選択画面」を選ぶと、プロジェクターはユーザー設定画面（会社のロゴなど）をオープニング画面として表示することができます。
ユーザー設定画面は、256色のBMPファイルで1024x768(XGA)を推奨いたします。
1024x768(XGA)以下のBMPファイルであれば、ユーザー設定画面にすることができます。（1024X768を超えたBMPファイルは、ユーザー設定画面にはできません。）
ユーザー設定画面のメモリー登録、修正方法については、付属のCD-ROM内に収録されているSharp Advanced Presentation Software（SAPS）取扱説明書をご参照ください。

■工場出荷時のユーザー選択画面は黒い画面になっています。

4 ENTER(決定)ボタンを押して、設定する



5 MENU(メニュー)ボタンを押して終了する



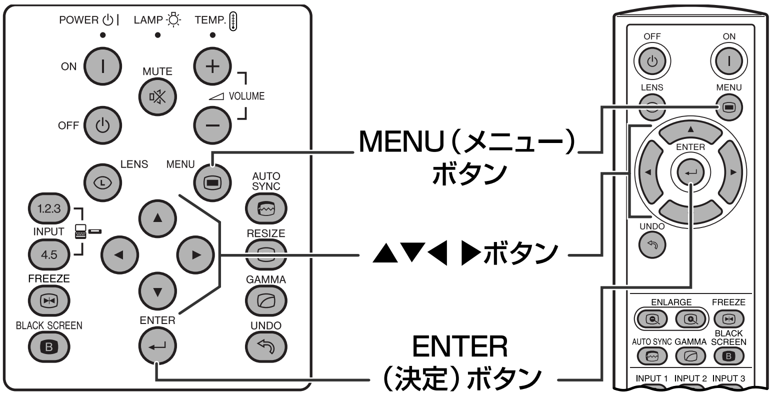
オープニング画面を選ぶ

便利な機能を使う

パスワードを設定する

■パスワードを設定することにより、オプション2メニューの設定内容を変更できないようにすることができます。キーロックレベル(86 ページ)と併せて使用するとより効果的です。

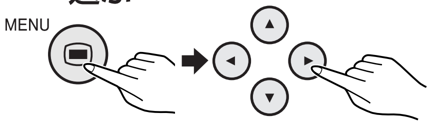
本体操作部　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　リモコン

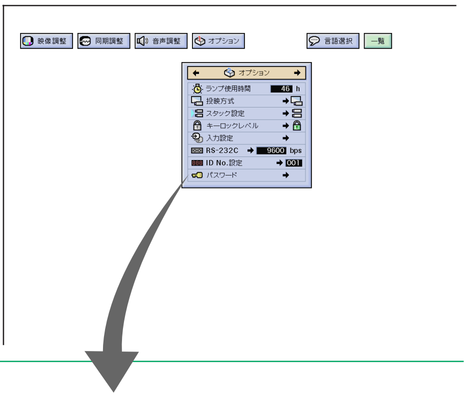


▼表示画面

1 ① **MENU(メニュー)ボタンを押す**

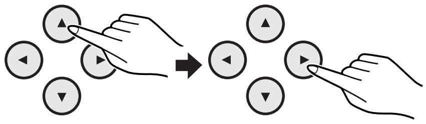
② **◀ または ▶ ボタンを押して、「オプション2」を選ぶ**



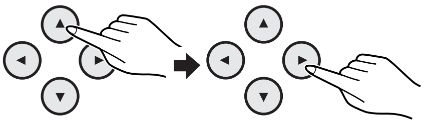


2 ① **▲ または ▼ ボタンを押して、「パスワード」を選ぶ**

② **▶ ボタンを押す**



3 **▲ または ▼ ボタンを押して、好きな番号が表示されたら▶ ボタンを押す**



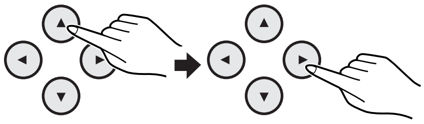
メモ

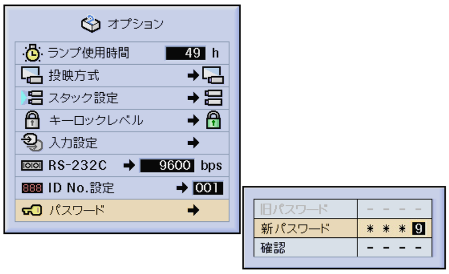
■パスワードを設定したあとは、安全な場所にメモして、忘れないようご注意ください。

■パスワード機能が設定されている場合、投映方式、スタック設定、キーロックレベル、入力設定、RS-232C、ID No. の設定を行うには、パスワード入力が必要です。

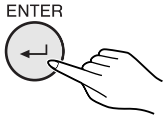
■パスワードを忘れたときは、124ページ「パスワードを忘れてしまったら」をご覧ください。

4 同様に残りの３桁を入力する

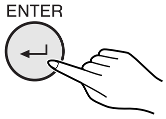




5 ENTER(決定)ボタンを押す

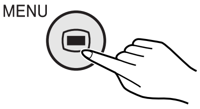


6 確認欄にもう一度同じ数字を入力して、ENTER(決定)ボタンを押す



■ パスワードの入力をまちがえたときは、手順 3 に戻ります。

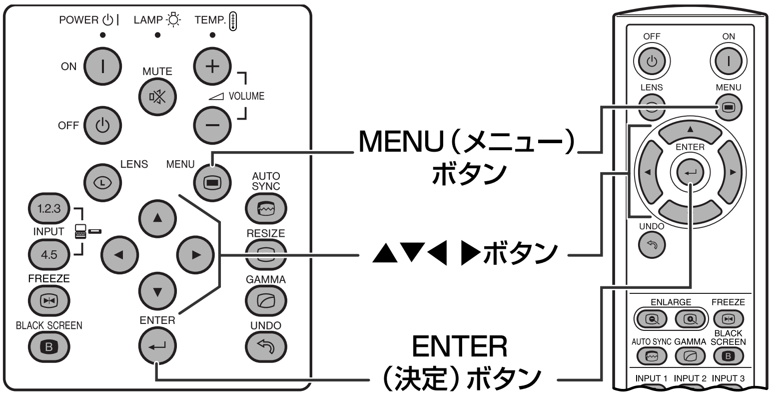
7 MENU(メニュー)ボタンを押して終了する



パスワードを変更する

■パスワードはいつでも変更することができます。

本体操作部　　リモコン

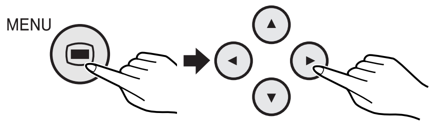


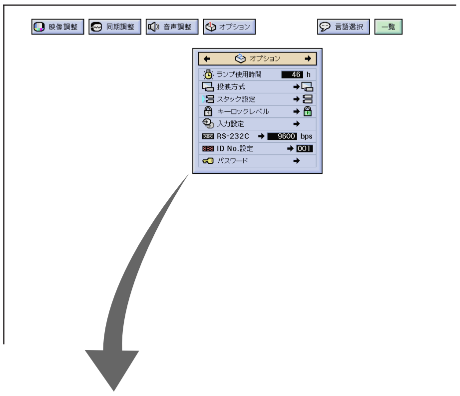
▼表示画面

1

① **MENU（メニュー）ボタンを押す**

② **◀ または ▶ ボタンを押して、「オプション2」を選ぶ**

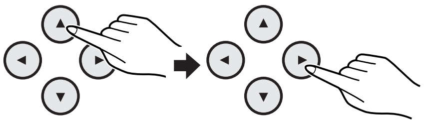




2

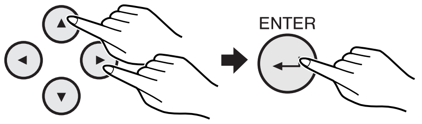
① **▲ または ▼ ボタンを押して、「パスワード」を選ぶ**

② **▶ ボタンを押す**



3

▲▼▶ ボタンを使って、旧パスワードの欄に設定済みのパスワードの番号４桁を入力し ENTER（決定）ボタンを押す

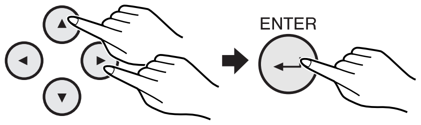


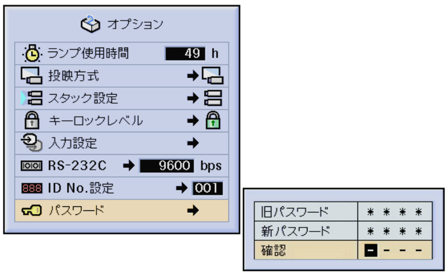
メモ

■ パスワードを変更したあとは、安全な場所にメモして、忘れないようご注意ください。

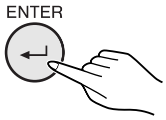
■ パスワードを忘れたときは、124ページ「パスワードを忘れてしまったら」をご覧ください。

4 新しいパスワードを▲▼▶ボタンを使って設定しENTER(決定)ボタンを押す

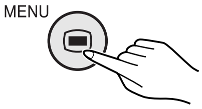




5 確認欄にもう一度同じパスワード(数字４桁)を入力しENTER(決定)ボタンを押す

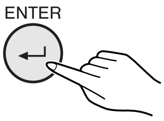


6 MENU(メニュー)ボタンを押して終了する

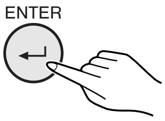


パスワードを設定したあとに、パスワードを未設定状態にするとき

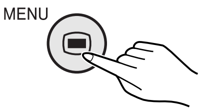
1 手順 4 で新しいパスワードを設定しないでENTER(決定)ボタンを押す



2 手順 5 でパスワードを入力しないでENTER(決定)ボタンを押す



3 MENU(メニュー)ボタンを押して終了する

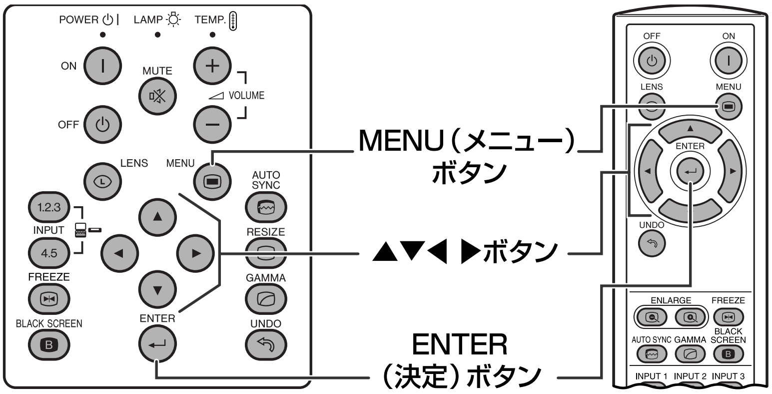


プロジェクターの操作ボタンをロックする

■この機能は、プロジェクター本体上面のボタンをロックするのに使用します。リモコンのボタンはロックされません。ロックのレベルは以下の３段階です。

キーロックレベル	内　容
標準	すべてのボタンが機能します。
レベルA	INPUT(入力切換)、VOLUME(音量)、MUTE(消音)以外のボタンがロックされます。
レベルB	すべてのボタンがロックされます。

本体操作部

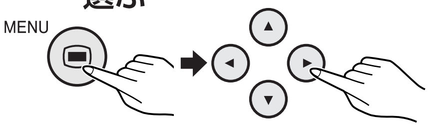


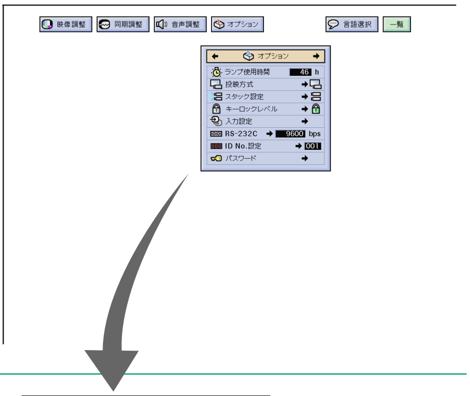
リモコン

▼表示画面

1 ① MENU(メニュー)ボタンを押す

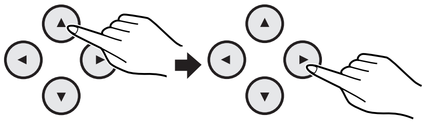
② ◀ または ▶ ボタンを押して、「オプション2」を選ぶ



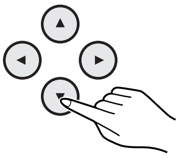


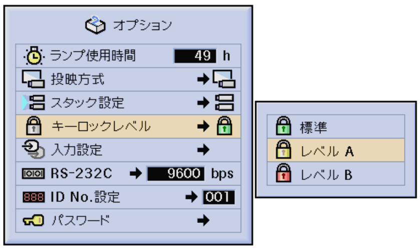
2 ① ▲または ▼ ボタンを押して、「キーロックレベル」を選ぶ

② ▶ ボタンを押す



3 ▲ または ▼ ボタンを押して、設定するレベルを選ぶ

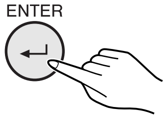


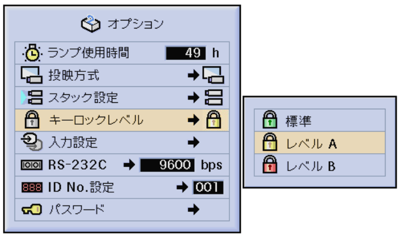


メモ

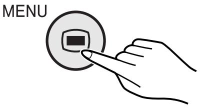
■パスワードが設定されている場合は、手順 2 でパスワードの入力欄が表示されます。パスワードを正しく入力しないとキーロックレベルの設定はできません。

4 ENTER(決定)ボタンを押して、設定する





5 MENU(メニュー)ボタンを押して終了する



キーロックの解除のしかた

■キーロックを解除するには上記設定の手順を、リモコンで行います。キーロックレベルを「標準」に設定すると、すべてのボタンが機能します。

■キーロック、パスワードがともに設定されている場合は、キーロックレベルを解除(および変更)するまえにパスワードが必要になります。

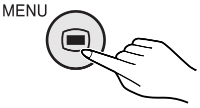
パスワードが設定されている場合

▼表示画面

1 前ページの手順 2 のあとパスワード入力用の画面が表示されるのでパスワードを入力する

2 パスワードが正しく入力されれば、画面は前ページの手順 3 のレベル入力設定に変わるので、レベルを「標準」に設定する

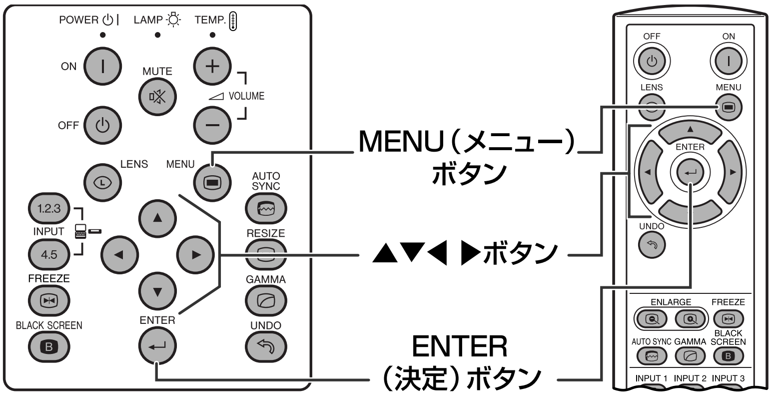
3 MENU(メニュー)ボタンを押して終了する



使用しない入力モードを非選択の状態にする

■本体の「INPUT 1.2.3」または「INPUT 4.5」を押したとき使用しない入力モードを非選択(スキップ)の状態にできます。(一時的に選択できない状態にする)

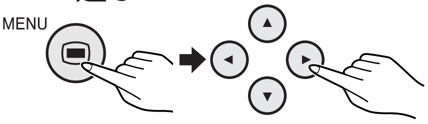
本体操作部　　リモコン

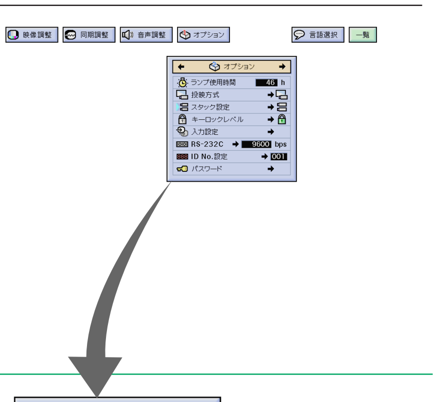


▼表示画面

1 ① **MENU(メニュー)ボタンを押す**

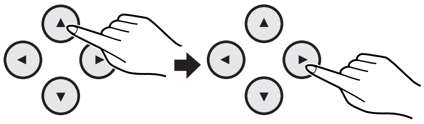
② **◀ または ▶ ボタンを押して、「オプション2」を選ぶ**



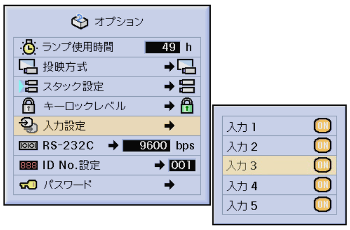


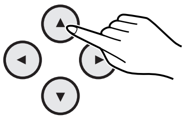
2 ① **▲ または ▼ ボタンを押して、「入力設定」を選ぶ**

② **▶ ボタンを押す**



3 **▲ または ▼ ボタンを押して、非選択(スキップ)にしたい入力モードを選択する。**





メモ

■スタック投映やビデオウォール投映を行う際にこの機能を使うと便利です。

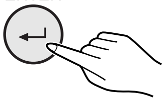
メモ

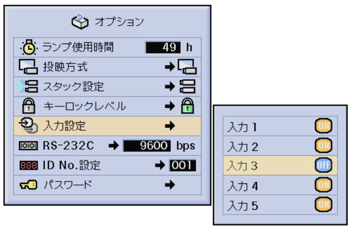
■パスワードが設定されている場合は、手順 2 でパスワードの入力欄が表示されます。パスワードを正しく入力しないと非選択の設定はできません。

■非選択(スキップ)にしたい入力モードはリモコンのINPUT 1～INPUT 5で選択することもできます。

4 入または切を設定するためENTER（決定）ボタンを押す

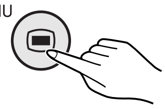
ENTER





5 MENU（メニュー）ボタンを押して終了する。

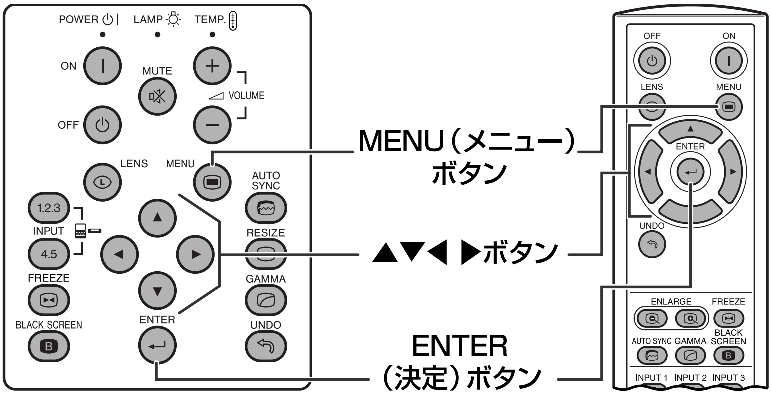
MENU



RS-232Cの通信速度を設定する

■RS-232C の通信速度を選択できます。

本体操作部

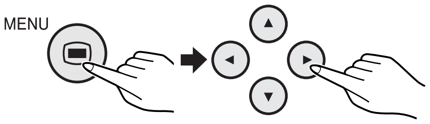


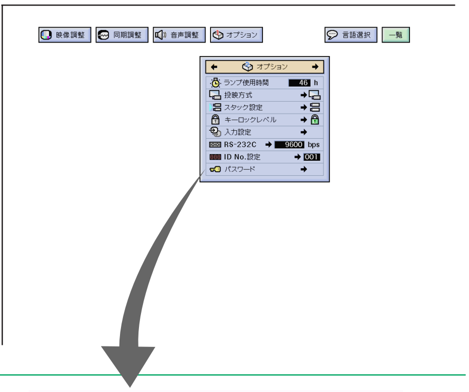
リモコン

▼表示画面

1 ① **MENU（メニュー）ボタンを押す**

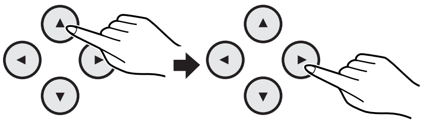
② **◀ または ▶ ボタンを押して、「オプション2」を選ぶ**



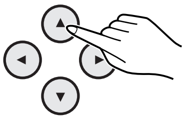


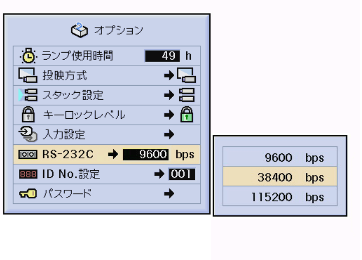
2 ① **▲ または ▼ ボタンを押して、「RS-232C」を選ぶ**

② **▶ ボタンを押す**



3 **▲ または ▼ ボタンを押して、通信速度を選ぶ**

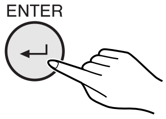


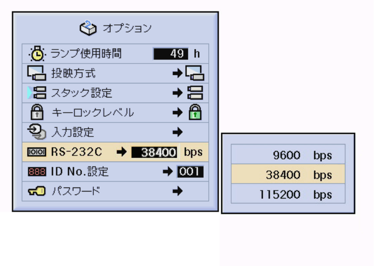


メモ

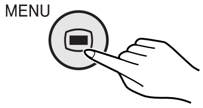
- ■ コンピュータとプロジェクターの両方の通信速度を合わせてください。コンピュータの通信速度の設定のしかたは、コンピュータの取扱説明書をご覧ください。
- ■ パスワードが設定されている場合は、手順 2 でパスワードの入力欄が表示されます。パスワードを正しく入力しないと通信速度の設定はできません。

4 ENTER(決定)ボタンを押し、設定内容を記憶する





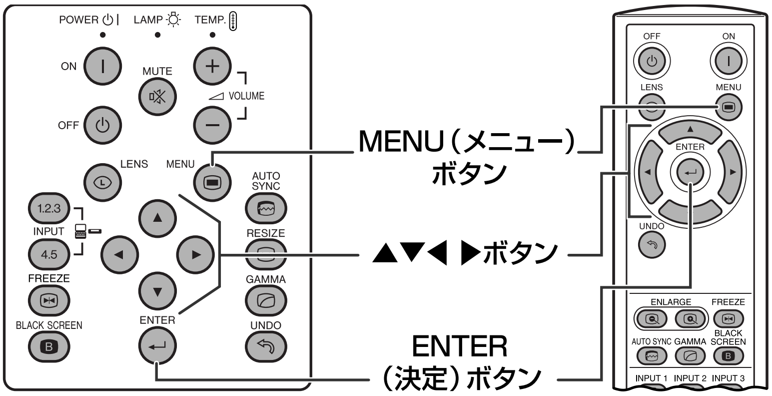
5 MENU(メニュー)ボタンを押して終了する



画面表示言語を選ぶ

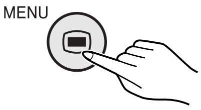
■表示画面の言語として、工場出荷時、日本語が設定されています。英語・ドイツ語・スペイン語・オランダ語・フランス語・イタリア語・スウェーデン語・ポルトガル語・中国語・韓国語・日本語に切り換えることができます。

本体操作部　　リモコン

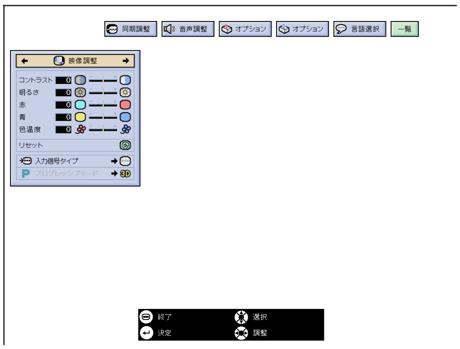


▼表示画面

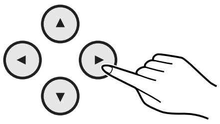
❶ MENU（メニュー）ボタンを押す

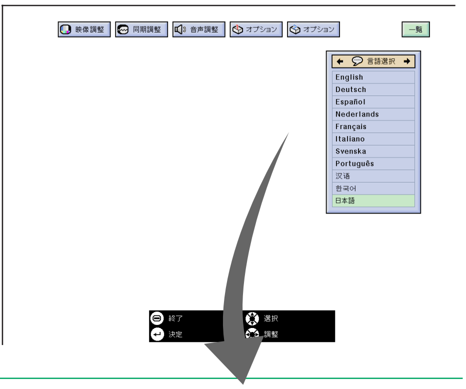


■ メニューバーと「映像調整」メニュー画面が表示されます。

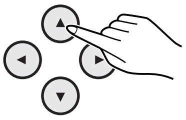


❷ ◀ または ▶ ボタンを押して、「言語選択」を選ぶ





❸ ▲ または ▼ ボタンを押して、表示したい言語を選ぶ



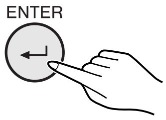
メモ

■ 左の例は、日本語から英語に切り換える例です。

画面表示言語を選ぶ

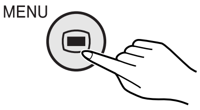
便利な機能を使う

4 ENTER(決定)ボタンを押して、設定する



■ 画面表示言語が、選択された言語になります。

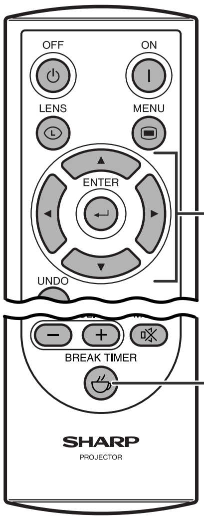
5 MENU(メニュー)ボタンを押して終了する



休憩時間の表示と設定

■会議中などに休憩の残り時間を表示することができます。

リモコン

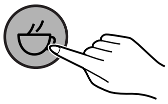


休憩時間表示を設定する

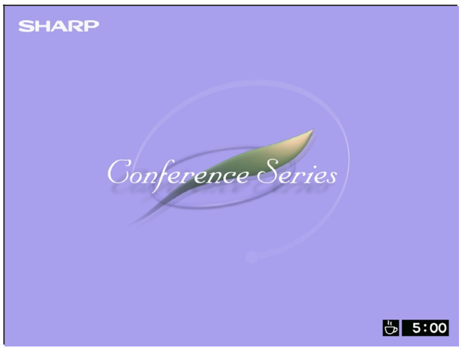
▼表示画面

1 **BREAK TIMER（休憩時間）ボタンを押す**

BREAK TIMER

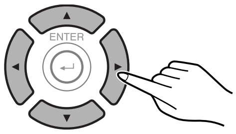


■ 休憩時間のカウントが始まります。



2 **▲ ▼ ◀ ▶ボタンで休憩時間の長さを調整する（▲ または▶で増える　▼または◀で減る）**

■ 設定は 1 分単位で設定できます。（最大 60 分）



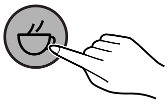
メモ

■ 休憩時間は「オープニング画面を選ぶ」で選択された項目（画面）の上に表示します。（80 ページ参照）

休憩時間表示を解除したいとき

1 **BREAK TIMER（休憩時間）ボタンを押す**

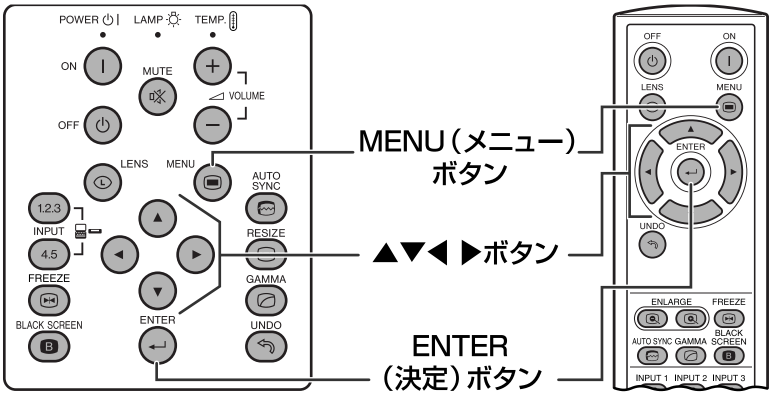
BREAK TIMER



調整内容を一覧表示する

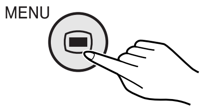
■この機能を使うと、調整したすべての設定内容をスクリーンに一度に表示することができます。

本体操作部　　**リモコン**

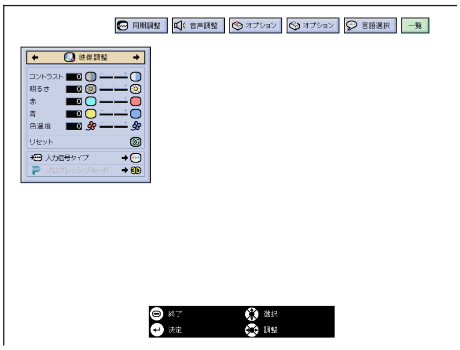


▼表示画面

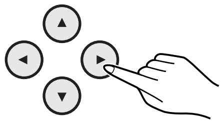
1 MENU（メニュー）ボタンを押す



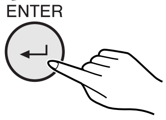
■ メニューバーと「映像調整」メニュー画面が表示されます。



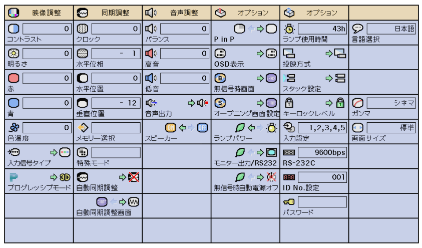
2 ◀または▶ボタンを押して、メニューバーの「一覧」を選ぶ



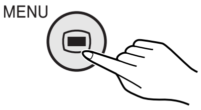
3 ENTER（決定）ボタンを押す



■ 調整した設定内容がすべて表示されます。

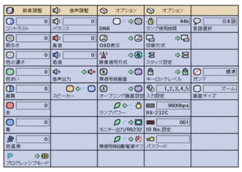


4 MENU（メニュー）ボタンを押して終了する



メモ

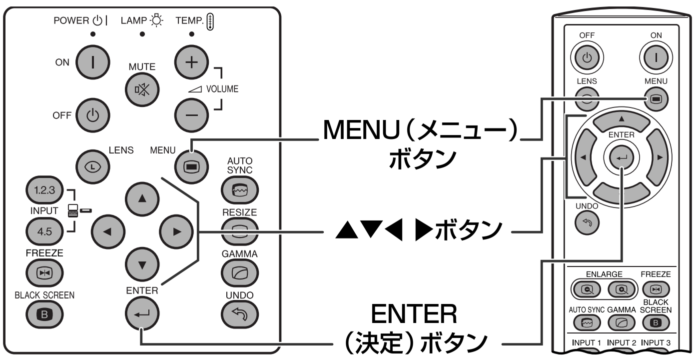
■ 左の例は、入力1、2、3モードのものです。入力4、5モードでは以下の内容が表示されます。



映像の左右反転／上下反転のしかた

■このプロジェクターは投映する環境に合わせて映像を左右反転・上下反転する機能を備えておりますので、いろいろな対応が可能です。

本体操作部　　**リモコン**

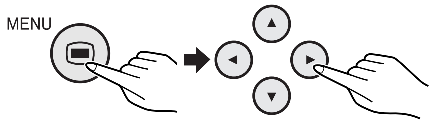


選 択 項 目	画　面
フロント	通常映像
天吊り	上下反転された映像
リア	左右反転された映像
天吊り＋リア	左右／上下反転された映像

▼表示画面

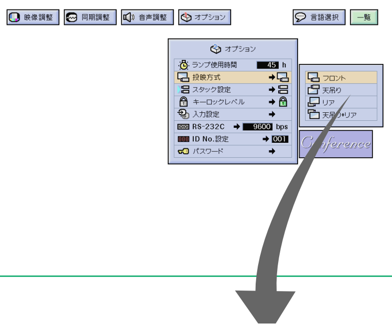
1 ① **MENU（メニュー）ボタンを押す**

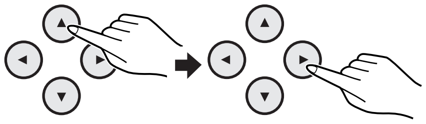
② **◀ または ▶ ボタンを押して、「オプション2」を選ぶ**



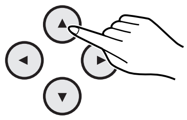
2 ① **▲ または ▼ ボタンを押して、「投映方式」を選ぶ**

② **▶ ボタンを押す**

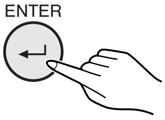


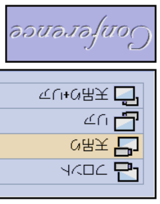


3 **▲ または ▼ ボタンを押して、投映方式を選ぶ**

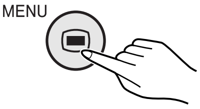


4 **ENTER（決定）ボタンを押して、設定する**



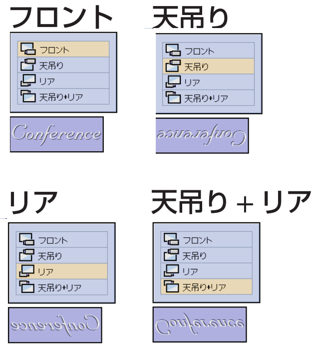


5 **MENU（メニュー）ボタンを押して終了する**



メモ

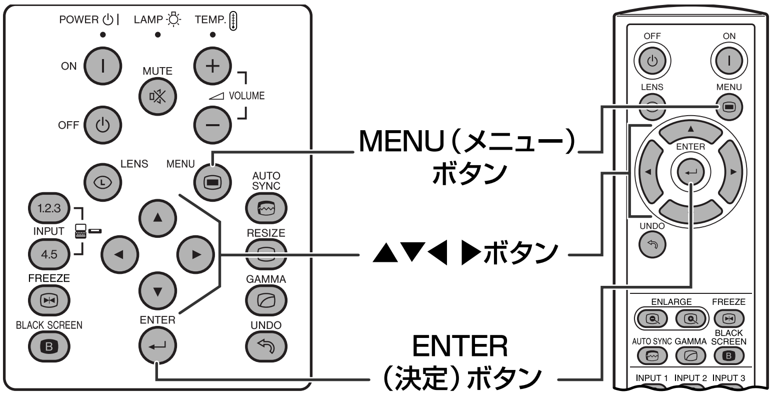
■この機能はプロジェクターを逆映像設定したり、天井に取り付ける場合に使用します。設置方法については24、129ページをご覧ください。



ネットワーク機能

IDナンバーを使って、複数のプロジェクターを管理する

■このプロジェクターは250台までのネットワークを構築することができます。それぞれのプロジェクターを個別に制御するため、IDナンバーを付けることができます。

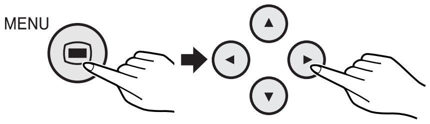


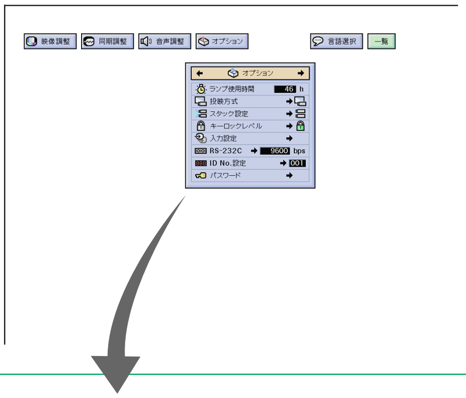
▼表示画面

1

① **MENU（メニュー）ボタンを押す**

② **◀ または ▶ ボタンを押して、「オプション2」を選ぶ**

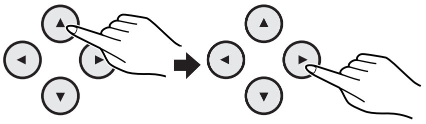




2

① **▲ または ▼ ボタンを押して、「ID No. 設定」を選ぶ（工場出荷時は001に設定されています）**

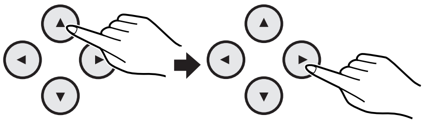
② **▶ ボタンを押す**



3

① **▲ または ▼ ボタンを押して、数字を選ぶ**

② **▶ ボタンを押して次の桁で同様に数字を入力する**



メモ

■ID ナンバーは001～250までセットできます。

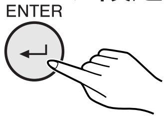
■パスワードが設定されている場合は、手順 2 でパスワードの入力欄が表示されます。パスワードを正しく入力しないとIDナンバーの設定はできません。

メモ

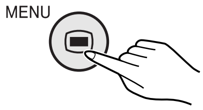
■手順 3 で設定したID No.を忘れないために、付属のID No. シールを使い、本体後面に貼り付けておくことをおすすめします。

つづく

4 **ENTER（決定）ボタンを押して、設定する**



5 **MENU（メニュー）ボタンを押して終了する**

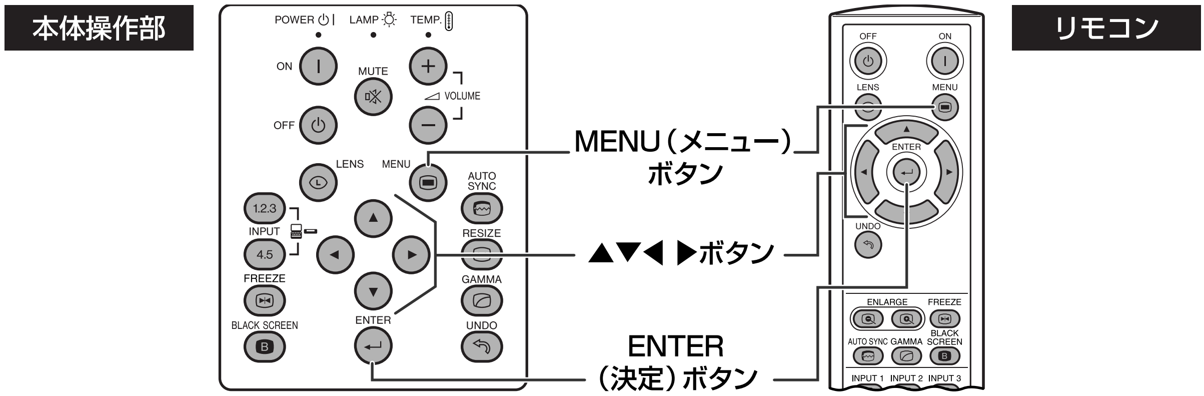


スタック設定を使用する

■2つのプロジェクターを組み合わせ、同じ画像を同時に投映することで2倍の明るさを得ることができます。
■スタック投映を行うには、2台のプロジェクター間をRS-232Cケーブルで接続し、1台をマスター（親機）、もう1台をスレーブ（子機）として割り当てます。

メモ

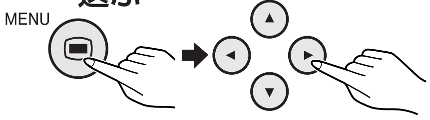
■マスターに設定したプロジェクターをリモコンで操作すると、スレーブに設定したプロジェクターへ操作信号がRS-232Cを経由して送信されます。そのため、1つのリモコンで2台のプロジェクターを一括コントロールすることができます。
■リモコンでコントロールできる機能については、99、103ページをご覧ください。

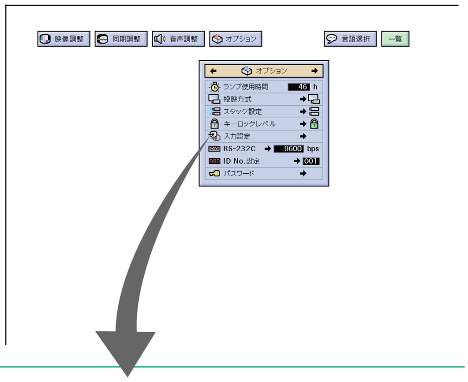


▼表示画面

1 ① **MENU（メニュー）ボタンを押す**

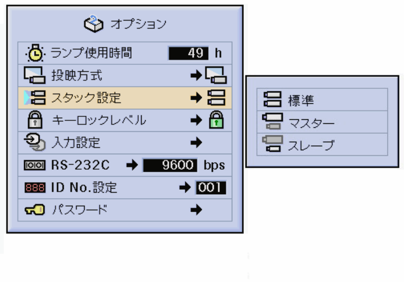
② **◀ または ▶ ボタンを押して、「オプション2」を選ぶ**

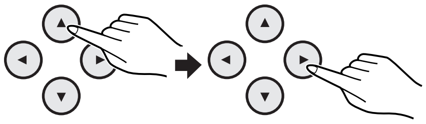




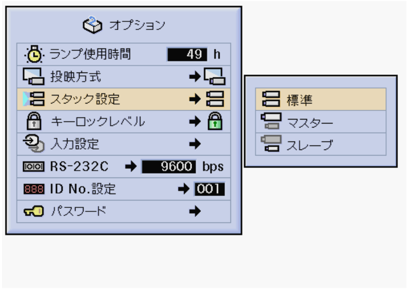
2 ① ▲または▼ボタンを押して、「スタック設定」を選ぶ（工場出荷時は標準に設定されています）

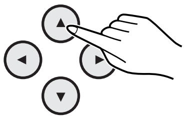
② ▶ボタンを押す



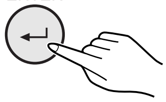


3 ▲または▼ボタンを押して、「標準」「マスター」「スレーブ」を選ぶ

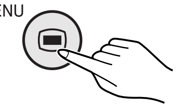




4 ENTER（決定）ボタンを押して、設定する



5 MENU（メニュー）ボタンを押して終了する



メモ

■ パスワードが設定されている場合は、手順 2 でパスワードの入力欄が表示されます。パスワードを正しく入力しないとスタック設定は設定できません。

■ スタック設定の際に、リモコンを使ってマスター（親機）からスレーブ（子機）をコントロールできるボタンは次のとおりです。

・電源 ON/OFF

・BLACK SCREEN（ブラックスクリーン）

・INPUT（入力切換）1～5

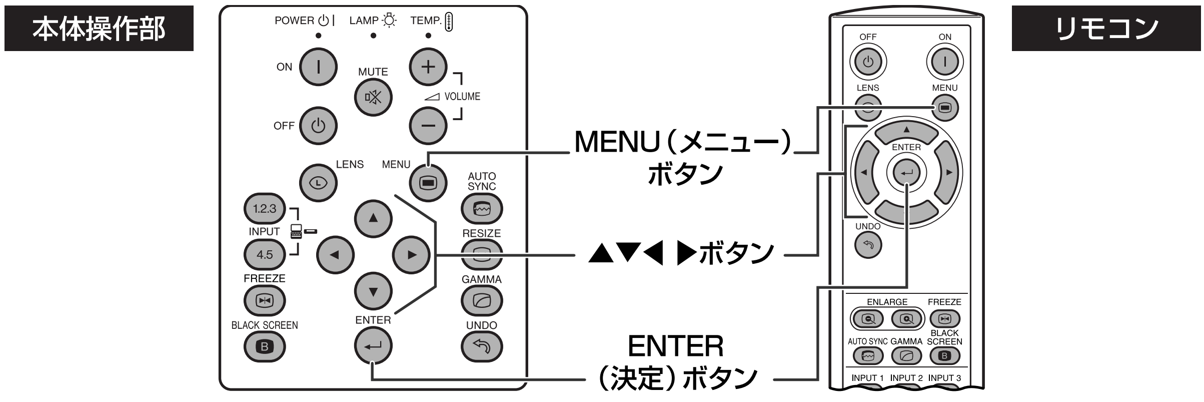
■ スレーブに設定したプロジェクターでは、リモコンの操作ボタンが働きません。

■ スレーブに設定したプロジェクターをリモコンで操作したいときは別売のリモコンケーブル（AN-RC30W）を使ってワイヤード接続して操作してください。

■ 本体の操作ボタンは、マスター（親機）、スレーブ（子機）それぞれの操作ボタンとなります。

ランプ使用時間を確認する

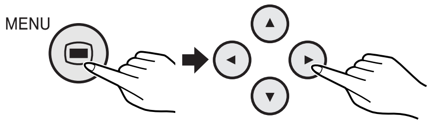
■ランプの使用時間が表示されます。

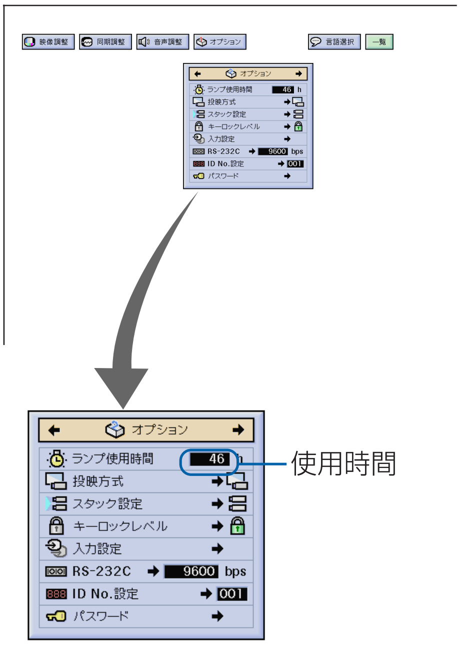


▼表示画面

1 ① **MENU（メニュー）ボタンを押す**

② **◀ または ▶ ボタンを押して、「オプション2」を選ぶ**



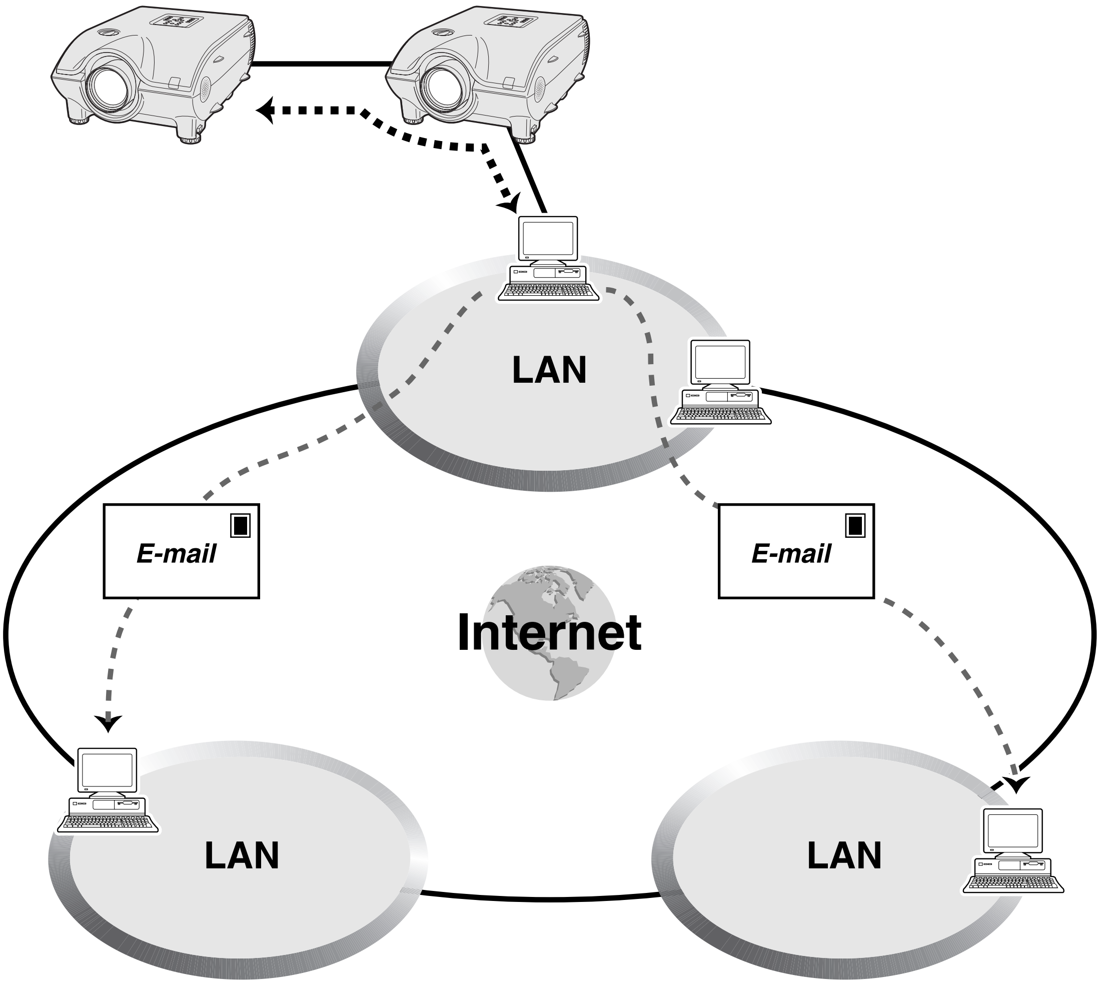


■ランプは約1400時間の使用で交換することをお奨めします。ランプの交換は、お買い上げの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口（126ページ）にお問い合わせください。

ネットワーク機能を使う

■このプロジェクターには次のような優れたネットワーク機能があります。
- 自己診断／定期診断機能と E-mail 発信機能
- 複数台コントロール／グループコントロール機能
- ビデオウォール機能やスタック機能

1 ランプ切れや、温度異常などの自己診断や定期的な状態確認ができるので、メンテナンスなどに有効活用できます。また、診断結果をE-mailで発信することもできます。

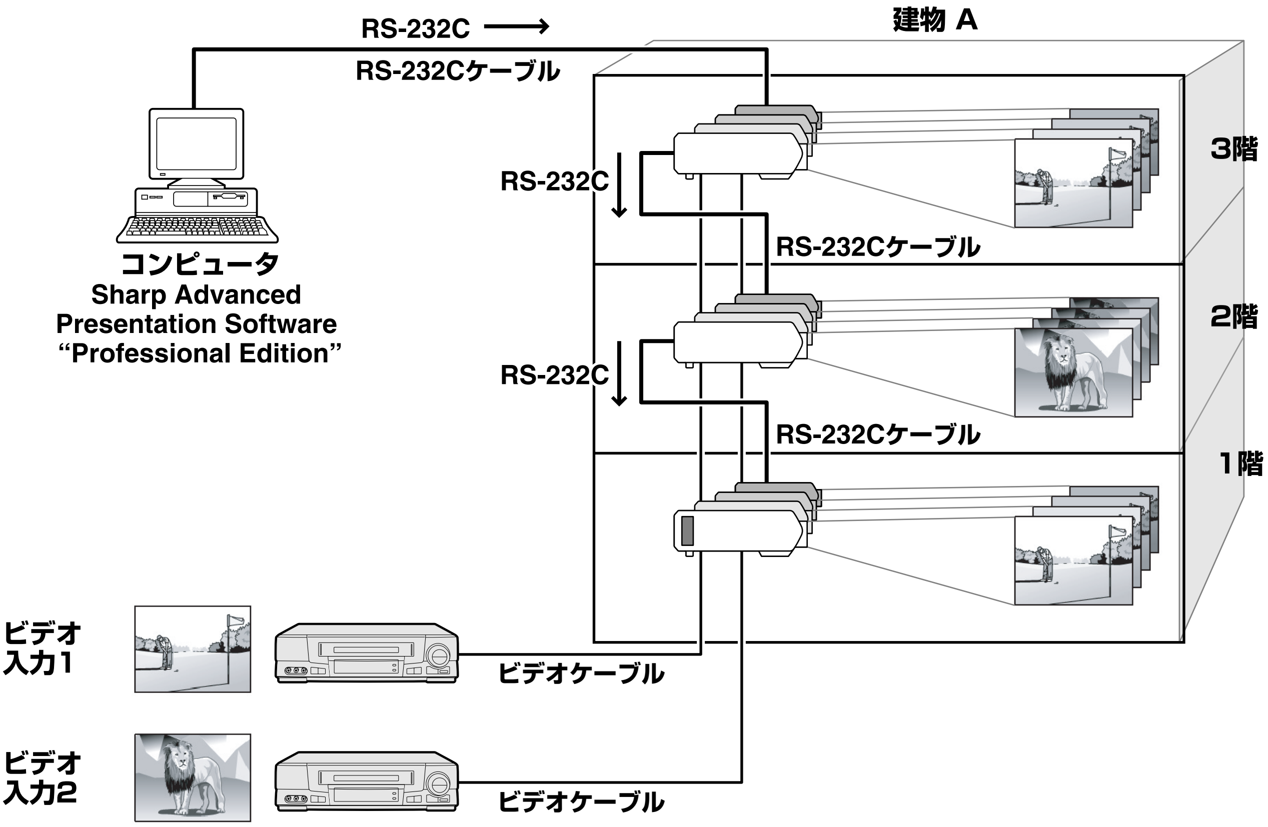


このプロジェクターは1台のパソコンで､Sharp Advanced Presentation Software（SAPS）“Professional Edition”を使用して、最大 250 台までを RS-232C 接続でコントロールすることができます。
デイジーチェーン（連鎖）接続用の RS-232C 出力端子をもっているため情報の受け渡しが可能です。

メモ
■ これらの機能について、くわしくは付属の CD-ROM に収録されている、Sharp Advanced Presentation Software（SAPS）の取扱説明書をご覧ください。

つづく

2 コンピュータによる複数台コントロール／グループコントロール



このプロジェクターは１台のパソコンで、Sharp Advanced Presentation Software(SAPS)“Professional Edition”を使用して、次のような使いかたができます。たとえば、

- 同じ会社の１階と３階でビデオ会議を行っているときに、２階でパソコンを使ったプレゼンテーションができます。
- 複数のプロジェクターの中で異なった時間に電源を切る(たとえば、1階と2階にあるプロジェクターの電源を１時間後に切り、３階にあるプロジェクターの電源を２時間後に切る)ことができます。

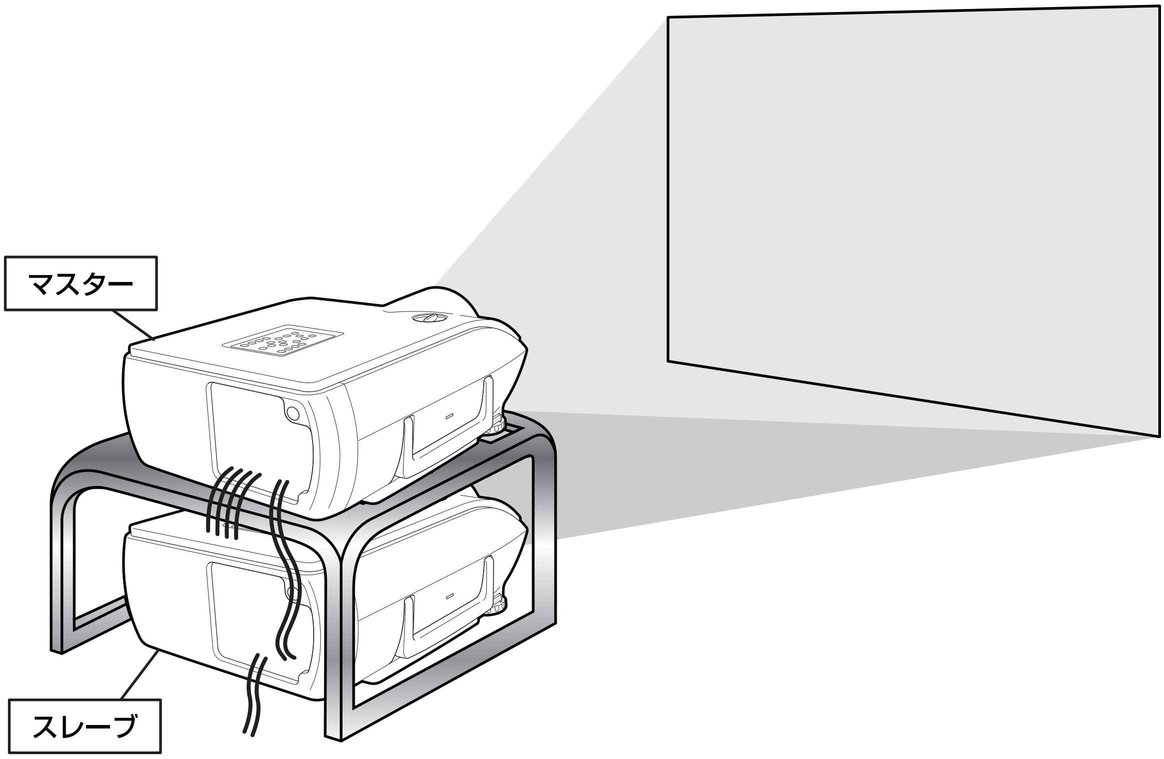
メモ

■ これらの機能について、くわしくは付属のCD-ROMに収録されている、Sharp Advanced Presentation Software (SAPS)の取扱説明書をご覧ください。

3 スタック機能やビデオウォール機能など、複数のプロジェクターを同時に操作します

スタック投映

■ 2つのプロジェクターを組み合わせて同じ画像を投映することで、投映画像の明るさが2倍になります。
■スタック投映を行うときは、2台のプロジェクター間をRS-232Cケーブルで接続し、1台をマスター(親機)、もう1台をスレーブ(子機)として割り当てます。
■スタック投映の設置手順は104ページをご覧ください。



お知らせ

■ マスターに設定したプロジェクターをリモコンで操作すると､スレーブに設定したプロジェクターへ操作信号がRS-232C経由で送信されますので､1つのリモコンで2台のプロジェクターを一括コントロールすることができます。
■ 一括コントロールできるリモコンの操作ボタンは次のボタンです。
・電源 ON
・電源 OFF
・BLACK SCREEN(ブラックスクリーン)
・INPUT(入力) 1 ー 5
これ以外のボタンは、マスター(親機)に設定されたプロジェクターの操作ボタンを使用します。
■ スレーブ(子機)に設定したプロジェクターは、リモコンで操作が行えません。
スレーブ(子機)に設定したプロジェクターをリモコンで操作したいときは、別売のリモコンケーブル(AN-RC30W)を使ってワイヤード接続してください。
■ 本体の操作ボタンは、マスター(親機)、スレーブ(子機)それぞれの操作ボタンとして働きます。

つづく

ネットワーク機能を使う(つづき)

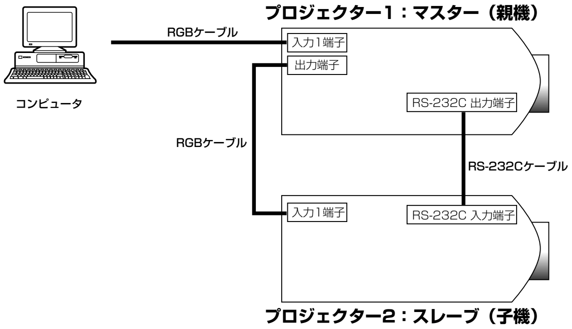
スタック投映の設置手順

基本編

コンピュータの画像を２台のプロジェクターを使用してスタック投映する場合の設置手順例です。

■ RS-232Cケーブル(クロスタイプ　市販または別売)で、マスタープロジェクターのRS-232C出力端子と、スレーブプロジェクターのRS-232C入力端子をつなぎます。

■ RS-232Cケーブルの推奨結線図は116ページをご覧ください。



1. プロジェクター１の「スタック設定」を「マスター」に設定する。
(くわしくは98ページの「スタック設定を使用する」をご覧ください。)

2. プロジェクター2の「スタック設定」を「スレーブ」に設定する。
(くわしくは98ページの「スタック設定を使用する」をご覧ください。)

3. プロジェクター1及び2のRS-232Cの通信速度を同じ値に設定する。
(くわしくは90ページの「RS-232Cの通信速度を設定する」をご覧ください。)

4. 「入力設定」を右のように設定する。
(くわしくは88ページの「使用しない入力モードを非選択の状態にする」をご覧ください。)

プロジェクター1

マスター	
入力設定	
入力1	ON
入力2	**OFF**
入力3	**OFF**
入力4	**OFF**
入力5	**OFF**

プロジェクター2

スレーブ	
入力設定	
入力1	ON
入力2	**OFF**
入力3	**OFF**
入力4	**OFF**
入力5	**OFF**

5. プロジェクターの電源を切る。

6. RGBケーブルを使用して、プロジェクター1の入力1端子とコンピュータのRGB出力端子を接続する。
(くわしくは26ページの「コンピュータを接続する」をご覧ください。)

7. RGBケーブルを使用して、プロジェクター1の出力端子とプロジェクター2の入力1端子を接続する。
(くわしくは32ページの「モニターへ接続する」をご覧ください。)

メモ

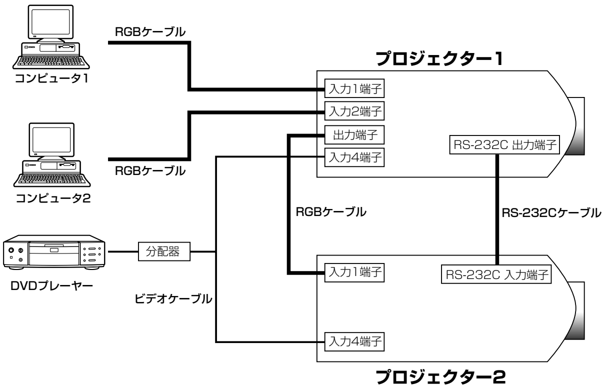
■ プロジェクター２にRGBケーブルを接続する際は、プロジェクター１で使用した入力端子と同じ番号の入力端子(この例では入力１端子)へ接続してください。

8. RS-232Cケーブルを使用して、プロジェクター１のRS-232C出力端子と、プロジェクター２のRS-232C入力端子を接続する。
(くわしくは29ページの「デイジーチェーン接続する」をご覧ください。)

9. プロジェクターの電源を入れ、続いてコンピュータの電源を入れる。

応用編

複数の映像ソースを入力する際は、下記例を参考に入力設定を行ってください。



プロジェクター1

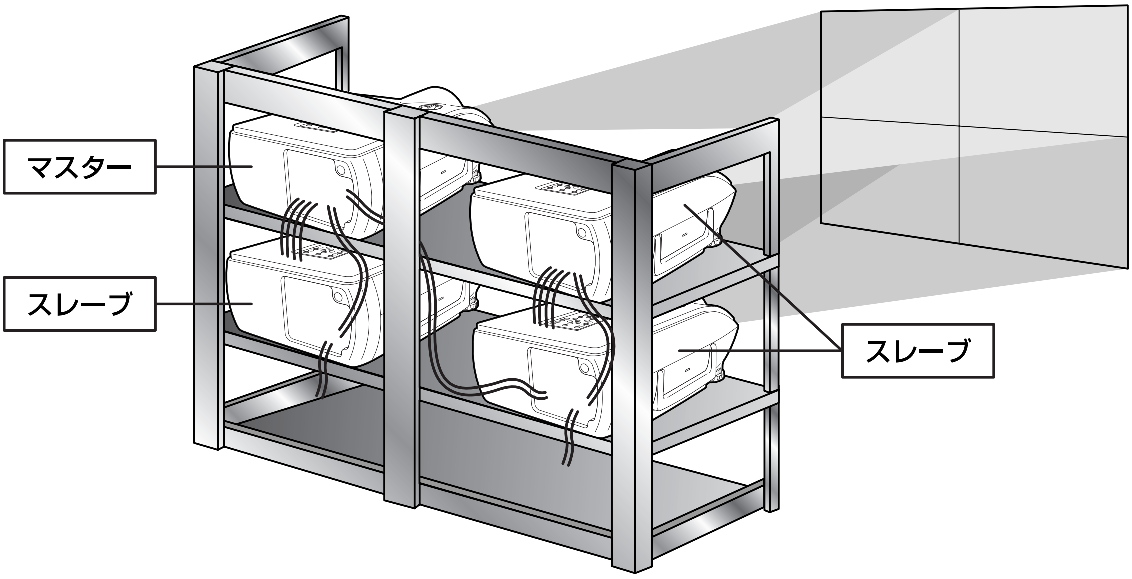
マスター	
入力設定	
入力1	ON
入力2	ON
入力3	**OFF**
入力4	ON
入力5	**OFF**

プロジェクター2

スレーブ	
入力設定	
入力1	ON
入力2	**OFF**
入力3	**OFF**
入力4	ON
入力5	**OFF**

ビデオウォール投映

■従来、ビデオウォールを構築するためには、高価な専用画像処理装置が必要でした。
本機は、簡易ビデオウォール機能を搭載しており、高価な装置を追加購入することなしにビデオウォールを構築できます。
■RS-232C出力端子を使うことで簡単にデイジーチェーン(連鎖)接続ができ、ビデオウォール機能の設定ができます。コントロールするパソコンに直接接続されているプロジェクターをマスターに設定して、その他のプロジェクターをスレーブに設定すると、より効果的に操作することができます。
■ビデオウォール投映の設置手順は 106 ページをご覧ください。



お知らせ
■設定にあたり、同梱のソフトウェア Sharp Advanced Presentation Software を使用します。あらかじめコンピュータへインストールを行ってください。
インストール方法の詳細は Sharp Advanced Presentation Software の取扱説明書をご覧ください。
■ビデオウォール投映が可能な解像度は、SXGA までです。
■この機能を使用する場合は、別売のビデオウォール用スタンドをご使用ください。
■映像信号をRGBケーブルやRCAケーブルでデイジーチェーン(連鎖)接続された複数のプロジェクターを経由して入力すると、画質が劣化する可能性があります。

メモ
■ これらの機能について、くわしくは付属の CD-ROM に収録されている、Sharp Advanced Presentation Software (SAPS)の取扱説明書をご覧ください。

ネットワーク機能を使う(つづき)

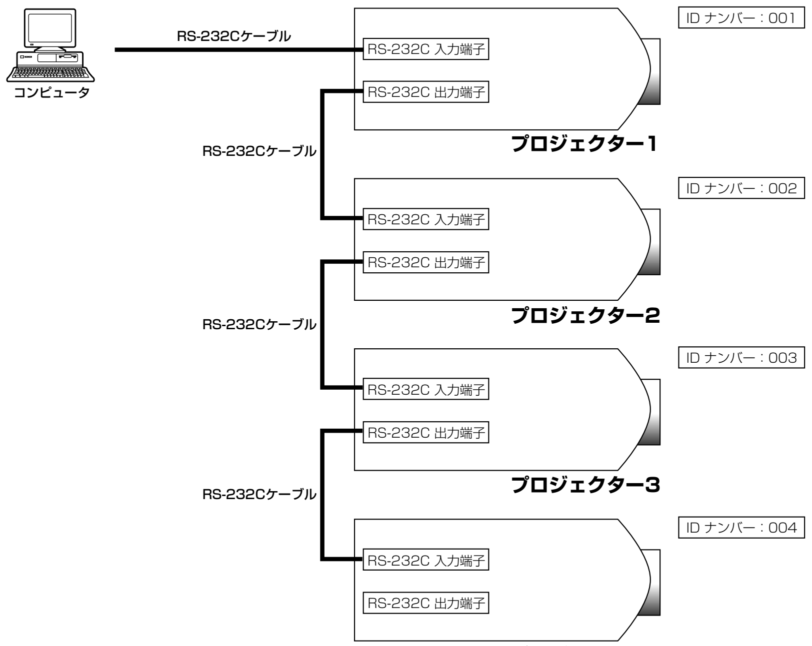
ビデオウォール投映の設置手順

基本編

4台のプロジェクターを使用した2×2のビデオウォールを構築する際の設置手順例です。

■ RS-232Cケーブル(メス－メス、クロスタイプ、市販または別売)でパソコンのRS-232C出力端子とマスター(親機)に設定するプロジェクターのRS-232C入力端子を接続します。その後、マスタープロジェクターのRS-232C出力端子と、スレーブプロジェクターのRS-232C入力端子を接続します。残りのスレーブプロジェクターを同様にデイジーチェーン(連鎖)接続します。

■ RS-232Cケーブルの推奨結線図は116ページをご覧ください。



1. 全てのプロジェクターのRS-232Cの通信速度を同じ値に設定する。
   (くわしくは90ページの「RS-232Cの通信速度を設定する」をご覧ください。)
2. 各プロジェクターのIDナンバーを設定する。
   (くわしくは97ページの「IDナンバーを使って、複数のプロジェクターを管理する」をご覧ください。)
3. 全てのプロジェクターの電源を切る。
4. Sharp Advanced Presentation Softwareをインストール済みのコンピュータと、プロジェクター1～プロジェクター4を、RS-232Cケーブルを使用して上図のように接続する。
   (くわしくは29ページの「シリアル(RS-232C)端子へ接続する」および「デイジーチェーン接続する」をご覧ください。)
5. コンピュータの電源を入れ、Sharp Advanced Presentation Softwareを起動する。
6. 「操作台数設定」で「プロジェクター複数台操作」を選び、「ID番号を使用する」に設定する。
   (くわしくはSharp Advanced Presentation Softwareの取扱説明書をご参照ください。)
7. 「スキャン設定」で、スキャンを実行する。
   接続したプロジェクターが正しく接続・設定されていれば全てのプロジェクターが認識されます。認識されない場合は、接続・設定を確認してください。
   (くわしくはSharp Advanced Presentation Softwareの取扱説明書をご参照ください。)
8. 「複数台コントロール」ウインドウにて、電源「入」をクリックする。
   (くわしくはSharp Advanced Presentation Softwareの取扱説明書をご参照ください。)
9. 「グループ設定」で、プロジェクターをグループ化する。
10. ビデオウォール設定」で、ビデオウォールの設定を行う。
    (くわしくはSharp Advanced Presentation Softwareの取扱説明書をご参照ください。)

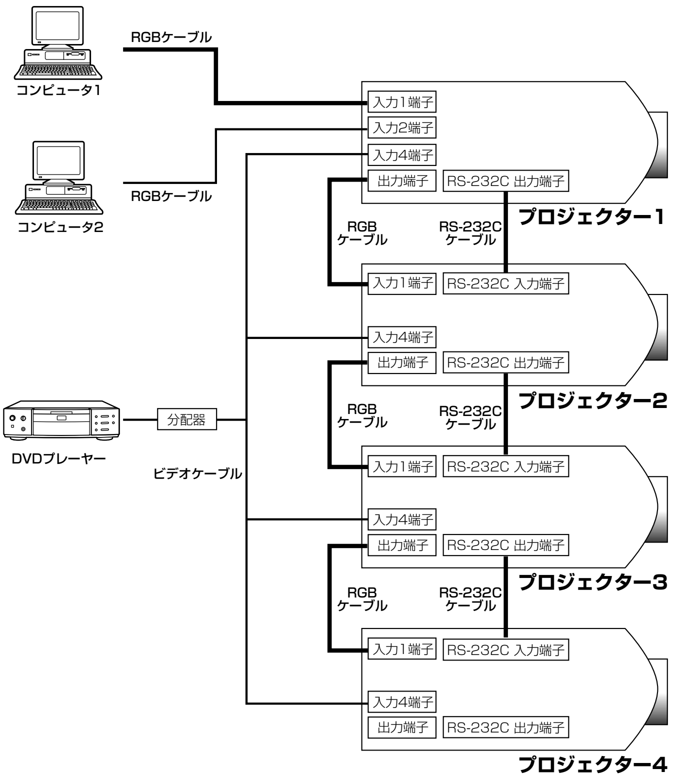
以上の手順でビデオウォールの設定は完了です。
全てのプロジェクターへ同一の映像信号を入力すれば、ビデオウォール投映されます。

応用編

■ ビデオウォール投映する際、スタック設定機能や入力設定機能を併用することにより、1台のリモコンでビデオウォールを一括コントロールすることが可能です。
前述の基本編で構築したビデオウォールへ下図のように映像信号を入力する際の接続手順例を示します。

メモ

■ あらかじめ基本編の設定を行ってから下記接続手順を行ってください。



1. 各プロジェクターの入力設定を、下記のように設定する。

プロジェクター1

マスター	
入力設定	
入力1	ON
入力2	ON
入力3	**OFF**
入力4	ON
入力5	**OFF**

プロジェクター2

スレーブ	
入力設定	
入力1	ON
入力2	**OFF**
入力3	**OFF**
入力4	ON
入力5	**OFF**

メモ

■ 使用する入力端子はON に設定し、使用しない入力端子はOFF に設定してください。
（くわしくは88ページの「使用しない入力モードを非選択の状態にする」 をご覧ください。）

2. 各プロジェクターのスタック設定を下記のように設定する。
（くわしくは 98 ページの「スタック設定を使用する」をご覧ください。）

プロジェクター1

スタック設定
マスター

プロジェクター2

スタック設定
スレーブ

3. プロジェクターの電源を切る。
4. 上図に従って、各機器を接続する。
5. プロジェクターの電源を入れ、続いて各映像機器の電源を入れる。

メモ

■ デイジーチェーン（連鎖）接続を行う際、映像信号が複数のプロジェクターに入力されるため、映像が劣化する場合があります。

PDF取扱説明書の見かた(Windows, Macintosh)

■本機に付属のCD-ROMには、プロジェクターコントロールソフトウェア「Sharp Advanced Presentation Software(SAPS)」及び取扱説明書が収録されています。
■このPDF取扱説明書を見るためには、Adobe社のAcrobat Reader4.0以降が必要です。お持ちのコンピュータにAcrobat Reader4.0J以降がインストールされていない場合は、付属のCD-ROMからインストールすることができます。

Acrobat Readerを付属のCD-ROMからインストールする

Windowsコンピュータの場合

1. CD-ROMをCD-ROMドライブに入れる。
2. "マイ コンピュータ"アイコンをダブルクリックする。
3. "CD-ROM"ドライブをダブルクリックする。
4. "ACROBAT"フォルダをダブルクリックする。
5. "JAPANESE"フォルダをダブルクリックする。
6. インストールプログラムをダブルクリックし、画面の指示に従ってインストールする。

その他のオペレーティングシステムをご使用の場合

インターネット(http://www.adobe.co.jp)から、最新のAcrobat Readerをダウンロードしてください。

PDF取扱説明書にアクセスする

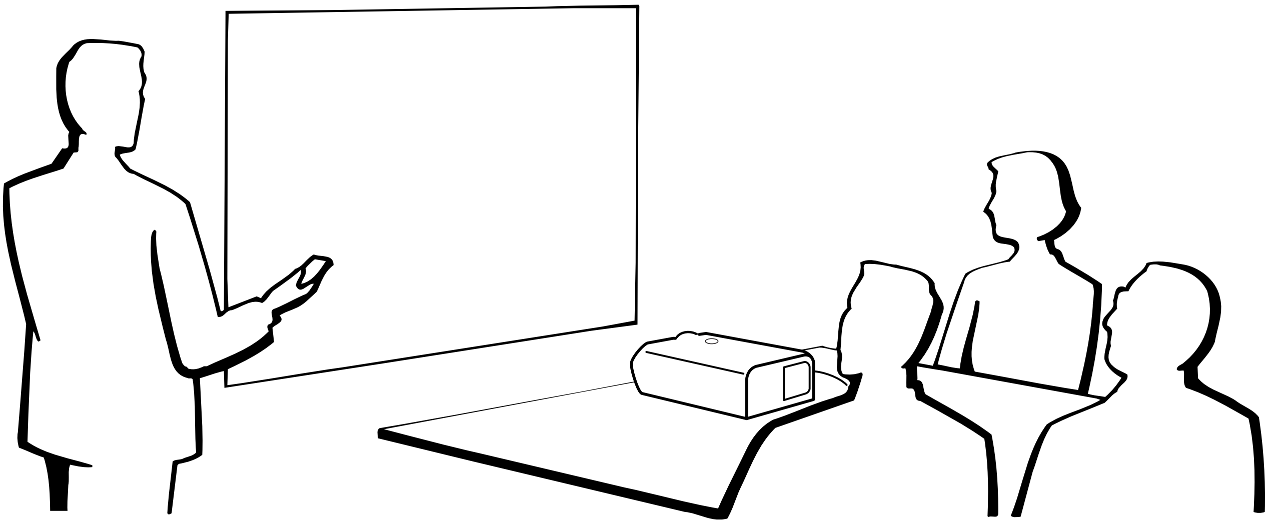
Windowsコンピュータの場合

1. CD-ROMをCD-ROMドライブに入れる。
2. "マイ コンピュータ"アイコンをダブルクリックする。
3. "CD-ROM"ドライブをダブルクリックする。
4. "MANUALS"フォルダをダブルクリックする。
5. "JAPANESE"フォルダをダブルクリックする。
6. "**SAPS_J.pdf**"ファイルをダブルクリックする

お知らせ

■マウスを使ってダブルクリックしてもPDFファイルを開くことができない場合は、Acrobat Readerをまず起動させてから、"ファイル""開く"メニューを使ってPDFファイルを開いてください。
■CD-ROMに保存されているREADME.txtファイルには、この取扱説明書に含まれていない重要な情報がありますので、必ずお読みください。

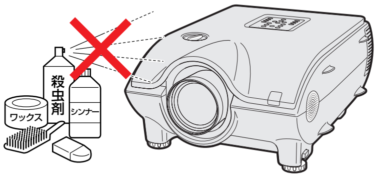
付録



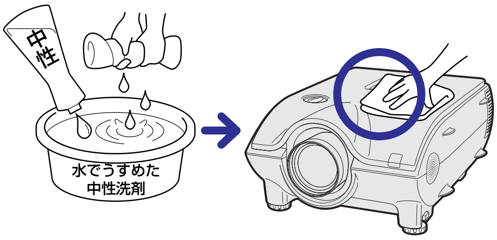
お手入れのしかた

キャビネットの手入れのしかた

■ キャビネットを手入れするときは、必ず電源コードを抜いて行ってください。
■ キャビネットや操作パネル部分にはプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどでふいたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。
■ 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。
また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。
プラスチックのなかに含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

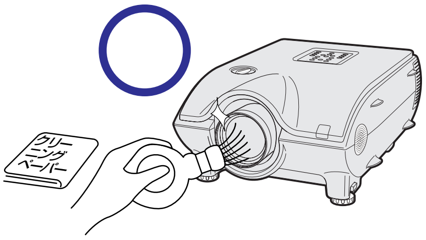


■ 汚れはネルなど柔らかい布で軽くふきとってください。
■ 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
強力な洗剤を使用した場合、変色、変質、塗料がはげる場合があります。目立たない場所で試してから、お手入れすることをおすすめします。



レンズの手入れのしかた

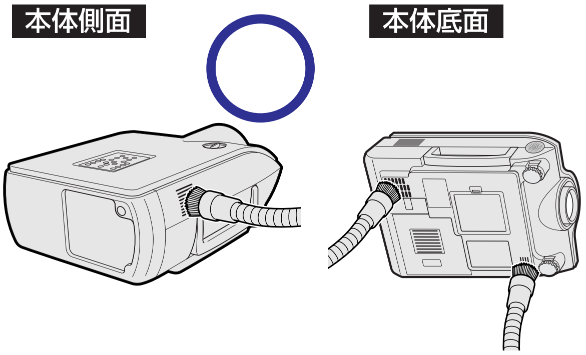
■ レンズの清掃は、市販のブロワーやレンズクリーニングペーパー(メガネやカメラなどの清掃に使用)で行ってください。この際、液状のクリーニング剤は使用しないでください。表面のコーティング膜がはがれる原因となります。
■ 表面は傷つきやすいのでこすったり、たたいたりしないでください。



フィルター部(固定)の手入れのしかた

■ フィルター部(固定)の清掃は、掃除機でゴミ、ホコリを吸い取ってください。

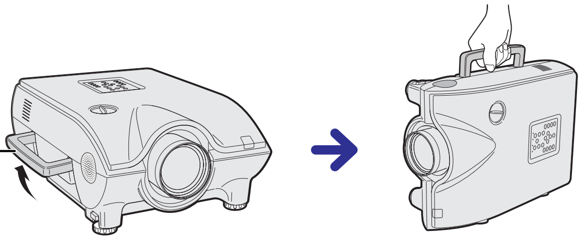
本体側面　本体底面



持ち運ぶときは

■ プロジェクターを持ち運ぶときは、側面についているキャリングハンドルを持って運んでください。

キャリングハンドル

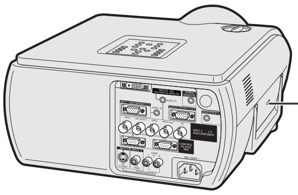


お知らせ

■ プロジェクターを持ち運ぶときは、レンズを保護するため、必ずレンズキャップを付けてください。
■ レンズやレンズキャップを持ってプロジェクター持ち上げたり、持ち運んだりしないでください。レンズが破損する恐れがあります。

盗難防止用コネクターについて

市販の盗難防止用ケーブル(Kensington社製)などを接続することができます。



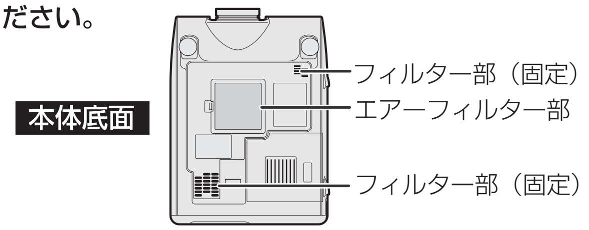
盗難防止用コネクター
(Kensington Security Standard connector)

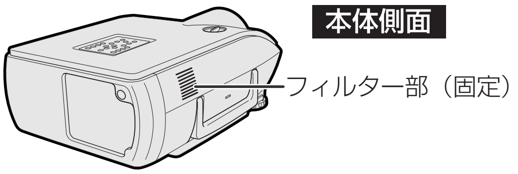
メモ

■ 盗難防止用コネクターは、Kensington 社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。日本国内総販売代理店の連絡先は、以下のとおりです。
日本ポラロイド株式会社　電子映像グループ
〒105-8456　東京都港区虎ノ門3丁目2番2号　第30森ビル　Tel：03-3438-8879　Fax：03-5473-1630

エアーフィルターのお手入れ

■エアーフィルターは、約 100 時間使用毎を目安に掃除を行ってください。特にほこりやタバコの煙の多いところでは、こまめに掃除を行うようにしてください。
■エアーフィルターのほこりが落ちなくなりましたら、フィルターの交換時期です。付属のエアーフィルターと交換してください。

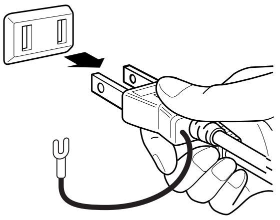




底面エアーフィルターの掃除または交換

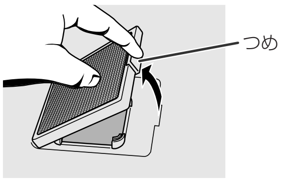
1 電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

■ アース線の取り外しは、必ず電源プラグをコンセントから抜いた後、行ってください。



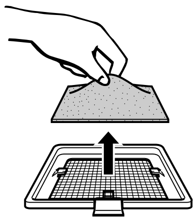
2 フィルターカバーを外す

■ 矢印の方向にフィルターカバーのつめを押しながら上に引いて、取り外します。



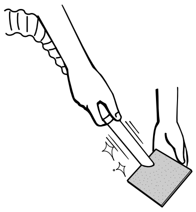
3 エアーフィルターを外す

■ エアーフィルターをつまんで外します。



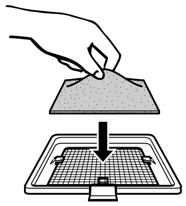
4 エアーフィルターを掃除（交換）する

■ 掃除機でフィルターおよびカバーのほこりを吸い取ります。



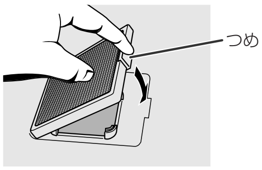
5 エアーフィルターを取り付ける

■ エアーフィルターを元どおりに取り付けます。



6 フィルターカバーを取り付ける

■ フィルターカバーのつめを本体側の溝にさし込み、閉じます。



お知らせ

■ プロジェクターの動作中にエアーフィルターの掃除または交換を行う場合は、OFF(電源切)ボタンを押して電源を切った後、冷却ファンが止まるのを待ってから行ってください。
■ 電源を切った後、冷却ファンが動作している間(約90秒間)は、電源プラグを抜いたりしないでください。

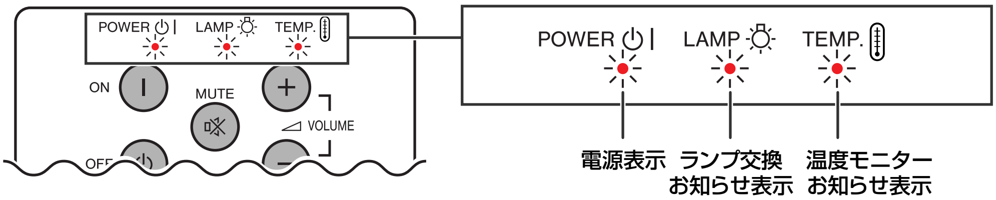
メモ

■ **フィルターカバーは、確実に取り付けてください。確実に取り付けないと、電源が入らないようになっています。**
電源を入れようとしたときに、電源表示が赤で点滅します。

■ エアーフィルターをご購入の際は、販売店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。
■ フィルター部(固定)は、取り外すことができません。ゴミ、ホコリが付着したときは、掃除機で吸い取ってください。

お知らせ表示について

■本機では、内部の異常をお知らせ表示が点灯してお知らせします。
■お知らせ表示には温度モニターお知らせ表示とランプ交換お知らせ表示があります。
■内部に異常が生じると、その異常の現象によって、温度表示もしくはランプ交換お知らせ表示が赤色に点灯し電源が切れます。以下の処置を行ってください。



温度モニター機能について

設置状況やエアーフィルターのめづまり等により内部温度が高温になると、画面左下に“温度”が点滅します。さらに温度が上昇すると、ランプが消灯し温度表示が点滅、90秒のファン冷却後電源が切れます。“温度”の表示が出た時点で下の表の内容に従い処置をしてください。

ランプ交換お知らせ機能について

■ランプの総使用時間が1,400時間を越えると、画面に黄色で“ランプ”が表示され、1,500時間になると“ランプ”表示が赤になり、自動的にランプ(光源)が消灯し、電源が切れます。このとき、ランプ交換お知らせ表示が赤色点灯します。
■ランプを交換せずに電源を入れ直すと、4回目からは電源が入らなくなりますのでご注意ください。

お知らせランプ	正常	異常	現象	考えられる原因	処置のしかた
温度モニターお知らせ表示	消灯	赤色点灯 電源・切	内部温度が高温になっている。	●通風口がふさがれている	●正しい設置場所に設置してください。
				●エアーフィルターのめづまり	●111ページの手順に従ってフィルターの手入れをしてください。
				●冷却ファンの故障 ●内部回路の故障 ●内部エアーフィルターのめづまり	●販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口に修理を依頼してください。
ランプ交換お知らせ表示	緑色点灯 (緑色点滅は光源起動中)	赤色点灯 電源・切	ランプが点灯しない	●ランプが切れた ●ランプ点灯回路故障	●ランプの交換または修理を販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。 ●ランプを変換するときは、注意して行って下さい。
		赤色点滅	ランプ交換時期	●ランプの使用時間が1400時間を超えた	
電源表示	赤/緑色点灯	赤色点滅	光源(ランプ)が点灯しない	●エアーフィルターカバーが外れている ●レンズカバーが外れている	●111ページの❻を行い、フィルターカバーを確実に取り付けてください。 ●レンズカバーを確実に取り付けてください。

お知らせ

■温度モニターお知らせ表示が点灯し、電源が切れ、上記の処置を行った後、再度電源を入れる場合は、内部温度が十分に下がるまで待ち、電源プラグをいったんコンセントから抜いて電源を入れ直してください。(約5分以上)
■一般の停電などで、電源が切れた直後に電源が入った場合、ランプ交換お知らせ表示が赤色点灯し電源が入らなくなることがあります。このときは、電源プラグをいったんコンセントから抜いて、電源を入れ直してください。
■プロジェクターの動作中にエアーフィルターの掃除または交換を行う場合は、OFF(電源切)ボタンを押して電源を切った後、冷却ファンが止まるのを待ってから行ってください。
■電源を切った後、冷却ファンが動作している間(約90秒間)は、電源プラグを抜いたりしないでください。

ランプについて

ランプについて

■光源として使われているランプは消耗品です。ランプの平均寿命は約 1,500 時間(のべ使用時間)です。1,400 時間を超えたら、なるべく早めに新しいランプ(別売)と交換してください。1,400 時間を超えなくても使用中にランプが切れることがありますので、映像が暗くなったり、色あいが悪くなったりした場合は、早めに新しいランプと交換してください。ランプの総使用時間は画面表示で確認できます。(100 ページ参照)

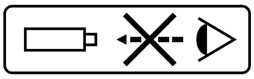
■ランプの保証期間は、6 ヶ月 1,000 時間以内です。6 ヶ月以内でも 1,000 時間を超えたり、1,000 時間以内でも 6 ヶ月を過ぎたときは、保証の対象となりませんのでご注意ください。

■ランプ(別売)は、シャープエンジニアリング(株)の製品です。

■ランプの取り替えは、お買い上げの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口(126 ページ)にお問い合わせください。

メモ ■プロジェクターの使用環境によっては、ランプの寿命は 1,500 時間以下になることがあります。

⚠ **警告** ■ランプの強い光は視力障害などの原因となります。プロジェクターが作動しているときは、プロジェクターのレンズや強い光が出ているすき間をのぞきこまないでください。



ランプ使用上のご注意

■プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプが使われています。当ランプは衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりする特性があります。
また、当ランプは、個体差や使用条件によって破裂や不点灯にいたるまでの時間に大きな差があります。

■「ランプ交換お知らせ表示」が点灯した場合は、ランプが正常に点灯している状態でも、すみやかに新しいランプと交換してください。

■当ランプが破裂したときは、プロジェクター内部にガラス片が散乱している可能性がありますので、サービスマンまたは販売店にランプの交換と内部の点検を依頼してください。

⚠ **警告**

■当ランプが破裂したとき、ランプハウスにガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部のガスがプロジェクターの排気口から出たりすることがあります。当ランプ内部のガスには水銀が含まれていますので破裂した場合は十分な換気をしてください。万一吸い込んだり、目や口に入った場合には、すみやかに医師にご相談ください。

ランプを交換する

⚠ **警告**

■ランプ交換ユニットは、操作直後にプロジェクターから取り外さないでください。ランプが高温になっていることがあり、やけどの原因となります。

■ランプ交換ユニットを取り外すときは、電源コードを抜いて少なくとも 1 時間以上放置し、ランプ交換ユニットの表面が完全に冷めたことを確認してから行ってください。

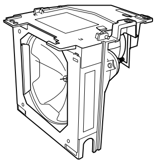
■新しいランプ交換ユニットに交換後、ランプが点灯しない場合には、お近くの販売店にご連絡ください。ＢＱＣ－ＸＧＰ２５Ｘ／／１に対応したランプ交換ユニットをお近くの販売店でご購入ください。なおランプ交換は、お客様のご希望によりお近くの販売店で行うことも可能です。

■廃棄の方法について
このプロジェクターに使用している高輝度放電ランプ(HID ランプ)は、微量な水銀を含有しています。これらの含有物は、環境考慮の観点から法的に規制されている場合があります。廃棄やリサイクルについては、関連法規およびお住まいの地域の条例などに従って処理してください。

ランプ交換ユニットの取り外しと取り付け

■取っ手をつかんで、ランプ交換ユニットを取り外してください。ランプ交換ユニットのガラス表面やプロジェクター本体の内部には触れないでください。
■けがやランプの破損を防ぐため、下記の手順にそって作業を行ってください。
■ランプ交換ユニットカバー以外のネジは絶対に外さないでください。

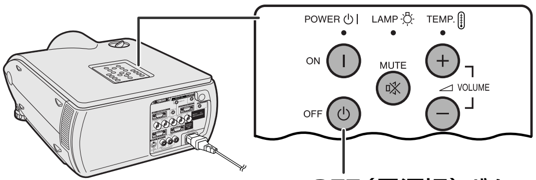
ランプ交換ユニット



部品コード
BQC-XGP25X//1
流通コード
006 626 0302

1 本体の⏻(電源切)を押しプロジェクターの電源を切る

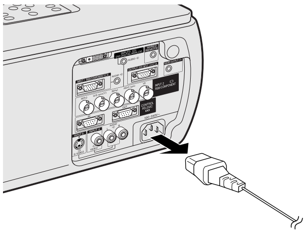
■ 冷却ファンが止まるまで待ちます。



OFF(電源切)ボタン

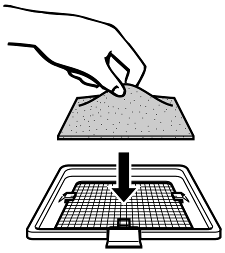
2 電源コードをプロジェクターから取り外す

■ 電源コードをACソケットよりはずします。
■ ランプ交換ユニットが十分冷えるまで(約1時間)放置します。



3 ランプ交換ユニットに付属しているエアーフィルターと交換する

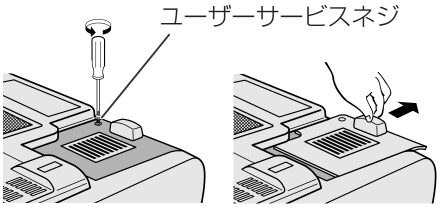
■ エアーフィルターの交換のしかたは111ページをご覧ください。



4 ランプ交換ユニットカバーを取り外す

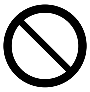
■ プロジェクターを裏返しにして、ランプ交換ユニットカバーを固定しているユーザーサービスネジをゆるめます。その後、矢印の方向にカバーをスライドさせます。

ユーザーサービスネジ



⚠ 警告

■ ランプ交換ユニットは、操作直後にプロジェクターから取り外さないでください。ランプが高温になっていることがあり、やけどの原因となります。

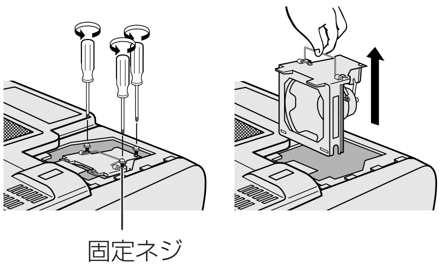


お知らせ

■ ランプを交換する際には、エアーフィルターも必ず交換してください。エアーフィルターは、ランプ交換ユニットに同梱されています。エアーフィルターの交換については111ページをご参照ください。

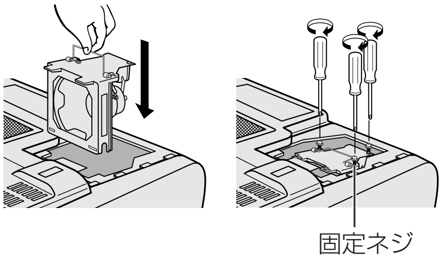
5 ランプ交換ユニットを取り外す

■ 固定ネジをランプ交換ユニットから取り外します。取っ手をつかみ、ランプ交換ユニットを矢印の方向に引き出します。



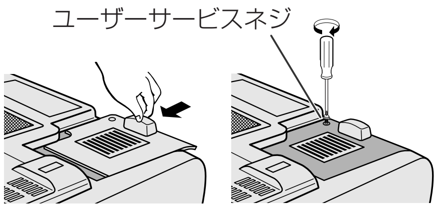
6 新しいランプ交換ユニットを挿入する

■ ランプ交換ユニットをしっかりとランプ交換ユニット収納部に押し込みます。固定ネジをしめます。



7 ランプ交換ユニットカバーを取り付ける

■ 矢印の方向にランプ交換ユニットカバーをスライドさせます。その後、ユーザーサービスネジをしめます。



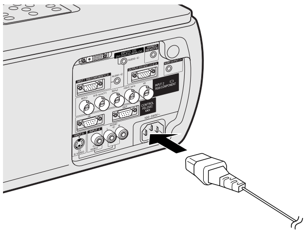
メモ
■ ランプ交換ユニットカバーが正しく取り付けられていないと、本体の電源コードを接続しても、電源が入りません。

ランプ使用時間(タイマー)をリセットする

■ランプ交換を行ったときは、必ずランプ使用時間(タイマー)をリセットしてください。

1 電源コードをプロジェクターに接続する

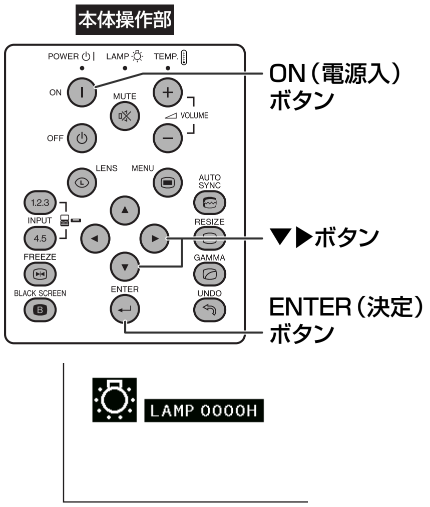
■ 電源コードをプロジェクターのＡＣ電源ソケットに接続します。



2 ランプ使用時間タイマーをリセットする

■ プロジェクター本体の▼、▶、ENTER を３つ同時に押しながら、Ⓘ(電源入)を押します。

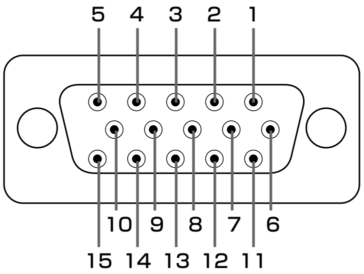
■ ランプ使用時間(タイマー)がリセットされ、「LAMP 0000H」が表示されます。



メモ
■ ランプ使用時間のリセットは、ランプ交換時以外は行わないでください。リセットをして規定時間以上ランプを使用すると破裂や故障の原因となります。

本体のコネクタのピン配置

コンピュータRGB入力端子(IN1)、コンピュータRGB出力端子(IN1, 2用)
15ピンミニD-subコネクタ（メス）



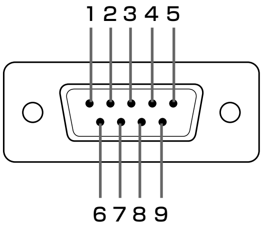
・RGB入力

ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1.	映像入力（赤）	8.	接地（映像青）
2.	映像入力（緑）/グリーンオンシンク	9.	NC
3.	映像入力（青）	10.	接地
4.	予備入力	11.	接地
5.	複合同期信号	12.	データ
6.	接地（映像赤）	13.	水平同期信号
7.	接地（映像緑）/グリーンオンシンク	14.	垂直同期信号
		15.	クロック

・コンポーネント入力

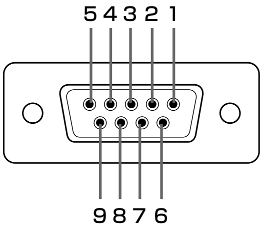
ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1.	映像入力PR（CR）	8.	接地（PB）
2.	映像入力Y	9.	NC
3.	映像入力PB（CB）	10.	NC
4.	NC	11.	NC
5.	NC	12.	NC
6.	接地（PR）	13.	NC
7.	接地（Y）	14.	NC
		15.	NC

RS-232C入出力端子：9ピンD-subコネクタ（オス）



ピン番号	信号	信号名	I/O	備考
1	CD			NC
2	RD	受信データ	入力	内部回路に接続
3	SD	送信データ	出力	内部回路に接続
4	ER			NC
5	SG	接地		内部回路に接続
6	DR	データセットレディ		NC
7	RS	送信要求	出力	内部回路に接続
8	CS	送信可	入力	内部回路に接続
9	CI			NC

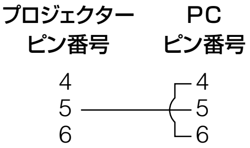
RS-232Cケーブル推奨結線図：9ピンD-subコネクタ（メス）



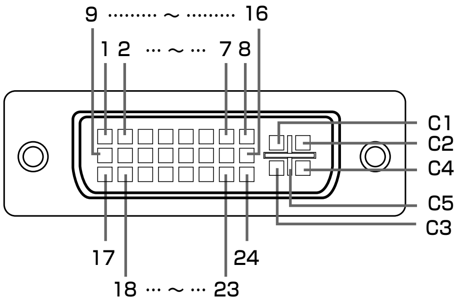
ピン番号	信号	ピン番号	信号
1	CD	1	CD
2	RD	2	RD
3	SD	3	SD
4	ER	4	ER
5	SG	5	SG
6	DR	6	DR
7	RS	7	RS
8	CS	8	CS
9	CI	9	CI

メモ

■ お客様のシステム構成（4ピンの入力を検知している場合）によっては、コントロール側（パソコンなど）の4ピンと6ピンを接続する必要があります。



DVIデジタル/アナログ入力端子（IN3）



DVIデジタル入力

ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	T.M.D.S. データ 2-	17	T.M.D.S. データ 0-
2	T.M.D.S. データ 2+	18	T.M.D.S. データ 0+
3	T.M.D.S. データ 2/4 シールド	19	T.M.D.S. データ 0/5シールド
4	T.M.D.S. データ 4-	20	T.M.D.S. データ 5- *3
5	T.M.D.S. データ 4+	21	T.M.D.S. データ 5+ *3
6	DDCクロック	22	T.M.D.S. クロックシールド
7	DDCデータ	23	T.M.D.S. クロック+
8	アナログ垂直同期	24	T.M.D.S. クロック-
9	T.M.D.S. データ 1-	C1	アナログ（赤）
10	T.M.D.S. データ 1+	C2	アナログ（緑）
11	T.M.D.S. データ 1/3シールド	C3	アナログ（青）
12	T.M.D.S. データ 3- *3	C4	アナログ水平同期
13	T.M.D.S. データ 3+ *3	C5	アナログ接地 *2
14	+5V　電源		
15	接地 *1		
16	ホットプラグ検出		

DVIアナログ（RGB入力）

ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	NC	17	ホットプラグ検出
2	NC	18	NC
3	NC	19	NC
4	NC	20	NC
5	NC	21	NC
6	DDCクロック	22	NC
7	DDCデータ	23	NC
8	アナログ垂直同期	24	NC
9	NC	C1	映像（赤）
10	NC	C2	映像（緑）
11	NC	C3	映像（青）
12	NC	C4	アナログ水平同期
13	NC	C5	接地
14	+5V 電源		
15	接地		

＊1　+5V電源、垂直、水平同期用
＊2　アナログRGB（赤、緑、青）用
＊3　これらの番号のピンは本機では使用していません。

RS-232C ポート仕様

コンピュータによるプロジェクターの制御について

この操作システムはコンピュータを使い慣れた方のご利用をお願いいたします。

■プログラムを組むとRS-232Cコネクタを使って、コンピュータで本機を制御することができます。入力信号(コンピュータ／ビデオ)の切り換えや音量調節のほか、各種調整や設定も制御できますので、プログラムによる自動上映が可能です。
■接続には、市販のRS-232Cケーブル(クロスタイプ)をご用意ください。
■省電力モードは、「モニター出力／ RS232C」項目を「 」に設定してください。(74ページ)

通信仕様

●コンピュータ側のRS-232C通信仕様を、本機の通信仕様に合わせてください。
●ボーレートは、メニューで選択します。
●本機の仕様は、以下のとおりです。

ボーレート	9600/38400/115200bps
データ長	8ビット
パリティ	なし
ストップビット	1ビット
フロー制御	なし

通信手順

●コンピュータからRS-232Cコネクタを通じて、制御コマンドを送信します。本機は、送られたコマンドに応じて、動作し、レスポンスメッセージをコンピュータ側に送ります。
●複数のコマンドを同時に送信しないでください。正常時のレスポンス(OK)を受け取ってから、次のコマンドを送信するようにしてください。
●スタンバイ状態のときは制御コマンド送信の間隔を1分以上あけてください。

コマンド(コンピュータ→本機)

C1	C2	C3	C4	P1	P2	P3	P4	⏎
コマンド種類 (4バイト)				パラメータ (4バイト)				リターンコード (0DH)

レスポンス(本機→コンピュータ)

正常時

O	K	⏎
		リターンコード (0DH)

異常発生時(通信エラーまたはコマンドに誤りがあったとき)

E	R	R	⏎
			リターンコード (0DH)

メモ

■コンピュータからプロジェクターを制御する場合、プロジェクターは制御コマンドを受け取ると、一部の機能はOSDの表示をしないで実行されます。

受送信の例

■「入力1」モードの「映像調整」の「明るさ」を－10に設定する。

コンピュータ

R	A	B	R	_	−	1	0	⏎

⇄

プロジェクター

O	K	⏎

コマンド一覧

■ "パラメータ"の中でアンダーバー(＿)で表記されている箇所はスペースを指定します。アスタリスク(＊)で表記されている箇所は「制御内容」の(　)内の中の範囲で数値を指定します。

	制御項目	コマンド	パラメータ	リターン
ボタン・リモート制御	POWER（電源）ON	POWR	___1	OK または ERR
	POWER（電源）OFF	POWR	___0	OK または ERR
	VOLUME（音量） (0 — 60)	VOLA	__**	OK または ERR
	MUTE（消音）ON	MUTE	___1	OK または ERR
	MUTE（消音） OFF	MUTE	___0	OK または ERR
	レンズフォーカス (−30 ～+30)	LNFO	_***	OK または ERR
	レンズズーム (−30 ～+30)	LNZO	_***	OK または ERR
	キーストーン補正(−127 ～+127)	KEYS	****	OK または ERR
	垂直サイズ調整 (−30 ～+30)	VSIZ	__**	OK または ERR
	デジタルシフト (−96 ～+96)	LNDS	_***	OK または ERR
	ブラックスクリーン ON	IMBK	___1	OK または ERR
	ブラックスクリーン OFF	IMBK	___0	OK または ERR
	INPUT(入力)1 (RGB 1)	IRGB	___1	OK または ERR
	INPUT(入力)2 (RGB 2)	IRGB	___2	OK または ERR
	INPUT(入力)3 (RGB 3)	IRGB	___3	OK または ERR
	INPUT(入力)4 (VIDEO 1)	IVED	___1	OK または ERR
	INPUT(入力)5 (VIDEO 2)	IVED	___2	OK または ERR
	入力確認	ICHK	___0	OK または ERR
	FREEZE（静止画） ON	FREZ	___1	OK または ERR
	FREEZE（静止画） OFF	FREZ	___0	OK または ERR
	自動同期調整開始	ADJS	___1	OK または ERR
	INPUT(入力)1 (RGB 1)画面サイズ:標準	RASR	___1	OK または ERR
	INPUT(入力)1 (RGB 1)画面サイズ:フル	RASR	___5	OK または ERR
	INPUT(入力)1 (RGB 1)画面サイズ:ドットバイドット	RASR	___3	OK または ERR
	INPUT(入力)2 (RGB 2)画面サイズ: 標準	RBSR	___1	OK または ERR
	INPUT(入力)2 (RGB 2)画面サイズ: フル	RBSR	___5	OK または ERR
	INPUT(入力)2 (RGB 2)画面サイズ: ドットバイドット	RBSR	___3	OK または ERR
	INPUT(入力)3 (RGB 3)画面サイズ: 標準	RCSR	___1	OK または ERR
	INPUT(入力)3 (RGB 3)画面サイズ: フル	RCSR	___5	OK または ERR
	INPUT(入力)3 (RGB 3)画面サイズ: ドットバイドット	RCSR	___3	OK または ERR
	INPUT(入力)4(ビデオ1)画面サイズ : ズーム	RASV	___1	OK または ERR
	INPUT(入力)4(ビデオ1)画面サイズ : フル	RASV	___5	OK または ERR
	INPUT(入力)4(ビデオ1)画面サイズ: 標準	RASV	___3	OK または ERR
	INPUT(入力)4(ビデオ1)画面サイズ: スクイーズ（フル）	RASV	___2	OK または ERR
	INPUT(入力)4(ビデオ1)画面サイズ: ワイド	RASV	___4	OK または ERR
	INPUT(入力)5(ビデオ2)画面サイズ: ズーム	RBSV	___1	OK または ERR
	INPUT(入力)5(ビデオ2)画面サイズ: フル	RBSV	___5	OK または ERR
	INPUT(入力)5(ビデオ2)画面サイズ標準	RBSV	___3	OK または ERR
	INPUT(入力)5(ビデオ2)画面サイズスクイーズ（フル）	RBSV	___2	OK または ERR
	INPUT(入力)5(ビデオ2)画面サイズワイド	RBSV	___4	OK または ERR
	RGBガンマ補正: 標準	GAMR	___1	OK または ERR
	RGBガンマ補正: プレゼンテーション	GAMR	___2	OK または ERR
	RGBガンマ補正: シネマ	GAMR	___3	OK または ERR
	RGBガンマ補正: ユーザー設定	GAMR	___4	OK または ERR
	ビデオガンマ補正: 標準	GAMV	___1	OK または ERR
	ビデオガンマ補正: プレゼンテーション	GAMV	___2	OK または ERR
	ビデオガンマ補正: シネマ	GAMV	___3	OK または ERR
	ビデオガンマ補正: ユーザー設定	GAMV	___4	OK または ERR

	制御項目	コマンド	パラメータ	リターン
映像調整	INPUT(入力)1(RGB1)コントラスト(−30 ～+30)	RAPI	_***	OK または ERR
	INPUT(入力)1(RGB1)明るさ(−30 ～+30)	RABR	_***	OK または ERR
	INPUT(入力)1(RGB1)赤(−30 ～+30)	RARD	_***	OK または ERR
	INPUT(入力)1(RGB1)青(−30 ～+30)	RABE	_***	OK または ERR
	INPUT(入力)1(RGB1)色の濃さ(−30 ～+30)	RACO	_***	OK または ERR
	INPUT(入力)1(RGB1)色合い(−30 ～+30)	RATI	_***	OK または ERR
	INPUT(入力)1(RGB1)画質(−30 ～+30)	RASH	_***	OK または ERR
	INPUT(入力)1(RGB1)色温度(−3 ～+3)	RACT	__**	OK または ERR
	INPUT(入力)1(RGB1)入力項目表示	RARE	___0	OK または ERR
	INPUT(入力)1(RGB1)リセット	RARE	___1	OK または ERR
	INPUT(入力)2(RGB2)コントラスト(−30 ～+30)	RBPI	_***	OK または ERR
	INPUT(入力)2(RGB2)明るさ(−30 ～+30)	RBBR	_***	OK または ERR
	INPUT(入力)2(RGB2)赤(−30 ～+30)	RBRD	_***	OK または ERR
	INPUT(入力)2(RGB2)青(−30 ～+30)	RBBE	_***	OK または ERR
	INPUT(入力)2(RGB2)色の濃さ(−30 ～+30)	RBCO	_***	OK または ERR
	INPUT(入力)2(RGB2)色合い(−30 ～+30)	RBTI	_***	OK または ERR
	INPUT(入力)2(RGB2)画質(−30 ～+30)	RBSH	_***	OK または ERR
	INPUT(入力)2(RGB2)色温度(−3 ～+3)	RBCT	__**	OK または ERR
	INPUT(入力)2(RGB2)入力項目表示	RBRE	___0	OK または ERR
	INPUT(入力)2(RGB2)リセット	RBRE	___1	OK または ERR
	INPUT(入力)3(RGB3)コントラスト(−30 ～+30)	RCPI	_***	OK または ERR
	INPUT(入力)3(RGB3)明るさ(−30 ～+30)	RCBR	_***	OK または ERR
	INPUT(入力)3(RGB3)赤(−30 ～+30)	RCRD	_***	OK または ERR
	INPUT(入力)3(RGB3)青(−30 ～+30)	RCBE	_***	OK または ERR
	INPUT(入力)3(RGB3)色の濃さ(−30 ～+30)	RCCO	_***	OK または ERR
	INPUT(入力)3(RGB3)色合い(−30 ～+30)	RCTI	_***	OK または ERR
	INPUT(入力)3(RGB3)画質(−30 ～+30)	RCCH	_***	OK または ERR
	INPUT(入力)3(RGB3)色温度(−3 ～+3)	RCCT	__**	OK または ERR
	INPUT(入力)3(RGB3)入力項目表示	RCRE	___0	OK または ERR
	INPUT(入力)3(RGB3)リセット	RCRE	___1	OK または ERR
	INPUT(入力)1(RGB1)入力信号タイプ: RGB	IASI	___1	OK または ERR
	INPUT(入力)1(RGB1)入力信号タイプ: 色差入力	IASI	___2	OK または ERR
	INPUT(入力)2(RGB2)入力信号タイプ: RGB	IBSI	___1	OK または ERR
	INPUT(入力)2(RGB2)入力信号タイプ: 色差入力	IBSI	___2	OK または ERR
	INPUT (入力)1 (RGB1) 2Dプログレッシブ	RAIP	___0	OK または ERR
	INPUT (入力)1 (RGB1) 3Dプログレッシブ	RAIP	___1	OK または ERR
	INPUT (入力)1 (RGB1) フィルムモード	RAIP	___2	OK または ERR
	INPUT (入力)2 (RGB2) 2Dプログレッシブ	RBIP	___0	OK または ERR
	INPUT (入力)2 (RGB2) 3Dプログレッシブ	RBIP	___1	OK または ERR
	INPUT (入力)2 (RGB2) フィルムモード	RBIP	___2	OK または ERR
	INPUT (入力)3 (RGB3) 2Dプログレッシブ	RCIP	___0	OK または ERR
	INPUT (入力)3 (RGB3) 3Dプログレッシブ	RCIP	___1	OK または ERR
	INPUT (入力)3 (RGB3) フィルムモード	RCIP	___2	OK または ERR
	INPUT(入力)4(ビデオ1)コントラスト(−30 ～+30)	VAPI	_***	OK または ERR
	INPUT(入力)4(ビデオ1)明るさ(−30 ～+30)	VABR	_***	OK または ERR
	INPUT(入力)4(ビデオ1)赤(−30 ～+30)	VARD	_***	OK または ERR
	INPUT(入力)4(ビデオ1)青(−30 ～+30)	VABE	_***	OK または ERR
	INPUT(入力)4(ビデオ1)色の濃さ(−30 ～+30)	VACO	_***	OK または ERR
	INPUT(入力)4(ビデオ1)色合い(−30 ～+30)	VATI	_***	OK または ERR
	INPUT(入力)4(ビデオ1)画質(−30 ～+30)	VASH	_***	OK または ERR
	INPUT(入力)4(ビデオ1)色温度(−3 ～+3)	VACT	__**	OK または ERR
	INPUT(入力)4(ビデオ1)入力項目表示	VARE	___0	OK または ERR
	INPUT(入力)4(ビデオ1)リセット	VARE	___1	OK または ERR

つづく

RS-232Cポート仕様(つづき)

	制御項目	コマンド	パラメータ	リターン
映像調整	INPUT(入力)5(ビデオ2)コントラスト(−30～+30)	VBPI	_***	OK または ERR
	INPUT(入力)5(ビデオ2)明るさ(−30～+30)	VBBR	_***	OK または ERR
	INPUT(入力)5(ビデオ2)赤(−30～+30)	VBRD	_***	OK または ERR
	INPUT(入力)5(ビデオ2)青(−30～+30)	VBBE	_***	OK または ERR
	INPUT(入力)5(ビデオ2)色の濃さ(−30～+30)	VBCO	_***	OK または ERR
	INPUT(入力)5(ビデオ2)色合い(−30～+30)	VBTI	_***	OK または ERR
	INPUT(入力)5(ビデオ2)画質(−30～+30)	VBSH	_***	OK または ERR
	INPUT(入力)5(ビデオ2)色温度(−3～+3)	VBCT	__**	OK または ERR
	INPUT(入力)5(ビデオ2)入力項目表示	VBRE	___0	OK または ERR
	INPUT(入力)5(ビデオ2)リセット	VBRE	___1	OK または ERR
	INPUT (入力)4 (ビデオ1) 2Dプログレッシブ	VAIP	___0	OK または ERR
	INPUT (入力)4 (ビデオ1) 3Dプログレッシブ	VAIP	___1	OK または ERR
	INPUT (入力)4 (ビデオ1) フィルムモード	VAIP	___2	OK または ERR
	INPUT (入力)5 (ビデオ2) 2Dプログレッシブ	VBIP	___0	OK または ERR
	INPUT (入力)5 (ビデオ2) 3Dプログレッシブ	VBIP	___1	OK または ERR
	INPUT (入力)5 (ビデオ2) フィルムモード	VBIP	___2	OK または ERR
	(INPUT(入力)1-5) 2Dプログレッシブ	IMIP	___0	OK または ERR
	(INPUT(入力)1-5) 3Dプログレッシブ	IMIP	___1	OK または ERR
	(INPUT(入力)1-5) フィルムモード	IMIP	___2	OK または ERR
同期調整(注1)	クロック (−150～+150)	INCL	****	OK または ERR
	水平位相(−60～+60)	INPH	_***	OK または ERR
	水平位置 (−150～+150)	IAHP	****	OK または ERR
	垂直位置(−60～+60)	IAVP	_***	OK または ERR
	RGB 項目表示	IARE	___0	OK または ERR
	RGB 同期調整リセット	IARE	___1	OK または ERR
	メモリー保存 (1～7)	MEMS	___*	OK または ERR
	メモリー選択 (1～7)	MEML	___*	OK または ERR
	RGB水平周波数確認	TFRQ	___1	kHz (***. * または _)
	RGB垂直周波数確認	TFRQ	___2	Hz (***. * または _)
	自動同期調整OFF	AADJ	___0	OK または ERR
	手動同期調整（標準）	AADJ	___1	OK または ERR
	自動同期調整（高速）	AADJ	___2	OK または ERR
	自動同期調整画面 ON	IMAS	___1	OK または ERR
	自動同期調整画面 OFF	IMAS	___0	OK または ERR
音声調整	バランス (−30～+30)	AABL	_***	OK または ERR
	高音 (−30～+30)	AATE	_***	OK または ERR
	低音 (−30～+30)	AABA	_***	OK または ERR
	項目表示	AARE	___0	OK または ERR
	音声調整リセット	AARE	___1	OK または ERR
	FAO	AOUT	___1	OK または ERR
	VAO	AOUT	___2	OK または ERR
	スピーカー ON	ASPK	___1	OK または ERR
	スピーカー OFF	ASPK	___0	OK または ERR
オプション（1）	P in P : 右下	PINP	__11	OK または ERR
	P in P : 左下	PINP	__12	OK または ERR
	P in P : 右上	PINP	__13	OK または ERR
	P in P : 左上	PINP	__14	OK または ERR
	P in P リセット	PINP	___0	OK または ERR
	DNR（ビデオノイズリダクション）OFF	3DNR	___0	OK または ERR
	DNR（ビデオノイズリダクション）ON	3DNR	___1	OK または ERR
	OSD表示ON	IMDI	___1	OK または ERR
	OSD表示OFF (レベルA)	IMDI	___2	OK または ERR
	OSD表示OFF (レベルB)	IMDI	___0	OK または ERR
	ブラックスクリーン表示 ON	IMBO	___1	OK または ERR
	ブラックスクリーン表示OFF	IMBO	___0	OK または ERR
	映像信号方式 : 自動	MESY	___1	OK または ERR
	映像信号方式 : PAL	MESY	___2	OK または ERR
	映像信号方式 : SECAM	MESY	___3	OK または ERR
	映像信号方式 : NTSC4.43	MESY	___4	OK または ERR
	映像信号方式 : NTSC3.58	MESY	___5	OK または ERR
	映像信号方式 : PAL_M	MESY	___6	OK または ERR
	映像信号方式: PAL_N	MESY	___7	OK または ERR
	無信号時画面 : 初期設定画面	IMBG	___1	OK または ERR
	無信号時画面 : ユーザー選択画面	IMBG	___2	OK または ERR
	無信号時画面 : ブルーバック	IMBG	___3	OK または ERR
	無信号時画面 : なし	IMBG	___4	OK または ERR

	制御項目	コマンド	パラメータ	リターン
オプション（1）	オープニング画面 : 初期設定画面	IMSI	___1	OK または ERR
	オープニング画面 : ユーザー選択画面	IMSI	___2	OK または ERR
	オープニング画面 : なし	IMSI	___3	OK または ERR
	ランプパワー : 標準	THMD	___0	OK または ERR
	ランプパワー : ローパワーモード	THMD	___1	OK または ERR
	モニター出力 OFF	MOUT	___0	OK または ERR
	モニター出力 ON	MOUT	___1	OK または ERR
	無信号時自動電源オフ : しない	APOW	___0	OK または ERR
	無信号時自動電源オフ : する	APOW	___1	OK または ERR
オプション（2）	ランプ使用時間	TLTT	___1	0～9999
	ランプモード	TLPS	___1	0:OFF, 1:ON, 2:リトライ, 3:待機, 4:ランプエラー
	投映方式 : 左右反転OFF	IMRE	___0	OK または ERR
	投映方式 : 左右反転ON	IMRE	___1	OK または ERR
	投映方式 : 上下反転OFF	IMIN	___0	OK または ERR
	投映方式 : 上下反転ON	IMIN	___1	OK または ERR
	スタック設定 : 標準	STAK	___0	OK または ERR
	スタック設定 : マスター	STAK	___1	OK または ERR
	スタック設定 : スレーブ	STAK	___2	OK または ERR
	キーロックレベル : 標準	KEYL	___0	OK または ERR
	キーロックレベル : レベル A	KEYL	___1	OK または ERR
	キーロックレベル : レベル B	KEYL	___2	OK または ERR
	入力設定 : INPUT（入力）1 OFF	RASI	___0	OK または ERR
	入力設定 : INPUT（入力）1 ON	RASI	___1	OK または ERR
	入力設定 : INPUT（入力）2 OFF	RBSI	___0	OK または ERR
	入力設定 : INPUT（入力）2 ON	RBSI	___1	OK または ERR
	入力設定 : INPUT（入力）3 OFF	RCSI	___0	OK または ERR
	入力設定 : INPUT（入力）3 ON	RCSI	___1	OK または ERR
	入力設定 : INPUT（入力）4 OFF	VASI	___0	OK または ERR
	入力設定 : INPUT（入力）4 ON	VASI	___1	OK または ERR
	入力設定 : INPUT（入力）5 OFF	VBSI	___0	OK または ERR
	入力設定 : INPUT（入力）5 ON	VBSI	___1	OK または ERR
	ID NO.設定	RDID	___1	001～250
言語選択	言語選択 : ENGLISH	MELA	___1	OK または ERR
	言語選択 : DEUTSCH	MELA	___2	OK または ERR
	言語選択 : ESPAÑOL	MELA	___3	OK または ERR
	言語選択 : NEDERLANDS	MELA	___4	OK または ERR
	言語選択 : FRANÇAIS	MELA	___5	OK または ERR
	言語選択 : ITALIANO	MELA	___6	OK または ERR
	言語選択 : SVENSKA	MELA	___7	OK または ERR
	言語選択 : **日本語**	MELA	___8	OK または ERR
	言語選択 : PORTUGUÊS	MELA	___9	OK または ERR
	言語選択 : **汉语**	MELA	__10	OK または ERR
	言語選択 : 한국어	MELA	__11	OK または ERR
その他	モデル名確認	MNRD	___0	モデル名
	ノイズフィルター OFF	NFIL	___1	OK または ERR
	ノイズフィルター ON（注 2）	NFIL	___1	OK または ERR
	シリアルナンバー確認（注 3）	SNRD	___1	シリアルナンバー
	プロジェクター名確認1（注 4）	PJNA	___2	OK または ERR
	プロジェクター名確認2	PJNA	___	プロジェクター名

- ■（注 1）同期調整は、RGB モードで設定できます。
- ■（注2）コンピュータの機種によっては、ノイズが発生する場合があります。RS-232C コマンドを使ってノイズフィルターを「オン」に設定してください。
- ■（注3）シリアルナンバー確認では、12桁のシリアルナンバーを読み取ります。
- ■（注4）「プロジェクター名確認1」コマンドを送信すると、OKがリターンされますので、半角12文字以内で名前を設定します。「プロジェクター名確認2」コマンドでは、設定済みの名前がリターンされます。

ワイヤードリモコン端子仕様

ワイヤードリモートコントロール入力仕様

- ø3.5 ミニジャック
- 外部：+5 V (1A)
- 内部：GND

機能および伝送コード

制御項目	システムコード					データコード						外部コード			
(機能)	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	C10	C11	C12	C13	C14	C15
ON(電源入)	1	0	1	1	0	0	1	1	0	1	0	1	0	1	0
OFF(電源切)	1	0	1	1	0	0	1	1	0	1	0	0	1	1	0
VOLUME(音量+)	1	0	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0
VOLUME(音量−)	1	0	1	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0
MUTE(消音)	1	0	1	1	0	1	1	1	0	1	0	0	0	1	0
MENU(メニュー)	1	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	1	1	1	0
LENS(レンズ)	1	0	1	1	0	1	1	0	1	0	0	0	1	1	0
ブラックスクリーン	1	0	1	1	0	1	0	0	1	0	1	1	0	1	0
ENTER(決定)	1	0	1	1	0	1	1	1	0	1	0	1	0	1	0
RESIZE(リサイズ)	1	0	1	1	0	0	1	1	1	1	0	1	0	1	0
UNDO(戻す)	1	0	1	1	0	1	0	0	1	1	0	1	0	1	0
静止画	1	0	1	1	0	1	0	1	1	0	0	0	1	1	0
ブレークタイマー	1	0	1	1	0	0	0	1	0	1	1	0	1	1	0

制御項目	システムコード					データコード						外部コード			
(機能)	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	C10	C11	C12	C13	C14	C15
デジタル拡大	1	0	1	1	0	1	0	1	1	0	1	1	0	1	0
デジタル縮小	1	0	1	1	0	1	0	1	1	0	1	0	1	1	0
自動同期調整	1	0	1	1	0	0	1	0	1	1	1	1	1	1	0
調整▲	1	0	1	1	0	0	0	1	1	1	0	0	1	1	0
調整▼	1	0	1	1	0	1	0	1	1	1	0	0	1	1	0
調整 ◀	1	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0
調整 ▶	1	0	1	1	0	1	1	1	1	0	0	1	0	1	0
GAMMA(ガンマ補正)	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
INPUT(入力切換) 1	1	0	1	1	0	1	0	1	0	1	1	0	0	1	0
INPUT(入力切換) 2	1	0	1	1	0	0	1	1	0	1	1	0	0	1	0
INPUT(入力切換) 3	1	0	1	1	0	1	0	1	0	1	1	0	1	1	0
INPUT(入力切換) 4	1	0	1	1	0	0	1	0	0	1	1	0	0	1	0
INPUT(入力切換) 5	1	0	1	1	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	0

メモ

■ワイヤードリモコン端子からリモコン間をケーブルで接続してください。

ワイヤードリモートコントロール機能用コード

LSB　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　MSB

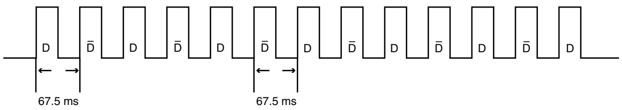
C1 ─ システムコード ─ C5					C6 ─ データコード ─ C11						C12 ─ 外部コード ─ C15			
1	0	1	1	0	*	*	*	*	*	*	*	*	1	0

■ C1 から C5 までのシステムコードは "10110" 固定です。

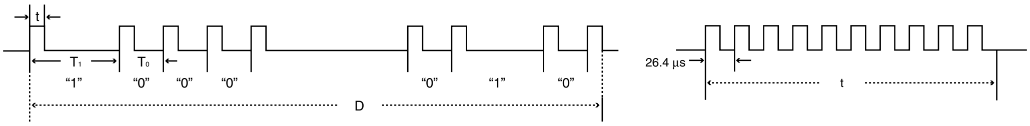
■ C14とC15のコードはリバース確定ビットで、"10" は「前」、"01" は「後」を示しています。

シャープリモートコントロール信号形式

伝送フォーマット：15 ビット形式



出力信号の波形：パルスポジションモジュレーションを使用した出力



- t ＝ 264 µs
- To ＝ 1.05 ms
- T1 ＝ 2.10 ms
- パルスキャリア周波数＝ 455/12kHz
- デューティレシオ＝ 1:1

伝送制御コード

15ビット

C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	C10	C11	C12	C13	C14	C15
System Address					Function Key Data Bit						Data Expansion		Mask	Data Determination
D to D̄ Common Data Bit					Reverse in D̄									

リバースDtoD̄への例

	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	C10	C11	C12	C13	C14	C15
D	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0

	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	C10	C11	C12	C13	C14	C15
D̄	1	0	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	1	0	1

RGB入力信号(推奨信号)について

コンピュータ

・幅広い信号に対応
　水平周波数：15kHz～126kHz
　垂直周波数：43Hz～200Hz
　ドットクロック：12MHz～230MHz
・シンクオングリーン信号とコンポジットシンク信号に対応。（INPUT1 端子、INPUT2 端子に入力の場合）
・高品位圧縮表示により、UXGA、SXGA に対応。
・AICS リサイズ技術(高品位圧縮表示 / 拡大表示)採用。

下表は VESA 準拠モード一覧です。ただし本機は VESA 規準以外の信号にも対応しています。

PC/MAC/WS	解像度		水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	VESA規格	DVIサポート信号	ディスプレイ
PC	VGA	640 × 350	27.0	60			拡大表示
			31.5	70			
			37.9	85	✓		
		720 × 350	27.0	60			
			31.5	70			
		640 × 400	27.0	60		✓	
			31.5	70		✓	
			37.9	85	✓	✓	
		720 × 400	27.0	60		✓	
			31.5	70		✓	
			37.9	85	✓	✓	
		640 × 480	26.2	50			
			31.5	60		✓	
			34.7	70			
			37.9	72	✓	✓	
			37.5	75	✓	✓	
			43.3	85	✓	✓	
			47.9	90			
			53.0	100			
			61.8	120			
			78.5	150			
			80.9	160			
			100.4	200			
	SVGA	800 × 600	31.4	50			
			35.1	56	✓	✓	
			37.9	60	✓	✓	
			44.5	70			
			48.1	72	✓	✓	
			46.9	75	✓	✓	
			53.7	85	✓	✓	
			56.8	90			
			64.0	100			
			77.2	120			
			98.3	150			
			102.1	160			
			125.6	200			
	XGA	1,024 × 768	35.5	43		✓	リアル表示
			40.3	50			
			48.4	60	✓	✓	
			56.5	70	✓	✓	
			58.1	72			
			60.0	75	✓	✓	
			68.7	85	✓	✓	
			73.5	90			
			77.2	96			
			80.6	100			
			98.8	120			
			113.2	140			
PC	SXGA	1,152 × 864	54.3	60		✓	高品位圧縮表示
			64.0	70			
			64.1	72			
			67.5	75	✓	✓	
			75.7	80			
			77.3	85			
			90.2	100			
		1,152 × 882	54.8	60			
			65.9	72			
			67.4	74			
		1,280 ×1,024	64.0	60	✓	✓	
			74.6	70			
			78.1	74			
			80.0	75	✓		
			91.1	85	✓		
			108.4	100			
	SXGA+	1,400 ×1,050	64.0	60			
	UXGA	1,600 ×1,200	74.7	52			
			75.0	60	✓		
			81.3	65	✓		圧縮表示
			87.5	70	✓		
			90.1	72			
			93.8	75	✓		
			106.3	85	✓		
PC/MAC 13"	VGA	640 × 480	34.9	67			拡大表示
PC/MAC 19"	XGA	1,024 × 768	48.4	60	✓	✓	リアル表示
			60.0	75	✓	✓	
PC/MAC 21"	SXGA	1,280 ×1,024	80.0	75	✓		高品位圧縮表示
MAC 16"	SVGA	800 × 600	46.8	75			拡大表示
		832 × 624	49.6	75			
MAC 21"	SXGA	1,152 × 870	68.5	75			高品位圧縮表示
HP (WS)	SXGA	1,280 ×1,024	78.1	72			
PC (WS)		1,280 × 960	60.0	60	✓		
WS			85.9	85			
SGI (WS)		1,280 ×1,024	53.5	50			
			76.8	72			
SUN (WS)		1,152 × 900	60.9	66			
			71.9	76			

DTV

入力信号	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
480I	15.7	60
480P	31.5	60
580I	15.6	50
580P	31.3	50
720P	45.0	60
1035I	33.8	60
1080I	33.8	60

メモ

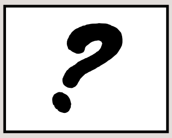
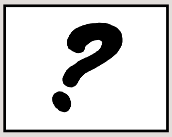
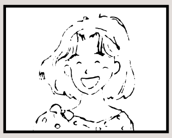
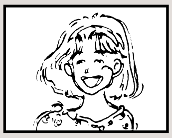
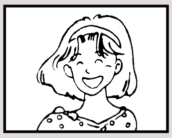
■ 本機は、同時(CRT/LCD)モードでノート型パソコンからの映像を表示できない場合があります。この場合は、ノート型パソコン側で液晶表示をオフにして"CRTのみ"モードで表示データを出力してください。表示モードを変更するための詳細はお持ちのノート型パソコンの操作マニュアルに記載されています。

■ 本機は 640 × 350 VESA 形式の VGA 信号を入力した場合、スクリーン上では "640 × 400" と表示されます。

■ 1,600 × 1,200 VESA 形式 UXGA 信号を入力した場合は、サンプリングを行い、映像を1,024本の線で表示するため、映像の一部が欠けることがあります。

■ インターレース映像信号の動画を本機で投映するとき、RGB入力を使用すると、映像信号によってはお客様が意図した映像にならない場合があります。そのような場合は、コンポーネント入力、S映像入力、ビデオ入力をご使用ください。

故障かな？と思ったら

こんなとき	ここをお調べください	ページ
 映像も音声も出ない	●電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	25
	●接続した外部機器の電源が「切」の状態になっていませんか。	-
	●表示させる画面の選択がまちがっていませんか。	35
	●プロジェクター後面の配線は、正しく接続されていますか。	26～32
	●リモコンの乾電池が消耗していませんか。	14
	●底面のエアーフィルターカバーはきちんと取り付けられていますか。	111
	●ノートパソコンを接続しているとき、外部出力状態に設定されていますか。 ●ブラックスクリーン画面になっていませんか。 ●ランプ交換ユニットカバー、レンズカバーが正しく取り付けられていますか。	- 73 114·115
 音声は出るが映像が出ない	●プロジェクター後面の配線は、正しく接続されていますか。	26～32
	●映像調整の「明るさ」が「ー(マイナス)」側いっぱいになっていませんか。	44·45
	●ブラックスクリーン画面になっていませんか。	73
 色がうすい、色あいが悪い	●映像は、正しく調整されていますか。	44·45
	〈ビデオ入力のとき〉 ●ビデオの映像信号方式は正しく設定されていますか。 ●入力信号タイプのRGB/色差が正しく設定されていますか。	 64 46
 映像がボヤける ノイズが発生する	●レンズのフォーカスは合っていますか。	37
	●投映距離が、フォーカスの合う範囲を超えていませんか。	21～23
	〈コンピュータ入力のとき〉 ●同期調整(クロック調整)を行ってみてください。 ●同期調整(位相調整)を行ってください。 ●コンピュータによってはノイズが発生することがあります。	 53·54 53·54 -
 映像は出るが音声が出ない	●プロジェクター後面の配線は、正しく接続されていますか。	26～32
	●音量が最小になっていませんか。	35
キャビネットから時々 「ピシッ」と音がする	●画面に異常がない場合、室温の変化によりキャビネットが、わずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。	-
お知らせランプが点灯する	●「お知らせ表示について」をご覧ください。	112
内蔵スピーカーから 音声が出ない	●メニューの音声調整項目のスピーカーがOFFに設定されていませんか。	49
ON（電源入）ボタンOFF（電源切）を使って電源を入／切できない	●キーロックレベルが設定されていませんか。 レベルAまたはBに設定されている場合、すべてのボタン、または特定のボタンは機能しません。 ●ランプ交換ユニットカバーが正しく取り付けられていますか。	86·87 114·115
入力1、2の RGBモードで 画面がピンクがかる	●入力信号タイプが色差入力に設定されていませんか。 入力信号タイプを確かめてください。	46

つづく

故障かな？と思ったら(つづき)

こんなとき	ここをお調べください	ページ
入力1、2の コンポーネントモードで 画面が緑がかる	●入力信号タイプがRGB入力に設定されていませんか。 入力信号タイプを確かめてください。	46
プロジェクター本体／ リモコンの ボタンがすべて 使えない	●スタック設定でスレーブに設定した場合、あるいはキーロックレベルでレベルBに設定された場合、プロジェクター本体とリモコンキーは機能しません。このような場合、付属のソフトウエアSAPSかRS-232Cコマンドを使ってキーロックレベルまたはスタック機能を解除してください。 ●コンピュータが無いときは、プロジェクター側で次のように操作してください。 ON I → ENTER ↵ → ON I → ENTER ↵ → ON I → ENTER ↵ → MENU キーロックレベルが「ノーマル」になり、パスワード設定も解除されます。 ●ワイヤードリモコンケーブルが接続されていますか。	86·87 98·99 15
画面が拡大されている	●Sharp Advanced Presentation Software (SAPS) でビデオウォールが設定されていませんか。 SAPSでビデオウォールを解除してください。	-

パスワードを忘れてしまったら

■もしパスワードを忘れてしまったら、次の方法でパスワードを解除してください。パスワードを解除したあと、改めてパスワードを設定してください。

・次の順番にボタンを押します。

ON I → ENTER ↵ → ON I → ENTER ↵ → ON I → ENTER ↵ → MENU

・パスワード設定が解除されると、キーロックレベルもノーマルになります。

アフターサービスについて

保証について

① この液晶プロジェクターには、保証書がついています。
保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡ししたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。

② 保証期間は、お買いあげの日から1年間です。ただし、光源(ランプ)のみは6ヵ月となります。保証書の記載内容によりお買いあげの販売店が修理いたします。
故障のときは、お申しつけにより「出張修理」いたします。くわしくは保証書をご覧ください。

③ 保証期間中は修理などアフターサービスについておわかりにならない場合は、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

④ 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。

保証期間

- 光源(ランプ)以外の部品代および修理工料は、お買いあげの日から1年間は無料です。
- 光源(ランプ)およびその修理工料は、お買いあげの日から6ヵ月は無料です。
(6ヶ月以内でも使用時間が1000時間を超えているときは、保証の対象となりません。)

補修用性能部品について

液晶プロジェクターの補修用性能部品の保有期間は、製造打切り後8年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

故障のときは使用をやめて、電源プラグをコンセントから抜き修理をお申しつけください。故障のままお使いになったり、ご自分での修理は危険です。
ご転居、ご贈答品などで、お買いあげの販売店に修理を依頼することができない場合は、もよりのシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

- 修理依頼時につぎのことをお知らせください。

●商品名　液晶プロジェクター
●形　名　XG-P25X
●故障状況(できるだけくわしく)
●ご氏名
●ご住所(付近の目印など道順)
●お電話番号

お願い

ランプは消耗品です。使用中にランプが切れることがありますので、あらかじめご承知おきください。映像が暗くなったり、色合いが悪くなるなどの症状がでたときは、早めにランプを交換してください。

愛情点検

長年ご使用の液晶プロジェクターの点検を!
こんな症状はありませんか?
●電源コードやプラグが異常に熱い。●電源ボタンを入れても映像や音が出ない、また出るまでに時間がかかる。●画面が映ったり、消えたりする。●映像が乱れたり、色がきれいに出ない。●その他の異常や故障がある。

以上のような症状のときは本体の電源を切り、プラグをコンセントから抜き、使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買いあげの販売店へご連絡ください。

転居や贈答品などで、保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記窓口にご相談ください。

- 製品の故障や部品のご購入に関するご相談は ………… **修理相談センター** へ
- 製品のお取扱い方法、その他ご不明な点は …………… **お客様相談センター** へ

修理相談センター

● **修理相談センター（沖縄・奄美地区を除く）**

■受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後6時　＊日曜・祝日：午前10時～午後5時　（年末年始を除く）

0570 - 02 - 4649

当ダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
呼出音の前に、NTTより通話料金の目安をお知らせ致します。

（注）携帯電話・PHSからは、下記電話におかけください。

		＜東日本地区＞	＜西日本地区＞
○携帯電話／PHSでのご利用は ……………	一般電話	043 - 299 - 3863	06 - 6792 - 5511
○FAXを送信される場合は ………………………	FAX	043 - 299 - 3865	06 - 6792 - 3221

○沖縄・奄美地区については、下表の「那覇サービスセンター」にご連絡ください。

◎ **持込修理および部品購入のご相談** は、上記「修理相談センター」のほか、
下記地区別窓口にても承っております。

■受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）
〔但し、沖縄・奄美地区〕は……＊月曜～金曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）

担当地域	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
北海道地区	札幌サービスセンター	011-641-4685	〒063-0801	札幌市西区二十四軒1条7-3-17
東北地区	仙台サービスセンター	022-288-9142	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3-1-27
関東地区	さいたまサービスセンター	048-666-7987	〒330-0038	さいたま市宮原町2-107-2
	宇都宮サービスセンター	028-637-1179	〒320-0833	宇都宮市不動前4-2-41
	東京テクニカルセンター	03-5692-7765	〒114-0013	東京都北区東田端2-13-17
	多摩サービスセンター	042-586-6059	〒191-0003	日野市日野台5-5-4
	千葉サービスセンター	047-368-4766	〒270-2231	松戸市稔台295-1
	横浜サービスセンター	045-753-4647	〒235-0036	横浜市磯子区中原1-2-23
東海地区	静岡サービスセンター	054-285-9340	〒422-8006	静岡市曲金6-8-44
	名古屋サービスセンター	052-332-2623	〒454-8721	名古屋市中川区山王3-5-5
北陸地区	金沢サービスセンター	076-249-2434	〒921-8801	石川郡野々市町御経塚町4-103
近畿地区	京都サービスセンター	075-672-2378	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町48
	大阪テクニカルセンター	06-6794-5611	〒547-8510	大阪市平野区加美南3-7-19
	神戸サービスセンター	078-453-4651	〒658-0082	神戸市東灘区魚崎北町1-6-18
中国地区	広島サービスセンター	082-874-8149	〒731-0113	広島市安佐南区西原2-13-4
四国地区	高松サービスセンター	087-823-4901	〒760-0065	高松市朝日町6-2-8
九州地区	福岡サービスセンター	092-572-4652	〒816-0081	福岡市博多区井相田2-12-1
沖縄·奄美地区	那覇サービスセンター	098-861-0866	〒900-0002	那覇市曙2-10-1

お客様相談センター

■受付時間　＊月曜～土曜：午前9時～午後6時　＊日曜・祝日：午前10時～午後5時　（年末年始を除く）

東日本相談室	TEL 043 - 297 - 4649	FAX 043 - 299 - 8280	〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2
西日本相談室	TEL 06 - 6621 - 4649	FAX 06 - 6792 - 5993	〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72

●所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。（02.04）

仕様

品名		液晶プロジェクター
形名		XG-P25X
表示方式		液晶パネル3枚、3原色光シャッター方式
液晶パネル	パネルサイズ	1.3 型 (横20.0mm×縦26.6 mm)
	表示方式	透過型TN液晶パネル
	駆動方式	TFT(薄膜トランジスタ)アクティブマトリクス駆動方式
	画素数	786,432(横1,024×縦768)ドット〈有効画素率99.99%以上〉×3
標準レンズ		1～1.3倍電動ズームレンズ F1.7～2.4　f=49.2～63.8 ㎜
ランプ		270W
音声出力		2 W+2W (ステレオ)
スピーカー		φ4.5 cm　2個
定格電圧		AC100V～240V
定格周波数		50/60Hz
消費電力		380 W（電源スタンバイ時 0.7 W）
使用温度範囲		5℃～40℃
保管温度範囲		-20℃～+60℃
入力・出力端子	コンピュータRGB/コンポーネント入力端子	DVIデジタル信号 ：DVI端子29ピン(INPUT3) RGB分離型アナログ信号 ：15ピンミニD-sub端子(INPUT1) ：5BNC端子(INPUT2) コンポーネント（色差） ：Y 1.0VP-P(75Ω,同期負) ：P_B 0.7VP-P(75Ω) ：P_R 0.7VP-P(75Ω)　： 音声：0.5Vrms、22kΩ以上 ：φ3.5ステレオミニジャック端子（入力1用）、（入力2/3用）
	コンピュータRGB/コンポーネントモニター出力端子	RGB分離型アナログ ：15ピンミニD-sub端子(INPUT1/2用) コンポーネント（色差） ：Y 1.0VP-P(75Ω) ：P_B 0.7VP-P(75Ω) ：P_R 0.7VP-P(75Ω) 音声：0.5Vrms、22kΩ以下 ：φ3.5ステレオミニジャック端子（入力1～5用）
	S映像入力端子	輝度信号入力：1.0Vp-p、75Ω、同期負：4ピンミニDINコネクタ(INPUT5) 色信号入力：0.286Vp-p(バースト信号)、75Ω
	ビデオ入力端子	映像：1.0Vp-p、75Ω、同期負 ：RCAピン端子(INPUT4) 音声：0.5Vrms、22kΩ以上(ステレオ)：RCAピン端子(INPUT4/5用)
	RS-232C入出力端子	9ピンD-sub端子
	ワイヤードリモコン端子	φ3.5ミニジャック
キャビネット		プラスチック
外形寸法		幅 322.5mm、奥行 445mm、高さ188.5mm（標準レンズ装着時　突起部含む）
質量		9.7 kg

<付属品>
- リモコン　•単3乾電池×2本　•電源コード　•コンピュータ(RGB)ケーブル
- コンピュータ音声ケーブル　•BNC/RCA変換プラグ(3個)
- エアーフィルター(交換用)　•レンズキャップ
- CD-ROM　•取扱説明書(本書)　•Sharp Advanced Presentation Softwareインストールガイド
- 使用許諾契約書　•ID No.シール　•保証書

●液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがあります。故障ではありません。

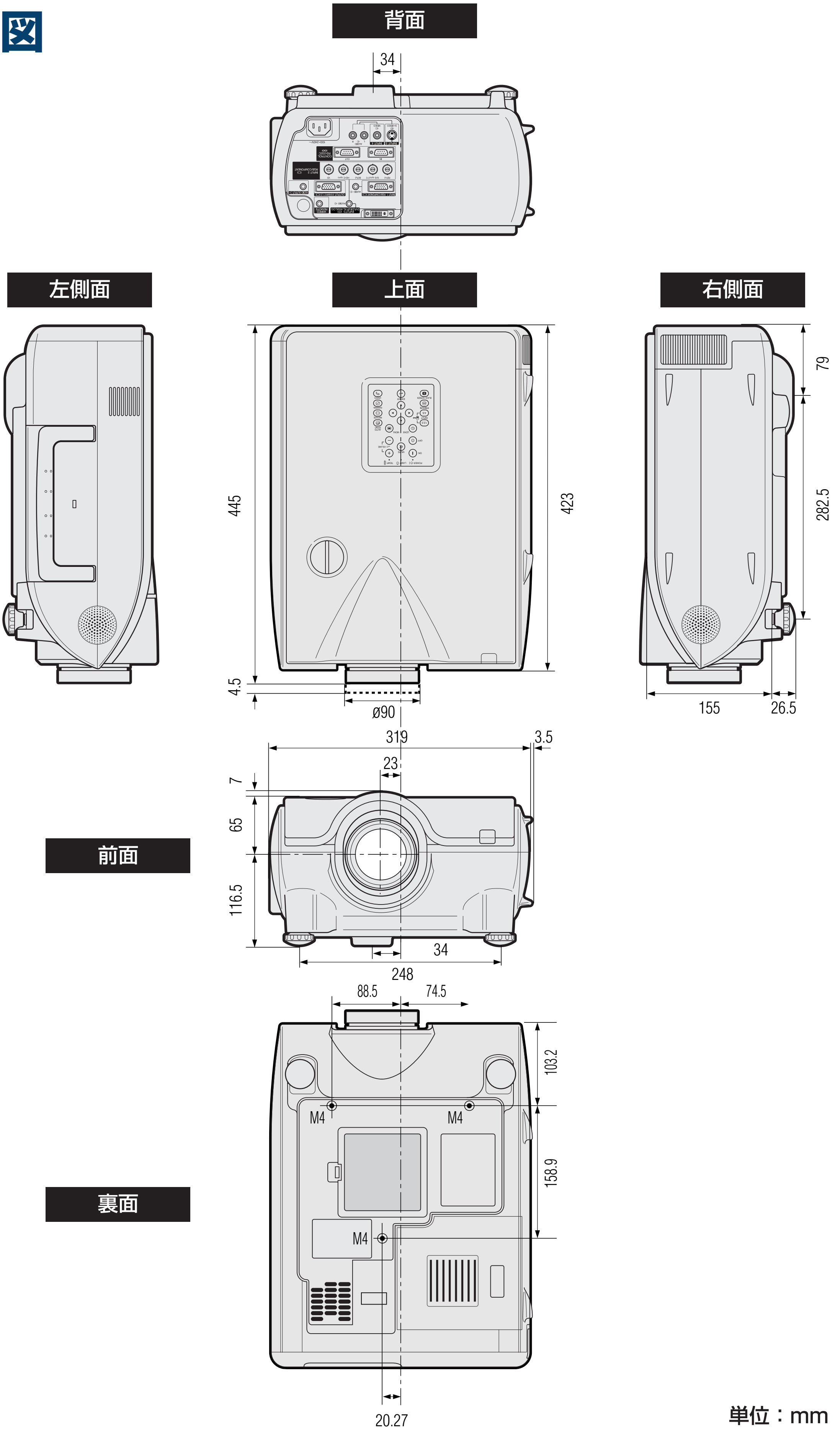
お願い　ランプは消耗品です。使用中にランプが切れることがありますので、あらかじめご承知おきください。映像が暗くなったり、色合いが悪くなるなどの症状がでたときは、早めにランプを交換してください。

つづく

XG-P25XJ-k　Page 127　02.5.28, 2:09 PM　Adobe PageMaker 6.5J/PPC

仕様(つづき)

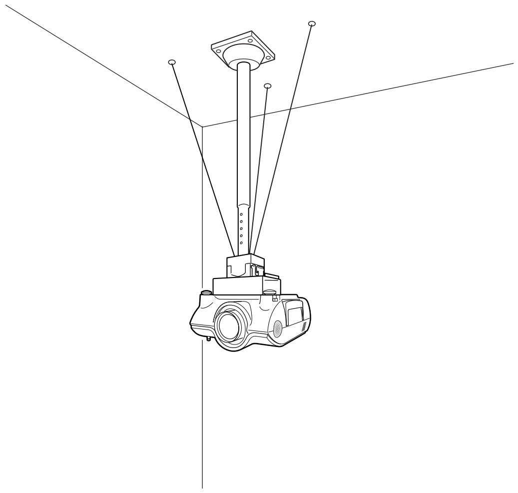
寸法図



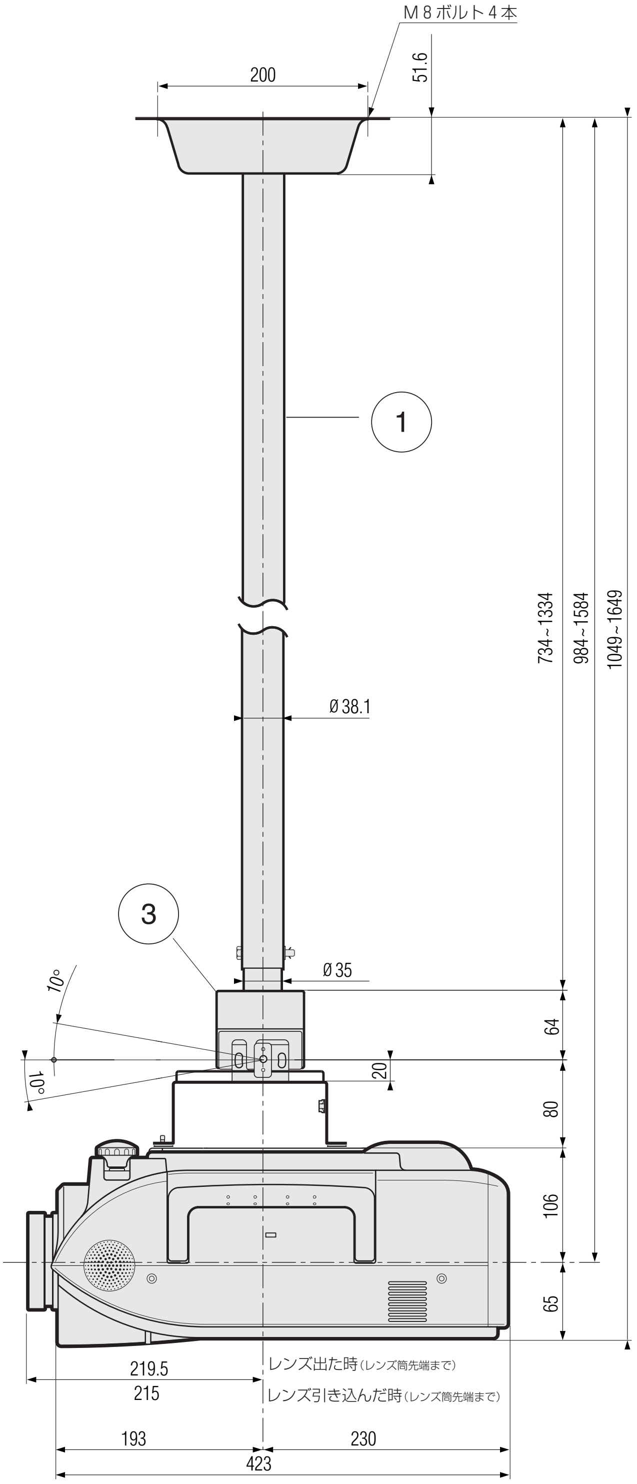
単位：mm

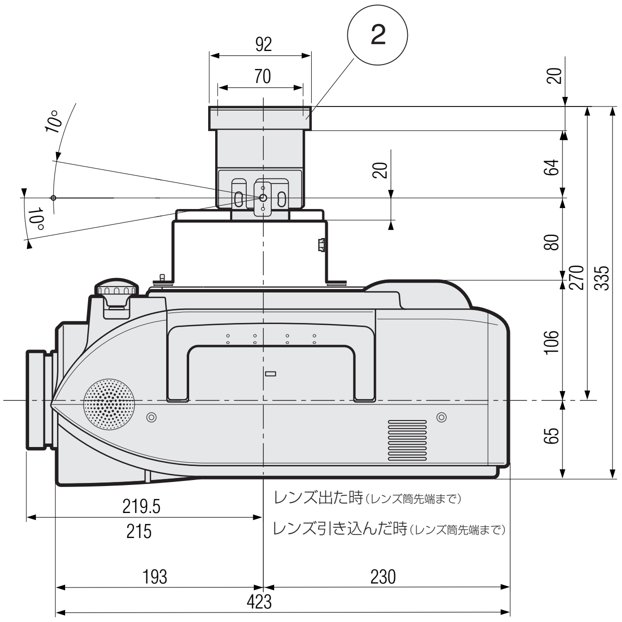
天吊り

	品　名	型　名
①	高井戸用取付けユニット	AN-TK201
②	低天井用取付けユニット	AN-TK202
③	取付けアダプター	AN-NV6T



AN-TK201 をご使用の際は、上図のようにワイヤー等でゆれ防止されることをおすすめします。





用語集

DVI
Digital Visual Interface. アナログインターフェイスもサポートした、ディスプレイ用のデジタルインターフェイスです。

PDF
ポータブルドキュメントフォーマット。CD-ROMからテキストや映像を伝送するために使用されるドキュメンテーションフォーマットです。

RS-232C
コンピュータからプロジェクターを制御するときに使用する端子です。

位相調整
コンピュータ入力時、画面の横方向に出るノイズを低減するための調整です。

一覧表示
各調整項目の設定内容を表示します。

オープニング画面
プロジェクターの電源が入ったときに表示される映像です。

キーロック
いたずら防止のため、プロジェクター本体のボタン(キー)操作をロックできます。

クロック調整
コンピュータ入力時、画面の縦方向に出る帯状のノイズを低減するための調整です。

自動同期調整
コンピュータの画像を最良な状態で投映する機能です。

スクイーズ(フル)
4：3の画面を均一に左右に引き伸ばして、ワイド画面で表示するモードです。

スタック設定
スタック投映の場合、調整、操作時の不具合を防止します。
2台のプロジェクターをそれぞれマスターとスレーブに接続することで、スレーブに設定されたプロジェクターはマスターに設定されたプロジェクターのキー操作に従います。

静止画
動く映像を一時停止する機能です。

縦横比
映像の横・縦の比率です。コンピュータやビデオにおける通常の縦横比は4:3です。縦横比が16:9/21:9という横幅の広いワイド映像もあります。アスペクト比と呼ばれる場合もあります。

デイジーチェーン接続
RS-232Cの入力端子と出力端子を使用して、複数台の機器を一列につなげる接続方法です。

キーストーン補正
プロジェクターの映像を投映したとき、台形に歪んだ映像をデジタル修正するための機能です。

デジタルシフト
16：9ワイド画面やシネマなど上下が黒くなる横長の画像を投映するときは、画像全体を上下させて見やすくすることができます。

ドットバイドット
映像を元の解像度で投映するモードです。

入力モード非選択
入力切換を制限することができます。
例えば、入力2をOFFに設定すると、入力2をスキップして、入力1と入力3の切り換えをすることができます。

パスワード
オプション2メニューの設定内容を変更されたくないときはパスワード(暗証番号)を設定します。

ピクチャーインピクチャー
コンピュータ画面上に小画面でビデオを表示する方法です。

ビデオウォール
複数台のプロジェクターを2×2、3×3のように組み合わせて、大画面を実現する方法です。

標準
4：3の画面をワイド画面(1024×576)に最大サイズ(768×576)で表示するモードです。

プログレッシブモード
プログレッシブ変換のモードを選択できます。
2D プログレッシブ、3D プログレッシブ、フィルムから選択できます。

無信号時画面
信号が入力されていないときに投映される初期設定映像です。

ワイド
4：3の画面を、画面の中心部付近の縦横比を維持しながら、画面の左右だけを引き伸ばして、ワイド画面で表示するモードです。

索引

記号英数
▲▼◀▶ ボタン 11, 13, 43
AC 電源ソケット 25
AUTO SYNC（自動同期調整）ボタン 11, 13, 60
BLACK SCREEN（ブラックスクリーン）ボタン 73
BREAK TIMER（休憩時間）ボタン 94
DNR（デジタルノイズリダクション）........ 52
ENLARGE（拡大 / 縮小）ボタン 13, 68
ENTER（決定）ボタン 11, 13, 43
FREEZE（静止画）ボタン 11, 13, 72
GAMMA（ガンマ補正）ボタン 11, 13, 69
ID No. 設定 97
ID ナンバー 97
INPUT（入力切換）1, 2, 3/4, 5 ボタン ... 11, 13, 35
LENS（レンズ）ボタン 11, 13, 36, 37
MENU（メニュ）ーボタン 11, 13, 42
MUTE（消音）ボタン 11, 13, 35
OFF（電源切）ボタン 11, 13, 35
ON（電源入）ボタン 11, 13, 34
OSD 表示 76
P in P 50
PDF 取扱説明書 108
RESIZE（画面サイズ）ボタン 11, 13, 70
RGB 入力 46, 116
RS-232C 90, 118
Sharp Advanced Presentation Software
(SAPS) 101
UNDO（戻す）ボタン 11, 13, 43
VOLUME（音量）ボタン 11, 13, 35
2D プログレッシブモード 47
3D プログレッシブモード 47

ア行
アジャスター 18
アジャスターリリースボタン 18
一覧表示 95
色温度 44
エアーフィルター 111
映像左右／上下反転機能 96
映像信号方式 64
映像調整 41, 44
オープニング画面 80
お客様ご相談窓口のご案内 126
オプション 41
音声調整 41, 48
温度モニターお知らせ表示 9, 112

カ行
拡大表示 68
画面表示言語 92
乾電池 14
キーストーン補正（調整）........ 37
キーロックレベル 86, 87
キャリングハンドル 110
休憩時間 94
クロック 53
言語選択 41, 92

サ行
色差入力 30, 46
自動電源オフ 75
自動同期調整 60-63
省電力モード 74
ズーム 70
ズーム（調整）........ 37
水平位相 53
スクリーンの設置 19
スタック投映 103
静止画機能 72

タ行
調整内容一覧 41, 95
デジタルシフト 38
電源ソケット 25
電源表示 34, 112
天吊り 96
投映方式 96
同期調整 41, 53
特殊モード 58
ドットバイドット 70

ナ行
入力 1 ～ 5 モード 35
入力モード 35, 88
ネットワーク機能 97, 101

ハ行
パスワード 82, 83, 124
ビデオウォール 105
標準 70
フォーカス（調整）........ 37
付属品 16
ブラックスクリーン 73
フル 70
プログレッシブモード 47
本体ランプ 34, 112

マ行
無信号時表示画面 78

ラ行
ランプ 113
ランプ交換お知らせ表示 112
ランプパワー 74
リア 96
冷却ファン 9
レンズシフトダイヤル 38
レンズ調整 36
レンズ（別売）........ 10

ワ行
ワイド 71
ワイヤードリモコン 15

● 製品についてのお問い合わせは・・・		
お客様相談センター	東日本相談室	TEL 043-297-4649　FAX 043-299-8280
	西日本相談室	TEL 06-6621-4649　FAX 06-6792-5993
《受付時間》　月曜～土曜：午前9時～午後6時　　日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）		

● 修理のご相談は・・・	126ページ記載の『お客様ご相談窓口のご案内』をご参照ください。
● シャープホームページ	http://www.sharp.co.jp/

シャープ株式会社

本　　　　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町 22 番 22 号

AVシステム事業本部　〒329-2193　栃木県矢板市早川町 174 番地

02P05-JWG